

## 現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

### 1 現場の状況

工事場所は、福山市木之庄町一丁目1番63号に位置し、木之庄西町線、北本庄吉津町線、木之庄43号線及び木之庄12号線に接しています。

工事期間中、2026年7月18日（土）から8月24日（月）は夏休み、2026年12月24日（木）から1月6日（水）は冬休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、児童が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

### 2 別途工事

- ・電気設備工事
- ・機械設備工事
- ・都市ガス設備工事
- ・敷地東側他整備工事

### 3 留意事項

- (1) 南東の出入り口は8時30分まで学校関係者が使用します。工事関係者は8時30分からの使用としてください。
- (2) 8月25日（火）から2学期が開始するため、それまでにリフトホール、パン置場の改修工事を完了させ、使用可能な状態にしてください。なお、部分使用検査の期間を見込んでください。  
また、2学期からはリフトホールの一部を学校と給食関係者が使用するため、給食室の工事着手前に工事区画を仕切り、粉塵対策を行ってください。
- (3) 工事期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (4) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (5) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童、第三者への安全確保及び立入り禁止の対策を講じてください。
- (6) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (7) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「コンクリート塊、廃プラスチック、建設混合廃棄物」です。

### 4 一般留意事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう

注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。

- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

- (16) 本工事は、インターネットを利用して発注者及び受注者の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事です。本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払ってください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び情報共有システム利用手引（建築工事）」を参照してください。

本工事は、発注者指定型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいます。受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができます。

# 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	図面リスト	—	A-17	配置図・敷地案内図	1/500
A-01	建築改修工事特記仕様書 No. 1	—	A-18	仕上表 改修後 東棟平面図	1/200
A-02	建築改修工事特記仕様書 No. 2	—	A-19	改修前 平面詳細図	1/50
A-03	建築改修工事特記仕様書 No. 3	—	A-20	改修後 平面詳細図	1/50
A-04	建築改修工事特記仕様書 No. 4	—	A-21	改修前 天井伏図・立面図	1/50 1/100
A-05	建築改修工事特記仕様書 No. 5	—	A-22	改修後 天井伏図 立面図	1/50 1/100
A-06	建築改修工事特記仕様書 No. 6	—	A-23	改修前 断面詳細図	1/40
A-07	建築改修工事特記仕様書 No. 7	—	A-24	改修後 断面詳細図	1/40
A-08	建築改修工事特記仕様書 No. 8	—	A-25	改修前 展開図 No. 1	1/50
A-09	建築工事特記仕様書 No. 1	—	A-26	改修前 展開図 No. 2	1/50
A-10	建築工事特記仕様書 No. 2	—	A-27	改修後 展開図 No. 1	1/50
A-11	建築工事特記仕様書 No. 3	—	A-28	改修後 展開図 No. 2	1/50
A-12	建築工事特記仕様書 No. 4	—	A-29	改修前 建具位置図 建具表	1/50 1/100
A-13	建築工事特記仕様書 No. 5	—	A-30	改修後 建具位置図 建具表	1/50 1/100
A-14	鉄筋工事仕様書 No. 1	—	A-31	改修後 土間伏図、部分詳細図	1/40・50 1/20
A-15	鉄筋工事仕様書 No. 2	—	A-32	部分詳細図 No. 1	1/50 1/30・20
A-16	工事区分表	—	A-33	部分詳細図 No. 2	1/30 1/10

# 福山市建築改修工事特記仕様書

## I 工事概要

1. 工事場所 広島県福山市木之町一丁目1番63号
  2. 敷地面積 14.897 m<sup>2</sup>
  3. 工事種目 建築一式工事
    - (1) 南棟校舎給食室 鉄筋コンクリート造4階建て 延べ面積2,489㎡ (改修面積 323㎡)
    - (2)
    - (3)
    - (4)
    - (5)
4. 工事範囲  
 ※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。  
 ・「3. 工事種目」のうち の全てを工事範囲とする。  
 ・「3. 工事種目」のうち (1) の工事範囲は次表のとおりとする。  
 ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	(1)
3 防水改修工事	(1)
4 外装改修工事	(1)
5 建具改修工事	(1)
6 内装改修工事	(1)
7 塗装改修工事	(1)
8 耐震改修工事	(1)
9 環境配慮改修工事	(1)
3 土工事	(1)
4 地業工事	(1)
5 鉄筋工事	(1)
6 コンクリート工事	(1)
15 左官工事	(1)
20 ユニット及びその他の工事	(1)
21 排水工事	(1)
22 舗装工事	(1)

## II 建築改修工事仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書のうち、○を付けたものを適用する。
  - ・ 建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
  - ・ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を用いる。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（ / ）図による。
3. 特記仕様書の適用は次による。
  - (1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
  - (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
    - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
    - 印と ◎印の付いた場合は、共に適用する。
  - (3) 特記事項に記載の [ . . . ] 内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

## III 福山市建築改修工事仕様

- 本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。  
 本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。  
 本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。
1. 官公署の手続き  
受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。（官公署手続きは監督職員の承諾後とする。）
  2. 施工中の安全確保  
本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。  
交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。
  3. 監理（主任）技術者  
現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。
  4. 別契約の関連工事との調整等
    - ・ 施工範囲は「工事区分表」による。
    - ・ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
    - ・ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。
  5. 施工管理  
※ 施工体制台帳の写しを提出する。
  6. 施工図及び施工計画書  
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る著作権は、発注者に移譲するものとする。
  7. 保証書  
次の工事について保証書を提出する。
 

工事区分	材料名	保証年限	備 考
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
  8. 引渡し後点検  
引渡し後、次の点検を行う。（○印の付いたものを適用する。）
    - ・ 引渡し後点検（第1次点検） 引渡し後の概ね1年後
    - ・ 引渡し後点検（第2次点検） 引渡し後の概ね2年後

章	項目	特記事項
① 各業共通事項	○ 一般事項	<p>適用基準            図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。            ○ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部            ○ 営繕工事写真撮影要領（令和5年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部            ○ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課</p>
	○ 工事実績情報システム（コリンズ）への登録	[1. 1. 4] 登録 ○ する
	○ 書面の書式及び取扱い	[1. 1. 5] 情報共有システムの適用及び機能要件 ○ 適用する機能要件（ ○ 現場説明書による ）
	・ 通隔臨場の実施	[1. 1. 14] 通隔臨場の適用及び実施内容 ・ 適用する実施内容（ ・ 現場説明書による ）
	○ 実施工程表	[1. 2. 1] 構成工期 ○ 有り（ ○ 現場説明書による ・ ） ・ 無し
	○ 工事の記録等	[1. 2. 4] 報告に用いる書式等 ・ 現場説明書による ○ 改修標準仕様書1. 2. 4（4）により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 令和5年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
	・ 電気保安技術者	[1. 3. 3] 配置 ・ する
	○ 施工条件	[1. 3. 5] ・ 施工順序（ ） ・ 工事用車両の駐車場及び資材機の置き場所（ ） ○ 改修標準仕様書1. 3. 5（1）から（3）まで以外の施工条件 ○ 現場説明書による ○ 作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮する。 ○ 日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 ・ 休日二日適用工事（ ・ 現場説明書による ）
	○ 発生材の処理等	[1. 3. 12] 処理等 ・ 発注者に引渡しを要するもの ・ 現場説明書による ○ 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ○ 現場説明書による ○ 工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ○ 現場説明書による ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理（ ・ 製造業者へ処分委託 ・ 管理型最終処分場で処理） ・ 石綿含有せっこうボード、ひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理（ ・ 管理型最終処分場で処理 ・ 再資源化） ・ POB含有シーリング材の分析調査（ ・ 行う ・ ） ・ POB含有シーリング材の撤去（ ・ 行う ・ ） ・ 特別管理産業廃棄物の分析調査（ ・ 行う ・ ） ※ 建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議する。
	○ 石綿含有建材の調査	[1. 5. 1] 調査 ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 調査範囲 ・ 図示による 資与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロソドライト、トレモライト 資料採取箇所 ・ 「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の1. 7. 111による ・ 図示による
・ 施工数量調査	[1. 6. 2][1. 6. 3] 各章の特記による。	

章	項目	特記事項
○ 技能士	適用	適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。 [1. 7. 2]
	適用工事種類	職 種 技能検定の作業の種別
	仮設工事	とび ○ とび作業
	鉄筋工事	鉄筋施工 ○ 鉄筋組立て作業
	コンクリート工事	型枠施工 ○ 型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ○ コンクリート圧送工事作業
	鉄骨工事	鉄工 ・ 構造物鉄工作業
	コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築 ・ コンクリートブロック工事作業 エーエルシーパネル施工 ・ エーエルシーパネル工事作業
	防水工事	防水施工 ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
	石工事	石材施工 ・ 石張り作業
	タイル工事	タイル張り ○ タイル張り作業
木工事	建築大工 ○ 大工工事作業	
屋根及びとい工事	建築板金 ・ 内外装板金作業	
金属工事	内装仕上げ施工 ○ 鋼製下地工事作業 建築板金 ○ 内外装板金作業	
左官工事	左官 ○ 左官作業	
建具工事	サッシ施工 ・ ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ○ ガラス工事作業 自動ドア施工 ・ 自動ドア施工作業	
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工 ・ 金属製カーテンウォール工事作業 サッシ施工 ・ ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ・ ガラス工事作業	
塗装工事	塗装 ○ 建築塗装作業 ○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業	
内装工事	内装仕上げ施工 ○ 壁張作業	
排水工事	配管 ○ 建築配管作業	
舗装工事	路面標示施工 ・ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・ 加熱ペイントマシナーカー工事作業	
植栽工事	造園 ・ 造園工事作業	
・ 化学物質の濃度測定	[1. 7. 10] 濃度測定の実施 ・ 適用する測定時期 ・ 現場説明書による 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチレベンゼン、ステレン ・ 測定方法 ・ パッシブ型採取器による 測定対象及び測定箇所 ・ 現場説明書による	
○ 技術検査	[1. 8. 2] 中間技術検査 ・ 実施回数（ ）回 ・ 実施する段階（ ） ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知	
○ 完成時の提出図書	提出図書 ※ 改修標準仕様書1. 9. 2及び1. 9. 3による ・	
○ 完成図	[1. 9. 2][表1. 9. 1] 種類、記入内容等 ※ 改修標準仕様書 表1. 9. 1による 提出部数（ ）部 提出仕様（ ・ 紙ベース ○ 電子データ ・ ） ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する（ ※ 完成図 ・ 施工図 ） ○ A3判を2つ折りにして製本 1部 ・ 部 ※電子データ提出 一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。） ○ CADデータ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督職員の指示による。）	
○ 保金に関する資料	[1. 9. 3] 作成等 提出部数（ 2 ）部 提出仕様（ ○ 紙ベース ・ 電子データ ・ ）	
○ 完成写真	工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影箇所（ 外壁3面、各室4面 ） 撮影仕様（ 形 式： ※ 電子データ JPEG フルカラー 画質等： ○ 外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ○ 各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質 ） 提出仕様（ ◎ 電子データ ・ アルバム（A4判程度） 1部 ○ 写真帳 1部 ） 検査後14日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。	

章	項目	特記事項																												
○ 仮設工事	・ 騒音・粉じん等の対策	[2. 1. 3] ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・ 図示による																												
	○ 足場等	[2. 2. 1][表2. 2. 1] 外部足場 ○ 設置する（設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 防護シート ○ 設置する（設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 内部足場 ○ 設置する（※ 脚立、足場板等 ・ ） ・ 設置しない ・ 材料、撤去材等の運搬方法 種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）																												
	○ 既存部分の養生	[2. 3. 1] 養生方法等 ○ 既存部分 ・ 養生方法（ ※ ビニルシート、合板 ・ ） ・ 既存家具、既存設備等 ・ 養生方法（ ※ ビニルシート等 ・ ） ・ 既存ブラインド、カーテン等 ・ 養生方法（ ・ ビニルシート等 ・ ） ・ 保管場所（ ・ 図示による ） ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示による																												
	○ 仮設間仕切り	[2. 3. 2][表2. 3. 1] 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ○ 図示による（仮設扉） 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ（厚さmm）</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>○ せっこうボード 種類（ ・ ） 厚さ（ ※ 9.5mm ○ 12.5mm ） ・ 合板</td> <td>・ なし ・ 片面</td> <td>グラスウール 厚さ mm</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>材種（ ・ ） 厚さ（ ※ 9mm ・ mm ）</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>防災シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td>・ なし</td> <td>・ 場所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 片面</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table>	種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填	・ A種	○ せっこうボード 種類（ ・ ） 厚さ（ ※ 9.5mm ○ 12.5mm ） ・ 合板	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm	○ B種	材種（ ・ ） 厚さ（ ※ 9mm ・ mm ）	・		・ C種	防災シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	※ 木製	※ 合板張り程度	・ なし	・ 場所	・	・	・ 片面	・ 図示による
	種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填																										
	・ A種	○ せっこうボード 種類（ ・ ） 厚さ（ ※ 9.5mm ○ 12.5mm ） ・ 合板	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm																										
	○ B種	材種（ ・ ） 厚さ（ ※ 9mm ・ mm ）	・																											
	・ C種	防災シート																												
	材質	仕上げ	塗装	設置箇所																										
	※ 木製	※ 合板張り程度	・ なし	・ 場所																										
・	・	・ 片面	・ 図示による																											
○ 監督職員事務所等	[2. 4. 1] 監督職員事務所等 建物 ・ 設置する ○ 設置しない 規模、仕上げの程度 ・ 現場説明書による 設備 ※ 監督職員との協議による ・ 現場説明書による 備品等の種類及び数量 ・ 現場説明書による																													
○ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できない ○ 利用できる（ ○ 有償 ・ 無償 ）																													
○ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償 ）																													

工事名称  
福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

図面名称  
建築改修工事特記仕様書 No-1

	福山市建設局建築部営繕課 設計 2026年 2月	 <b>株式会社 佐藤設計</b> 〒720-8023 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一般建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一般建築士 酒井 宏	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No A-01
---	--------------------------------	---	--------------------------------------	--------------

章	項目	特記事項
⑤ 防水改修工事	・ 施工数量調査	調査範囲 [1.6.2][1.6.3] ・ 図示による 調査方法 ・ 図示による 既存部分の破損を行った場合の補修方法 ・ 図示による 調査報告書(提出部数・2部)
	・ 降雨等に対する養生方法(とい共)	※ 改修標準仕様書 3.1.3(5)ア～ウによる [3.1.3]
・ 改修工法の種類及び工程	防水改修工法	[3.1.4] ・ 図示による
	既存防水層の処理	既存保護層の撤去 [3.1.4][3.2.6] ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う(・M4S・M4S1・M4C・M4D1・L4X) ・ 行わない 立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去 ・ 行う(・POAS・POAS1・POD・POD1・POS・POS1・POX・M4S・M4S1・S4S・S4S1) ・ 行わない(・POAS・POAS1・POD・POD1・POS・POS1・POX・M4S・M4S1・S4S・S4S1)
・ 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6] ・ 図示による	
・ アスファルト防水	新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種類 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]	改修工法 新設工法 断熱材 絶縁用シート ・ P2A ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ P1B ・ B-1 ・ B-2 ・ P2A1 ・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3 ・ B1-1 ・ B1-2
	改修標準仕様書 3.3.5及び表 3.3.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.3.3及び表 3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 ※ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・ 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 コンクリートの仕上りの平たんの種類 (種) 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 立上り部の保護方法 ・ 乾式保護材(乾式保護材の材料) ・ コンクリート押え ・ モルタル押え(屋内等) ・ れんが押え(・図示による) ・ れんがの材料(※JIS R 1250) 新設防水層(屋根露出工法)の種類	
	改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.3.5及び表 3.3.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.3.3及び表 3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・ 屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ 種類 ( ) 厚さ ( ) 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ 改修アスファルトルーフィングシートの製造所の指定 ・ 設置数量 ※ 改修アスファルトルーフィングシートの製造所の指定 ・ (個) 絶縁断熱工法の防湿シート ・ 設置する ・ 設置しない	

章	項目	特記事項
・ 改修アスファルトルーフィングシート防水	改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.3.8及び表 3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.3.8及び表 3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ アスファルトルーフィングシートの製造所の指定 ・ 設置数量 ※ アスファルトルーフィングシートの製造所の指定 ・ (個) 屋内防水 防水層の種類 工法 種類 施工箇所 ・ PIE ・ E-1 ・ P2E ・ E-2 保護層 ・ 設ける(※ 図示による) ・ 設けない E-1の行程3を行う部位 ※ 貯水槽、浴室等常時水に接する部位 屋上排水溝 ※ 図示による	
	新設防水層の種類 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]	改修工法 新設工法 施工箇所 断熱材 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3 ・ ASI-T1 ・ M4S1 ・ M4S1 ・ POAS1 ・ ASI-J1
・ 塗膜防水	新設防水層の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]	改修工法 新設工法 施工箇所 断熱材 ・ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H

章	項目	特記事項
・ 合成高分子系ルーフィングシート防水	新設防水層の種類 [3.2.5][3.5.2～3.5.4]	改修工法 新設工法 施工箇所 断熱材 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2
	合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.5.1から表 3.5.3による ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ ( )mm以上 絶縁シート及び可塑性移行防止シート ※ 発泡ポリエチレンシート ・ 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ・ 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ (個) 設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ (個) 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・ 行う(・図示による) ・ 行わない プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種類S-F1、S1-F1の場合) ・ 行う(・図示による) ・ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による	
・ 塗膜防水	新設防水層(ウレタンゴム系塗膜防水)の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]	改修工法 新設工法 施工箇所 断熱材 ・ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H
	ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ 設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ (個)	

章	項目	特記事項
○ シーリング	新設防水層(ゴムアスファルト系塗膜防水)の種類	改修工法 新設工法 施工箇所 断熱材 ・ P1Y ・ P2Y
	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2.3][3.7.7.8]	○ シーリング充填工法 ・ シーリング膏充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ・ ボンドブレード張り ・ エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない
・ とい	シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 3.7.1による	施工箇所 シーリング材の種類(記号)
	仕上りを行わない施工箇所 ・ 図示による シーリング材の目地寸法 ・ 図示による 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ ひも状接着性試験	
・ アルミニウム製 笠木	といその他の材質 [3.8.2][3.8.3] ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 表面処理鋼板(規格番号) (表面及び表面の塗膜の種類)	とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け関係 ※ 改修標準仕様書 3.8.2による ・ 図示による 多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ 図示による 鋼管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書 3.8.4による ・ ルーフドレンの種類及び呼び 種類 呼び 施工箇所 ・ ろく屋根用形I型 ・ ろく屋根用形II型 ・ ハルコニー中継用 ・ ハルコニー用
	たてどい受金物の取付け ・ 図示による ルーフドレンの取付け ※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する ・ 種類 ・ 押出形材形 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) ・ 板材折曲形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅 ( )mm 板厚 (※ 2.0mm ・ mm) 表面処理 種類 ( )種 色合等 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 既存笠木等の撤去 ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示による 板材折曲形材の笠木の取付方法 ※ 図示による 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による	
	工事名称 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事 図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-2	縮尺率 A1=100% A2=71% A3=50%
	株式会社 佐藤設計 〒720-0023 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一般建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第453号 一級建築士 渡部 崇 2026年 2月	図面No A-02

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
4	・ 施工数量調査	調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示による 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の 形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に 表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による 調査報告書の部数 ( 2部 )		・ 浮き部改修工法	[ 4. 1. 4 ] [ 4. 3. 11, 16 ] 工法の種類 フカビの本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 注入量 (mL/箇所) 一般部 指定部 一般部 指定部 ・ アンカーピンニング ※ 16 ※ 25 - - ※ 25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 - - ※ 25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 - - - - - ・ モルタル塗替え工法 - - - - -		・ 浮き部改修工法	[ 4. 1. 4 ] [ 4. 4. 5, 9~15 ] 工法の種類 フカビの本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 注入量 (mL/箇所) 一般部 指定部 一般部 指定部 ・ アンカーピンニング ※ 16 ※ 25 - - ※ 25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 - - ※ 25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 エポキシ樹脂注入工法 ・ タイル部分張替え工法 - - - - - ・ タイル張替え工法 - - - - -		・ 外壁改修工事 (共通事項)	・ 複層仕上塗材 種類 (呼び名) 仕上りの形状 工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料 樹脂 ※ アクリル系 ※ 耐水性 3種 ・ 外観 ※ つやあり ※ メタリック ・ 溶媒 ※ 水系 ・ 可とう形改修用仕上塗材 種類 (呼び名) 仕上りの形状 工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料 樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・ 耐水性 1種 ・ 耐水性 2種 ・ 耐水性 3種
4-1	・ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [ 4. 1. 4 ] [ 4. 2. 5~7 ] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0 未満 ※ 200~300 - 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3 未満 ・ 50~100 ・ 40 注入工法 0.3以上~0.5 未満 ・ 100~200 ・ 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0 未満 ・ 150~250 ・ 130 注入工法 注入状況の確認方法 ※ コアの採取を行う 採取部数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 採取部の補修方法 ※ 図示による ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ 欠損部改修工法 ・ 充填工法 [ 4. 1. 4 ] [ 4. 1. 4, 7 ] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度 ・ 注入口付アンカーピンの材質 ・ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (材齢28日) (%) 引張接着性 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> ) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> ) 吸水性 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm <sup>2</sup> ) 3以上 3以上 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00 充填工法用材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書 8. 2 コンクリート工事による) ・ 既調合材料 ( ) 既製目地材 ・ 使用する (形状 図示による ) 仕上り厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による		・ 外壁改修工事 (共通事項)	・ 外壁用塗膜 防水材塗り 仕上りの形状 [ 4. 1. 5 ] [ 4. 7. 2, 3 ] 工法 仕上塗料の耐水性 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修) による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。 吹付け工法の仕様表の種類 ・ ( 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) ) 外壁用仕上塗料の種類 ・ ( 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) )					
4-2	・ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [ 4. 1. 4 ] [ 4. 3. 5~8 ] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0 未満 ※ 200~300 - 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3 未満 ・ 50~100 ・ 40 注入工法 0.3以上~0.5 未満 ・ 100~200 ・ 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0 未満 ・ 150~250 ・ 130 注入工法 注入状況の確認方法 ※ コアの採取を行う 採取部数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 採取部の補修方法 ※ 図示による ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ 欠損部改修工法 ・ 充填工法 [ 4. 1. 4 ] [ 4. 3. 5 ] [ 4. 3. 9, 10 ] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 ・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書 8. 2 コンクリート工事による) ・ 既調合材料 ( ) 既製目地材 ・ 使用する (形状 図示による ) 仕上り厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による	4-3 ・ タイルの形状、寸法等 [ 4. 4. 5 ] [ 4. 4. 8 ] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0 未満 ※ 200~300 - 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3 未満 ・ 50~100 ・ 40 注入工法 0.3以上~0.5 未満 ・ 100~200 ・ 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0 未満 ・ 150~250 ・ 130 注入工法 ・ タイル部分張替え工法 [ 4. 4. 5 ] [ 4. 4. 8 ] 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・ タイル張替え工法 張替え用材料 ・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・ 張付けモルタル ( 現場調査材料 ・ 既調合モルタル ) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書表 4. 4. 2 による ・ 図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 (改修標準仕様書 4. 3. 10 (3) による) ・ タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 (改修標準仕様書 4. 3. 10 (3) による) ・ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 目地詰め ( ※ 行う ・ 行わない )		・ 外壁改修工事 (共通事項)	⑤ ① 改修工法 [ 5. 1. 3 ] 建具の種類 かみせ工法 撤去工法 適用箇所 ○ アルミニウム製建具 ○ - ○ 建具表による ・ 樹脂製建具 - - ・ 建具表による ・ 鋼製建具 ・ 外部 - - ・ 建具表による ・ 内部 - - ・ 建具表による ・ 鋼製軽量建具 - - ・ 建具表による ・ ステンレス製建具 - - ・ 建具表による ・ 木製建具 - - ・ 建具表による 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※ 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示による 再使用材 ( ・ ブランドボックス等 ) ・ 防火戸 ・ 指定する 適用箇所 ( ・ 建具表による ) [ 5. 1. 4 ] ・ 指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知又は煙感知器との連動 ・ 連動させる ( ・ 建具表による ) ・ 連動させない ・ 見本の製作等 建具見本の製作 ・ 行う (建具符号: ) [ 5. 1. 5 ] ・ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号: ) ・ 行わない ・ 防犯建物部品 ・ 適用する ( ・ 建具表による ) [ 5. 1. 7 ] ・ 適用しない					
4-4	・ 目地改修工法	・ 目地改修工法 [ 4. 1. 4 ] [ 4. 4. 5, 6 ] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0 未満 ※ 200~300 - 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3 未満 ・ 50~100 ・ 40 注入工法 0.3以上~0.5 未満 ・ 100~200 ・ 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0 未満 ・ 150~250 ・ 130 注入工法 ・ 目地改修工法 [ 4. 1. 4 ] [ 4. 4. 16 ] ・ 目地改修工法 [ 4. 1. 4 ] [ 4. 4. 16 ]	4-4 ・ 既存塗膜等の除去 下地処理及び下地調整 [ 4. 5. 4 ] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 塗膜はく離工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 水浸し工法 ※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法 工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・ 図示による 下地調整塗材 ※ 下地調整塗材 ポリマーセメントモルタル [ 4. 5. 2 ] 仕上塗材仕上げ [ 4. 1. 5 ] [ 4. 5. 2 ] 新規仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材 種類 (呼び名) 仕上りの形状 工法 防火材料 ・ ・ ・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材C) 種類 (呼び名) 仕上りの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ ※ セメントスタッコ ・ ・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材S、外装厚塗材E) 種類 (呼び名) 仕上りの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ ・ 適用する ・ 適用する		・ 外壁改修工事 (共通事項)						

工事名称  
福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

図面名称  
建築改修工事特記仕様書 No-3

 福山市建設局建築部営繕課 設計 2026年 2月	 <b>株式会社 佐藤設計</b> 〒720-8023 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一般建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 池田 浩 彦	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No <b>A-03</b>
---	--	--------------------------------------	---------------------

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																									
○	アルミニウム製 製建具	性能値等 耐風圧性の等級 ( ○ S-5 ) ( 建具符号 ○ 建具表による ) 気密性の等級 ( ○ A-3 ) ( 建具符号 ○ 建具表による ) 水密性の等級 ( ○ H-4 ) ( 建具符号 ○ 建具表による ) 外部に面する建具の種類 ・ A種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) ・ B種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) ・ C種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) 枠の見込み寸法 ( ○ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ○ BB-1 ・ BB-2 ( 改修標準仕様書表 5. 2. 2 ) 着色 ○ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具 種類 ○ BC-1 ・ BC-2 ( 改修標準仕様書表 5. 2. 2 ) 着色 ○ 標準色 ・ 特注色 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ・ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による	[ 5. 2. 2～5 ]	○	鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する ( 建具符号： ○ 建具表による ) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 点検口 ・ 形状及び仕上げ 鋼板の種類 ※ 改修標準仕様書表 5. 4. 2 による ・ mm 使用箇所 ( ) 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による	[ 5. 4. 2～6 ]	○	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 [ 5. 7. 2～4 ] ※ A種 ・ ○フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標準仕様書 5. 7. 2 ( 2 ) (イ) (a) による ・ 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・ 普通合板 表面の樹種 ・ 板面の品質 ( ※ 広葉樹 1等 ) 接着の程度 ( ・ 1類 ・ 2類 ) ・ 天然木化粧合板 樹種名 ( ) 接着の程度 ( ・ 1類 ・ 2類 ) ○ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ※ プリント ・ 接着の程度 ( ○ 1類 ○ 2類 ) ・ MDF 表面の状況による区分 ( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 耐水性による区分 ( ) 難燃性による区分 ( ) 表面板の厚さ ※ 表 5. 7. 6 による ・ かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による ・ ふすま 張りの種類 ( ・ I型 ・ II型 ) 上張り ( 押入等の裏側以外 ) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 ( 素地 ) ・ 生地縁 ( ウレタンクリヤー塗装 ) 見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・ 戸ぶすま 表面板の仕上 ・ 建具表による 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による 定規縁 ( 引戸 ) の召合せかまち ・ いんろう付き	[ 5. 7. 2～4 ]	○	自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 [ 5. 9. 2 ] ・ 建具表による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5. 9. 1 による ( 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ) ・ 以下による 種類・開閉方式 ( ) 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 ( サイクル ) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) ・ 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5. 9. 2 による ( 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ) ・ 以下による 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 ( サイクル ) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) ・ 引き戸用検出装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5. 9. 3 による ( 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ) ・ 以下による 放射線周波数電磁界耐性 ( ) 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 防滴 ( ) 電源 ( ) 引き戸検出装置の種類は改修標準仕様書表 5. 9. 4 により、適用箇所は建具表による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・ 大型押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない	[ 5. 9. 2 ]	○	網戸等	[ 5. 2. 3 ] [ 5. 3. 3 ] 種類 材質 線径 網目 ○ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ※ 0. 25mm以上 ※ 16～18メッシュ ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ ステンレス ( SUS316 ) 製 ・ 防鳥網 ステンレス ( SUS304 ) 線材 1. 5mm 網目寸法 15mm	[ 5. 2. 3 ] [ 5. 3. 3 ]	○	建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 [ 5. 8. 2～3 ] ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 1 により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 2 による ・ 建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 3 による ・ 建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 4 による ・ 建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 5 による ・ 建具表による 鍵り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による	[ 5. 8. 2～3 ]	○	重量シャッター	シャッターの種類 [ 5. 11. 2 ] ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ○ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa 開閉方式の種類 ※ 電動式 ( 手動併用 ) ○ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 設置箇所 ( ・ 図示 ) 電動式シャッターの障害物感知装置 設置箇所 ( ・ 図示 ) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 ( ※ 危害防止装置・既設シャッターに改修により取り付ける可動座板式 ) 設置箇所 ( ・ 図示 ) 管理用シャッターのシャッターケース ○ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ○ JIS G 3302 ( 溶融亜鉛めっき鋼板 ) ・ JIS G 3312 ( 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ) めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 重量シャッター 閉閉方式の種類 [ 5. 12. 2～4 ] ※ 手動式 ・ 上部電動式 ( 手動併用 ) 耐風圧強度 ( ) Pa 安全装置 ・ 電動シャッターの急降下停止装置 設置箇所 ( ・ 建具表による ) ※ 電動シャッターの障害物感知装置 設置箇所 ( ・ 図示 ) スラットの材質 ・ JIS G 3312 ( 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ) めっきの付着量 ( ※ Z06又はF06 ) ・ JIS G 3322 ( 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ) めっきの付着量 ( ※ AZ90 ) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形	[ 5. 11. 2 ]	○	ステンレス製建具	性能値等 耐風圧性の等級 ( ・ ) 気密性の等級 ( ・ ) 水密性の等級 ( ・ ) 外部に面する建具の種類 ・ A種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) ・ B種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) ・ C種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ T-1 ・ T-2 ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ・ 建具表による ・ 材料 ガラス ※ 複層ガラス ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による	[ 5. 3. 2～5 ]	[ 5. 6. 2～5 ]	○	壁	マスターキー [ 5. 8. 4 ] ・ 製作する ・ 製作しない ○ 既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※ 各室3本1組 ( 室名札付き ) ・ 鍵箱 ○ なし ・ あり	[ 5. 8. 4 ]
<p>工事名称 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-4</p> <p>縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%</p> <p>図面No A-04</p> <p>設計 福山市建設局建築部営繕課 2026年 2月</p> <p>株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE 0849-953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 渡部 貴</p>																																				

章	項目	特記事項
・ オーバーヘッド ドア	[ 5.13.2.、3 ]	
	セクション材料 による区分	耐風圧性 能の区分
	※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 設置箇所 ( ・ 図示 )	収納形式 による区分	ガイドレールの材質 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板
○ ガラス	○ フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○ 建具表による	[ 3. 7 ] [ 5.14.2～4 ]
	○ 型板ガラスの厚さによる種類 ○ 建具表による	
	・ 網入り板ガラス及び輸入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状況及び厚さの 呼びによる種類 ・ 建具表による	
	・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ、特性による種類 ・ 建具表による	
	○ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類 ○ 建具表による	
	・ 熱線吸収ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ・ 建具表による	
	・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、 日射取得性、日射遮蔽性による区分及び封入気体の種類 ・ 建具表による	
	・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性による種類 ・ 建具表による	
	・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による	
	○ ガラスの留め材及び溝の大きさ	
	建具の種類	ガラス留め材
	アルミニウム製	ガラス溝の大きさ (mm) ○ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ グレージングガスケット ・ 図示による
	鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による
	ステンレス製	・ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による
	樹脂製	・ グレージングガスケット ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による
	小口加工の仕上げの程度 ( )	
・ ガラスブロック	[ 5.14.5 ]	
	表面形状	呼び寸法 (mm)
	厚さ (mm)	目地幅 (mm) 平積み 曲面積み
	・ 160×160	・ 95
	・ 200×200	・ 95
	壁用金属枠及び補強材・形状 ・ 図示による	伸縮調整 目地の位置
	力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色 ( ・ 白 ・ グレー) シーリングの種類 ( ・ SR-1 ・ PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ・ 図示による 形状 ・ 図示による 目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による	防火 性能

章	項目	特記事項
内 装 改 修 工 事	○ 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [ 6.1.3 ] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示による
	○ 既存床の撤去及び 下地補修	ビニル床シート等の撤去 [ 6.2.2 ] ※ 仕上げのみ (接着剤とも) 2~4階/4 ○ 下地モルタルとも ( ○ 図示による ・ 撤去範囲全て ) 合成樹脂床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 自貢工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示による
	○ 既存壁の撤去及び 下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [ 6.3.2 ] ※ 改修標準仕様書 4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示による)
	○ 表面仕上げ (木下地)	見え掛り面の表面仕上げ [ 6.5.1 ] ※ プレーナー加工 (施工箇所: ) ・ 超自動機械かな (施工箇所: ) ・ サンダー (施工箇所: )
	○ 施工一般 (木下地)	材料のホルムアルデヒド放散量 [ 6.5.2 ] ※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書 6.5.2 (1) (ウ) (b) による
	○ 製材 (木下地)	○ JAS 1083-5iに基づく下地用製材 [ 6.5.2 ]
		施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理
		事務・休憩室 90×90 ※ 2級 ※ A種 40×50 ・ B種
		○ JAS 1083-2iに基づく造作用製材
		施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理
	見え掛り面 ※ 上小節 ※ A種 見え掛り面以外 ※ 小節以上 ※ A種 ・ B種	
	○ JAS 1083-6iに基づく広葉樹製材	
	施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理	
	※ 1等 ※ 10%以下 ・ A種 ・ B種	
	○ JAS 1083 (製材) 以外の製材	
	施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 含水率 防虫処理	
	( ) ※ A種 造作材の場合 ・ B種 ( ※ A種 ・ B種 ) ・	
	○ 造作用集成材 (木下地)	○ JAS 1152iに基づく造作用集成材 (品名) [ 6.5.2 ]
	施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 (面数) 見付け材面 の品質	
	事務・休憩室 ○ 造作用集成材 ※ 1等 ・ 造作用集成材 (塗装) 1等 ※ 2等 ・ 造作用集成材 ( ) 1等	
	○ JAS 1152iに基づく化粧ばり造作用集成材	
	施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の 厚さ (mm) 見付け材面 の品質 含水率	
	化粧薄板: ※ 1等 芯材: ・ 2等	
	○ JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材	
	施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の 厚さ (mm) 見付け材面 の品質 含水率	
	化粧薄板: ※ 15%以下 芯材: ・	

章	項目	特記事項	
・ 造作用単板積層材 (木下地)	・ JAS 0701iに基づく造作用単板積層材 [ 6.5.2 ]		
	施工箇所	品名 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 防虫処理	
		・ 造作用単板積層材 ・ 造作用単板積層材 (未仕上げ)	・ 有り ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 無し ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等
	・ JAS 0701i以外の造作用単板積層材		
	施工箇所	寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 含水率 防虫処理	
		・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級 ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)	※ 14%以下 ・ 行う ・ 行わない
	・ JAS 3079iに基づく直交集成板		
	施工箇所	品名 強度等級 (曲げ性能) 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm)	
		・ 異等級構成 直交集成板 ・ 同一等級構成 直交集成板	・ A ・ B ・ C
	・ JAS 0233iに基づく普通合板 (品名) [ 6.5.2 ]		
施工箇所	厚さ (mm) 接着の 程度 板面の品質 単板の樹種名 防虫処理		
	※ 5.5 ※ 1類 広葉樹 ※ 2等以上 ・ 1等 ・ 2類 針葉樹 ※ C-D以上 ・	・ 行う ・ 行わない	
・ JAS 0233iに基づく構造用合板 (品名)			
施工箇所	厚さ (mm) 接着の 程度 等級 板面の 品質 単板の 樹種名 保存 処理 防虫処理 強度等級		
	※ 12 (下記) ※ 2級以上 ※ C-D以上 ・ 1級 ・	・ 行う ・ 行わない ( ) ・ 指定しない	
接着の程度 常時湿潤状態となる場所での使用 ※特類 その他の場合 ※1類以上			
・ JAS 0233iに基づく化粧ばり構造用合板 (品名)			
施工箇所	厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理		
	常時湿潤状態となる場所での使用 する場合、特類 その他の場合 ( ・ 特類 ・ 1類 ・ )	・ 行う ・ 行わない	
・ JAS 0233iに基づく天然木化粧合板			
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理		
	・ 1類 ・ 2類	・ 行う ・ 行わない	
・ JAS 0233iに基づく特殊加工化粧合板 (品名)			
施工箇所	厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理		
	・ 1類 ・ 2類	・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・	
・ JIS A 5908iに基づくパーティクルボード			
施工箇所	種類 表表面の状態 による区分 曲げ強さ による区分 耐水性 による区分 厚さ (mm)		
	※ 13タイプ ・	・ Mタイプ ・ Pタイプ ・	
・ JAS 0360iに基づく構造用パネル (品名)			
施工箇所	厚さ (mm)		
・ JIS A 5905iに基づくMDF			
施工箇所	厚さ (mm) 表表面の状態 による区分 曲げ強さ による区分 耐水性 による区分 難燃性 による区分		

章	項目	特記事項
○ 接合具等 (木下地)	造作材の化粧面の釘打ち [ 6.5.3 ] ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし隠し釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ※ 改修標準仕様書 6.5.3に示す程度の市販品 ・ 産金 ※ 改修標準仕様書 6.5.4に示す程度の市販品 ・ 箱金物及び短冊金物 ※ 改修標準仕様書 6.5.5に示す程度の市販品 ・	
	・ 接着剤 (木下地)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 [ 6.5.3.4 ] ※ F☆☆☆☆ ・
	○ 防塵・防蟻処理 (木下地)	・ 工場における薬剤の加圧注入等 ・ 改修標準仕様書 6.5.5 (1) (a) ①による加圧注入 [ 6.5.5 ]
		適用部材 保存処理性能区分
		・ K2 ・ K3 ・ K4
		・ K2 ・ K3 ・ K4
		・ K2 ・ K3 ・ K4
		○ 薬剤の塗布等による防塵・防蟻処理
		適用部材 処理の方法 薬剤の種類
		大引・束 ※ 薬剤の製造所の仕様による ○JIS K 1571に適合する表面処理用 根太 ・ 木材保存剤又は同等品 ・ ・
・ 不燃処理木材等 (木下地)	・ 薬剤の接着材への混入による防塵・防蟻処理 適用部位 ( ) ・ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ( ) ・ 防虫処理の適用 適用部位 ( )	
	・ 不燃処理木材等 の適用 不燃材料 適用部位 ( ) 準不燃材料 適用部位 ( ) 難燃材料 適用部位 ( )	
○ 内部間仕切軸組 及び床組み (木下地)	○ 間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 ○ 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松	
・ 窓、出入口その他 (木下地)	・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉	
○ 床板張り (木下地)	・ 縁甲板及び上がりがまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ ひのき ○ ブナ	
・ 壁及び天井下地 (木下地)	・ 壁及び天井下地に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉または松	
○ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [ 6.6.2~4 ] 屋外 ※ 25形 ・ 19形 屋内 ※ 19形 ・ 25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示による 周辺部の種からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による 既存の埋込みインサート ・ 使用する ○ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 屋内の場合、当該階において3箇所 ・ 1箇所) (確認強度 ※ 吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の 単位面積あたりの質量が20kg/m <sup>2</sup> 以内の天井の場合は400N程度 ・ N) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※ 図示による ・ ) ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 (補強方法 ※ 図示による ・ ) ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による ・ ) (補強方法 ※ 図示による ・ ) ・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による ・ ) (補強方法 ※ 図示による ・ )	
工事名称 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事		
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-5		
設計 2026年 2月	福山市建設局建築部営繕課 株式会社 佐藤設計 〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 佐藤 崇	縮尺率 図面No A1=100% A2= 71% A3= 50% A-05

章	項目	特記事項																																				
○	軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナの種類 ※ 改修標準仕様書表 6. 7. 1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による ・ スタッドの高さが5. 0mを超える場合 ※ 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書 6. 7. 4 (5) による ・																																				
	ビニル床シート	材料 [6. 8. 2~3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ FS</td> <td>・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接合部の処理 ※ 熱溶接工法 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※ FS	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※ 2.0																													
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																			
※ FS	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※ 2.0																																				
○	ビニル床タイル	種類 [6. 8. 2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ KT (コブシタイル型)</td> <td>○ 無地</td> <td>○ 300×300</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>・</td> <td>・ 450×450</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FT (複層ビニル床タイル)</td> <td>・</td> <td>・ 500×500</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOA (置ききビニル床タイル)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOB (薄型置ききビニル床タイル)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p>	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※ KT (コブシタイル型)	○ 無地	○ 300×300	※ 2.0		・ TT (単層ビニル床タイル)	・	・ 450×450	・		・ FT (複層ビニル床タイル)	・	・ 500×500	・		・ FOA (置ききビニル床タイル)	・	・	・		・ FOB (薄型置ききビニル床タイル)	・	・	・							
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																		
※ KT (コブシタイル型)	○ 無地	○ 300×300	※ 2.0																																			
・ TT (単層ビニル床タイル)	・	・ 450×450	・																																			
・ FT (複層ビニル床タイル)	・	・ 500×500	・																																			
・ FOA (置ききビニル床タイル)	・	・	・																																			
・ FOB (薄型置ききビニル床タイル)	・	・	・																																			
○	特殊機能床材	シート・タイルの種類 [6. 8. 2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>シート・タイルの種類</th> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ、寸法、形状 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 帯電防止床シート</td> <td></td> <td>厚さ: 寸法:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 帯電防止床タイル</td> <td></td> <td>厚さ: 寸法:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 視覚障害者用の床タイル</td> <td></td> <td>形状:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐動荷重性床シート</td> <td></td> <td>厚さ:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防滑性床シート</td> <td>FS</td> <td>厚さ: 寸法:</td> <td>厚さ: 2.5</td> </tr> <tr> <td>・ 防滑性床タイル</td> <td></td> <td>寸法:</td> <td>厚さ:</td> </tr> </tbody> </table>	シート・タイルの種類	種類	性能	厚さ、寸法、形状 (mm)	・ 帯電防止床シート		厚さ: 寸法:		・ 帯電防止床タイル		厚さ: 寸法:		・ 視覚障害者用の床タイル		形状:		・ 耐動荷重性床シート		厚さ:		○ 防滑性床シート	FS	厚さ: 寸法:	厚さ: 2.5	・ 防滑性床タイル		寸法:	厚さ:								
シート・タイルの種類	種類	性能	厚さ、寸法、形状 (mm)																																			
・ 帯電防止床シート		厚さ: 寸法:																																				
・ 帯電防止床タイル		厚さ: 寸法:																																				
・ 視覚障害者用の床タイル		形状:																																				
・ 耐動荷重性床シート		厚さ:																																				
○ 防滑性床シート	FS	厚さ: 寸法:	厚さ: 2.5																																			
・ 防滑性床タイル		寸法:	厚さ:																																			
○	ビニル幅木	材質の種類 [6. 8. 2] ○ 軟質 ・ 硬質 ・ 床シート巻上 高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ○ 100 厚さ (mm) ※ 1.5以上																																				
	ゴム床タイル	種類 [6. 8. 2] ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 ( ) 厚さ ( mm) 寸法 (mm) ( ) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆																																				
○	接着剤	接着剤の主成分による区分と施工箇所 [6. 8. 2] ビニル床シート及びビニル床タイル ※ 改修標準仕様書表 6. 8. 1 による 施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合 施工箇所 ( ) 主成分による区分 ( ) ゴム床タイル ※ 改修標準仕様書表 6. 8. 2 による 施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合 施工箇所 ( ) 主成分による区分 ( )																																				
	カーペット敷き	・ 織じゅうたん [6. 9. 2~3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ウィルトンカーペット</td> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ フェイストウフェイスカーペット</td> <td>・ ループバイル</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>・ アキスミンスターカーペット</td> <td>・ カット/ループバイル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>色柄 ※ 模様のない無地 無地の織りじゅうたんの種類 (バイル糸の種類等) ・ A種 ・ B種 ・ C種 織じゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり織い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タフテッドカーペット</th> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・</td> <td>・ 5~7</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>・ 適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ループバイル</td> <td>・</td> <td>・ 4~6</td> <td>・ グリッパー工法</td> <td>・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p>	織り方	バイル形状	帯電性	・ ウィルトンカーペット	・ カットバイル	・ 適用する	・ フェイストウフェイスカーペット	・ ループバイル	・ 適用しない	・ アキスミンスターカーペット	・ カット/ループバイル		タフテッドカーペット	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・ カットバイル	・	・ 5~7	・ 全面接着工法	・ 適用する		・ ループバイル	・	・ 4~6	・ グリッパー工法	・ 適用しない		・ カット、ループ併用	・	・	・		
織り方	バイル形状	帯電性																																				
・ ウィルトンカーペット	・ カットバイル	・ 適用する																																				
・ フェイストウフェイスカーペット	・ ループバイル	・ 適用しない																																				
・ アキスミンスターカーペット	・ カット/ループバイル																																					
タフテッドカーペット	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																	
・ カットバイル	・	・ 5~7	・ 全面接着工法	・ 適用する																																		
・ ループバイル	・	・ 4~6	・ グリッパー工法	・ 適用しない																																		
・ カット、ループ併用	・	・	・																																			

章	項目	特記事項																																								
	タイルカーペット	・ タイルカーペット バイルの形状 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備考 ※ ループバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・ ※ 第二種 ・ カットバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・ ※ 第二種 ・ カット・ループ併用 ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・ ※ 第二種																																								
	タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量	※ F☆☆☆☆ タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し ・ 階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き ・																																								
	下敷き材	※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm ・																																								
	見切り、押え金物	材質 ( ) 種類 ( ) 形状等 ※ 図示による																																								
○	合成樹脂塗床	塗床材のホルムアルデヒド放散量 [6. 10. 2~3] ※ F☆☆☆☆ <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 厚膜型薄塗材</td> <td></td> <td></td> <td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>弾性ウレタン樹脂系塗床材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 厚膜型薄塗材</td> <td></td> <td>・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂砂仕上げ</td> <td>○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂系塗床材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※ 平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table>	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・ 厚膜型薄塗材			※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	弾性ウレタン樹脂系塗床材				○ 厚膜型薄塗材		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂砂仕上げ	○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ	エポキシ樹脂系塗床材				・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ																
種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																							
・ 厚膜型薄塗材			※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																							
弾性ウレタン樹脂系塗床材																																										
○ 厚膜型薄塗材		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂砂仕上げ	○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ																																							
エポキシ樹脂系塗床材																																										
・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ																																							
○	フローリング張り	フローリングのホルムアルデヒド放散量等 [6. 11. 2~6] ※改修標準仕様書 6. 11. 2 (2) による ・ 単層フローリング <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅、長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り)</td> <td>・</td> <td>※ 改修標準仕様書表 6. 11. 1 による</td> </tr> <tr> <td>ボード1等</td> <td>・ 釘留め工法 (直張り)</td> <td>・</td> <td>※ 改修標準仕様書表 6. 11. 3 による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 接着工法</td> <td>・</td> <td>※ 改修標準仕様書表 6. 11. 5 による</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>・ 接着工法</td> <td>・</td> <td>厚さ ( )、幅 ( ) 長さ ( )</td> </tr> <tr> <td>ブロック1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複合フローリング  <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅、長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 複合フローリング (天然木化粧)</td> <td>○ 釘留め工法 (根太張り)</td> <td>○ なら</td> <td>※ 改修標準仕様書表 6. 11. 2 による ・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 釘留め工法 (直張り)</td> <td>○ なら</td> <td>※ 改修標準仕様書表 6. 11. 4 による ・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 接着工法</td> <td>・</td> <td>※ 改修標準仕様書表 6. 11. 6 による ・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着工法の場合の不陸緩和材 ※ 合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ※ 改修標準仕様書表 6. 11. 6 による ・</p> </p>	種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ	・ フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り)	・	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 1 による	ボード1等	・ 釘留め工法 (直張り)	・	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 3 による		・ 接着工法	・	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 5 による	・ フローリング	・ 接着工法	・	厚さ ( )、幅 ( ) 長さ ( )	ブロック1等				種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ	○ 複合フローリング (天然木化粧)	○ 釘留め工法 (根太張り)	○ なら	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 2 による ・ A種 ・ B種 ・ C種		○ 釘留め工法 (直張り)	○ なら	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 4 による ・ A種 ・ B種 ・ C種		・ 接着工法	・	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 6 による ・ A種 ・ B種 ・ C種
種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ																																							
・ フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り)	・	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 1 による																																							
ボード1等	・ 釘留め工法 (直張り)	・	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 3 による																																							
	・ 接着工法	・	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 5 による																																							
・ フローリング	・ 接着工法	・	厚さ ( )、幅 ( ) 長さ ( )																																							
ブロック1等																																										
種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ																																							
○ 複合フローリング (天然木化粧)	○ 釘留め工法 (根太張り)	○ なら	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 2 による ・ A種 ・ B種 ・ C種																																							
	○ 釘留め工法 (直張り)	○ なら	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 4 による ・ A種 ・ B種 ・ C種																																							
	・ 接着工法	・	※ 改修標準仕様書表 6. 11. 6 による ・ A種 ・ B種 ・ C種																																							
○	畳敷き	種類 [6. 12. 2] ・ A種 (畳表: ・ JS (特等麻糸) ・ J1 (1等麻糸) ) ・ B種 ・ C種 (畳床: ・ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30 ) ○ D種 (畳床: ・ KT-I ・ KT-II ○ KT-III ・ KT-K ・ KT-N ) ・ 衝撃緩和型畳 (畳表: ・ C1 ・ C2)																																								

章	項目	特記事項																																					
○	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り	せっこうボード、その他ボード [6. 13. 2~3] 規格名称 種類 厚さ (mm) 等 木質系 セメント板 ・ 木モセメント板 ※ 図示による ・ 硬質 (HM) ・ 中質 (MM) ・ 普通 (NM) ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 木片セメント板 ※ 図示による ・ 硬質 (HF) ・ 普通 (NF) ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30 繊維強化セメント板 ○ 化粧けい酸カルシウム板 (タイプ2) 普通ボード 0.8FK ※ 図示による ○ 6 ・ 8 火山性ガラス質複層板 ※ 図示による ・ 繊維強化セメント板 (VS-ボード) ・ ミディウムデンシティファイバーボード (MDF) ※ 図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ ハードボード ※ 図示による ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ スタンダードボード (無処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 内装用化粧ハードボード (DI) ・ テンパーボード (処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 外装用化粧ハードボード (DE) ・ インシュレーションボード ※ 図示による ・ A級インシュレーションボード (A-IB) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 天井仕上げ材 ・ 内装仕上げ材 パーティクルボード ・ 単板張りパーティクルボード ※ 図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS) ・ 化粧パーティクルボード ※ 図示による ・ 10 (雑感) ・ 12 (雑感) ・ 単板オーバーレイ (DV) ・ プラスティックオーバーレイ (DO) ・ 塗装 (DC) 吸音材料 ・ ロックウール化粧吸音板 (DR) ・ フラットタイプ ・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 凹凸タイプ ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ ロックウール吸音ボード (1号) ※ 図示による ・ 25 ・ グラスウール吸音ボード (32K) ・ 25 (ガラスクロス包) せっこうボード製品 ○ セッコウボード (GB-R) ○ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ○ シンガウセッコウボード (GB-S) ○ 12.5 ( ・ 不燃 ・ 準不燃) ○ 強化せっこうボード (GB-F) ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ○ 21 (不燃) ○ 化粧せっこうボード (GB-D) ○ トラバーチン模様 9.5 (準不燃) ・ セッコウラスボード (GB-L) ・ 9.5 ・ 不燃層せっこうボード (GB-NC) ・ 9.5 (不燃) ・ 化粧なし (下地張り用) ・ 化粧あり (トラバーチン模様)																																					
	MF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量	※ F☆☆☆☆ 表面への化粧張り等の加工 ※ 図示による																																					
	合板	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm) 等</th> <th>防火処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 普通合板</td> <td>※ 5.5</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>品名: 単板の樹種名: 板面の品質:</td> <td>※ 図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板</td> <td>※ 図示による</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>化粧板の単板の樹種名: 板面の品質:</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工化粧合板</td> <td>※ 図示による</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>品名: 接着の程度: 単板の樹種名: 化粧加工の方法: ・ オールレイ ・ プリット ・ 塗装</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標準仕様書 6. 13. 2 (3) (イ) の (a) ~ (d) のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※ 図示による 合板類の張付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※ 仕上表による 突付け工法及び目直し工法のエッジの種類 ○ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ</p>	種類	厚さ (mm) 等	防火処理	・ 普通合板	※ 5.5	・ 行う ・ 行わない	品名: 単板の樹種名: 板面の品質:	※ 図示による		・ 天然木化粧合板	※ 図示による	・ 行う ・ 行わない	化粧板の単板の樹種名: 板面の品質:	・		・ 特殊加工化粧合板	※ 図示による	・ 行う ・ 行わない	品名: 接着の程度: 単板の樹種名: 化粧加工の方法: ・ オールレイ ・ プリット ・ 塗装	・																	
種類	厚さ (mm) 等	防火処理																																					
・ 普通合板	※ 5.5	・ 行う ・ 行わない																																					
品名: 単板の樹種名: 板面の品質:	※ 図示による																																						
・ 天然木化粧合板	※ 図示による	・ 行う ・ 行わない																																					
化粧板の単板の樹種名: 板面の品質:	・																																						
・ 特殊加工化粧合板	※ 図示による	・ 行う ・ 行わない																																					
品名: 接着の程度: 単板の樹種名: 化粧加工の方法: ・ オールレイ ・ プリット ・ 塗装	・																																						
	ホルムアルデヒド放散量	[6. 14. 2~3] ※ F☆☆☆☆ 壁紙の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>塩化ビニル</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務・休憩室</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パン置場</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種類 ※ B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※ B種 ・ A種 せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※ B種 ・ A種</p>	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考	紙	繊維	塩化ビニル	プラスチック	無機質その他	事務・休憩室	・	・	・	・	○	・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 難燃		パン置場	・	・	・	・	○	・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 難燃			・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考																																
	紙	繊維	塩化ビニル	プラスチック	無機質その他																																		
事務・休憩室	・	・	・	・	○	・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 難燃																																	
パン置場	・	・	・	・	○	・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 難燃																																	
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																	

章	項目	特記事項																																																																																																																																								
○	モルタル塗り	モルタル [6. 15. 3~6] ○ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 図示による ・ 図示による ( ) 形状 ( ※ 図示による ) ○ 図示による 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ・ 床の目地 ○ 図示による 目地割り ※ 2 m程度 (最大目地間隔 ※ 3 m程度) ・ 目地の種類 ※ 押し目地 ・ 図示による																																																																																																																																								
○	タイル張り	伸縮目地の位置 [6. 16. 2~4] 床タイル ( ※ 縦、横とも4m以内ごと ) 床タイル以外 ( ※ 図示による ) 見本焼き ・ 行う (施工箇所: ) ○ 行わない 試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ○ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施す</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>り性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調理室</td> <td>97.8</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>下洗室</td> <td>97.8</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>換気室</td> <td>97.8</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 既調合モルタル (品質・性能、試験方法は別表による) モルタル下地としたタイル工事にする張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 既調合目地材 (品質・性能、試験方法は別表による) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の下地調整の方法 ・ ( ) 壁タイル張りの工法 内装タイル ○ 密着張り ・ 改良圧着張 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施す</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>り性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> </p>	施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色	耐凍害性	耐滑	備考	I類	II類	III類	施す	無	有	無	標準	特注	有	無	り性	調理室	97.8	・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・	下洗室	97.8	・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・	換気室	97.8	・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・	施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色	耐凍害性	耐滑	備考	I類	II類	III類	施す	無	有	無	標準	特注	有	無	り性			・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・			・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・			・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・
施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用				吸水率による区分			うわぐすり		役物						色	耐凍害性	耐滑	備考																																																																																																																						
			I類	II類	III類	施す	無	有	無	標準	特注	有	無	り性																																																																																																																												
調理室	97.8	・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・																																																																																																																													
下洗室	97.8	・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・																																																																																																																													
換気室	97.8	・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・																																																																																																																													
施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色	耐凍害性	耐滑	備考																																																																																																																													
			I類	II類	III類	施す	無	有	無					標準	特注	有	無	り性																																																																																																																								
		・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・																																																																																																																													
		・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・																																																																																																																													
		・	・	・	○	○	○	○	○	・	・	・	・																																																																																																																													
	セルフレベリング塗り	塗厚 (mm) [6. 17. 2, 3] ・																																																																																																																																								
⑦	塗改修工事	○ 材料 [7. 1. 3] ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: ) ○ 下地調整 [7. 2. 1] ※ 図示による ・ [7. 2. 3~7. 2. 7] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れの補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※ RB種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ RB種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ RB種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※ RB種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスター面</td> <td>※ RB種</td> <td>・</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※ RB種</td> <td>・</td> <td>○ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)</td> <td>・ RA種 ・ RB種</td> <td>・</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ RB種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れの補修	塗替え		木部	※ RB種	・	—	鉄鋼面	※ RB種	・	—	亜鉛めっき鋼面	※ RB種	・	—	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ RB種	・	—	モルタル、プラスター面	※ RB種	・	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ RB種	・	○ 行う ・ 行わない	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	・	・ 行う ・ 行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種	・	—																																																																																																		
下地面の種類	下地調整の種類			ひび割れの補修																																																																																																																																						
	塗替え																																																																																																																																									
木部	※ RB種	・	—																																																																																																																																							
鉄鋼面	※ RB種	・	—																																																																																																																																							
亜鉛めっき鋼面	※ RB種	・	—																																																																																																																																							
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ RB種	・	—																																																																																																																																							
モルタル、プラスター面	※ RB種	・	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																							
コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ RB種	・	○ 行う ・ 行わない																																																																																																																																							
押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	・	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																							
せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種	・	—																																																																																																																																							
	工率名称	福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事																																																																																																																																								
	図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-6																																																																																																																																								
	縮尺率	縮尺率 図面No A1=100% A2= 71% A3= 50% A-06																																																																																																																																								

	福山市建設局建築部営繕課		縮尺率	図面No
	2026年 2月		A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-06

章	項目	特記事項																																																																										
○	素地ごしらえ	[7.3.2~7.3.7] <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td></td> <td>※ C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスチック面</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> </table>	下地面等		種類	木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種		透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種	鉄鋼面 (DP以外)		※ C種 ・ A種 ・ B種	鉄鋼面 (DP)		※ B種 ・ A種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種	モルタル面及びプラスチック面		※ B種 ・ A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※ B種 ・ A種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		※ B種 ・ A種	せっこうボード面及びその他ボード面		※ B種 ・ A種																																												
下地面等		種類																																																																										
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種																																																																										
	透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種																																																																										
鉄鋼面 (DP以外)		※ C種 ・ A種 ・ B種																																																																										
鉄鋼面 (DP)		※ B種 ・ A種 ・ C種																																																																										
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種																																																																										
モルタル面及びプラスチック面		※ B種 ・ A種																																																																										
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※ B種 ・ A種																																																																										
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		※ B種 ・ A種																																																																										
せっこうボード面及びその他ボード面		※ B種 ・ A種																																																																										
○	錆止め塗料塗り	[7.4.2~7.4.3] <table border="1"> <tr> <th colspan="2">素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">SOP</td> <td>塗装済</td> <td>As種</td> <td>※ C種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>錆止め塗装のまま (工程の種類は表 7.4.3)</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>As種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>EP-G</td> <td>塗装済</td> <td>※ Bs種 ・ As種</td> <td>※ C種</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表 7.4.3)</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>※ Bs種 ・ As種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>塗装済</td> <td>7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種)</td> <td>・ C種 (下地調整R種)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表 7.4.4)</td> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ) ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SOP</td> <td>塗装済</td> <td>※ Az種 ・ Bz種</td> <td>※ C種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>※ Bz種</td> <td>※ B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>EP-G</td> <td>塗装済</td> <td>Cz種</td> <td>※ C種</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表 7.4.5)</td> <td>新規</td> <td>Cz種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>塗装済</td> <td>Bz種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表 7.4.6)</td> <td>新規</td> <td>Bz種</td> <td>-</td> </tr> </table>	素地面		塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	SOP	塗装済	As種	※ C種	-	錆止め塗装のまま (工程の種類は表 7.4.3)	新規見え隠れ	As種	※ A種	鉄鋼面	EP-G	塗装済	※ Bs種 ・ As種	※ C種	(工程の種類は表 7.4.3)	新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種	※ B種	DP	塗装済	7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種)	・ C種 (下地調整R種)	-	(工程の種類は表 7.4.4)	新規	7.4.2(1)(イ) ・ A種	-	SOP	塗装済	※ Az種 ・ Bz種	※ C種	-	その他	※ Bz種	※ B種	-	亜鉛めっき鋼面	EP-G	塗装済	Cz種	※ C種	(工程の種類は表 7.4.5)	新規	Cz種	※ B種	DP	塗装済	Bz種	-	-	(工程の種類は表 7.4.6)	新規	Bz種	-															
素地面		塗装の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																								
SOP	塗装済	As種	※ C種	-																																																																								
	錆止め塗装のまま (工程の種類は表 7.4.3)	新規見え隠れ	As種	※ A種																																																																								
鉄鋼面	EP-G	塗装済	※ Bs種 ・ As種	※ C種																																																																								
	(工程の種類は表 7.4.3)	新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種	※ B種																																																																								
DP	塗装済	7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種)	・ C種 (下地調整R種)	-																																																																								
	(工程の種類は表 7.4.4)	新規	7.4.2(1)(イ) ・ A種	-																																																																								
SOP	塗装済	※ Az種 ・ Bz種	※ C種	-																																																																								
	その他	※ Bz種	※ B種	-																																																																								
亜鉛めっき鋼面	EP-G	塗装済	Cz種	※ C種																																																																								
	(工程の種類は表 7.4.5)	新規	Cz種	※ B種																																																																								
DP	塗装済	Bz種	-	-																																																																								
	(工程の種類は表 7.4.6)	新規	Bz種	-																																																																								
○	塗装	[7.5.2~7.13.2] <table border="1"> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>塗装済</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装の種類</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>※ 1種</td> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 2種</td> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ クリヤラッカー塗り (DL)</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td></td> <td>・ A-1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ B-1種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>・ B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (U)</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ ビグメントステイン塗り</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> </table> <p>つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスチック面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗装済の場合のしめ止め  ※ 改修標準仕様書表 7.9.1 の工程 1 の下塗りをしめ止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗装済の場合のしめ止め  ※ 改修標準仕様書表 7.10.1 の工程 1 の下塗りをしめ止めシーラーとする</p> <p>クリヤラッカー塗り A種の工程 2 の適用  ・ 適用しない  ・ 適用する (着色剤: ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)</p> <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程 1 の適用  ・ 適用する  ・ 適用しない</p>	塗装の種類	塗装面	工程				塗装済	新規	○ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種	木部屋内	※ B種	※ B種	塗装の種類	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	※ 1種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※ A種 ・ B種	・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種	・ クリヤラッカー塗り (DL)		※ B種	※ B種 ・ A種	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※ B種	※ B種 ・ A種	・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	-	-	亜鉛めっき鋼面	-	-	コンクリート面及び押出成形セメント板面			・ A-1種			・ B-1種	○ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種	屋内の木部	※ B種	※ A種	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種	屋内の亜鉛めっき面	※ B種	※ A種 ・ B種	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (U)		※ B種	※ B種 ・ A種	・ ビグメントステイン塗り		※ B種	・ A種	・ 木材保護塗料塗り (WP)		※ B種	・ A種
塗装の種類	塗装面	工程																																																																										
		塗装済	新規																																																																									
○ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種																																																																									
	木部屋内	※ B種	※ B種																																																																									
塗装の種類	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																									
	※ 1種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※ A種 ・ B種																																																																									
・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種																																																																									
・ クリヤラッカー塗り (DL)		※ B種	※ B種 ・ A種																																																																									
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※ B種	※ B種 ・ A種																																																																									
・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	-	-																																																																									
	亜鉛めっき鋼面	-	-																																																																									
コンクリート面及び押出成形セメント板面			・ A-1種																																																																									
			・ B-1種																																																																									
○ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種																																																																									
	屋内の木部	※ B種	※ A種																																																																									
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種																																																																									
	屋内の亜鉛めっき面	※ B種	※ A種 ・ B種																																																																									
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (U)		※ B種	※ B種 ・ A種																																																																									
・ ビグメントステイン塗り		※ B種	・ A種																																																																									
・ 木材保護塗料塗り (WP)		※ B種	・ A種																																																																									

章	項目	特記事項															
・	鉄筋の継手及び定着	[8.3.4] <table border="1"> <tr> <th colspan="3">鉄筋の継手の方法等</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接 ・ 機械式継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋 ( )</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>継手位置  ・ 図示による ( )  柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ  ※ 改修標準仕様書表 8.3.2 による  ・ 図示による ( )  耐力壁の重ね継手の長さ  ※ 改修標準仕様書表 8.3.4(3)(ア)による  ・ 図示による ( )  ・ 先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち隣合う継手を同一箇所には設置する場合  ・ 図示による ( )  鉄筋の定着の長さ  ※ 改修標準仕様書表 8.3.4 による  ・ 図示による ( )  折り曲げ定着の方法  ※ 改修標準仕様書表 8.3.4(5)(イ) の図 8.3.3 による  ・ 図示による ( )  機械式定着工法  ・ 適用する  適用箇所  ・ 図示による ( )  種類  ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定  ・ 嵌合グラウト固定  ・ 帯筋組立の形、継手及び定着  ・ 図示による ( )</p>	鉄筋の継手の方法等			部位	継手方法	呼び径 (mm)	柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手		耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手		その他の鉄筋 ( )	・ 重ね継手	
鉄筋の継手の方法等																	
部位	継手方法	呼び径 (mm)															
柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手																
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手																
その他の鉄筋 ( )	・ 重ね継手																
・	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)	[8.3.5] <p>最小かぶり厚さ  ※ 改修標準仕様書表 8.3.5(1) による  ・ 図示による ( )  軽重コンクリートを使用する場合  ・ あり 適用箇所 ( )  ・ 改修標準仕様書表 8.3.6 の最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm  耐久性及び不適当な箇所がある場合 (塩害等を受けるおそれのある部分等)  ・ あり 適用箇所 ( )  ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm  ・ 図示による ( )</p>															
・	壁の配筋及び補強	[8.3.6] <p>壁の配筋及び壁開口部の補強  ・ 図示による ( )</p>															
・	圧接完了後の圧接部の試験	[8.3.8] <p>超音波探傷試験  ※ 行う (全圧接部)</p>															
・	機械式継手	[8.4.2] <p>適用箇所  ・ 図示による ( )  H12 報告第1463号に適合する性能  ・ A級  種類  ・ 図示による ( )  鉄筋相互のあき  ・ 図示による ( )  施工完了後の継手部の試験  ・ 外観試験  試験対象  ※ 全数  試験項目及び合格判定  ※ 改修標準仕様書表 8.4.1~表 8.4.3 による  ・ 評定等の評価内容による  不合格となった場合の措置  ※ 改修標準仕様書表 8.4.2(5)(ア) (a)~(c) による  ・ 図示による ( )  ・ 超音波測定試験  試験対象  ・ 抜き取り  ロットの大きさ ( )  試験箇所数: ( )箇所/ロット  全数  不合格となった場合の措置  ・ 図示による ( )</p>															
・	溶接継手	[8.4.3] <p>適用箇所  ・ 図示による ( )  H12 報告第1463号に適合する性能  ・ A級  溶接継手の性能、工法  ・ 図示による ( )  鉄筋相互のあき  ・ 図示による ( )  施工完了後の継手部の試験  ・ 外観試験  試験対象  ※ 全数  試験項目  ・ 図示による ( )  試験方法  ・ 図示による ( )  不合格となった場合の措置  ・ 図示による ( )  ・ 超音波探傷試験  試験対象  不合格となった場合の措置  ・ 図示による ( )</p>															

章	項目	特記事項																				
8-2	コンクリートの種類	[8.1.3] <p>コンクリートの種類  ※ I類 (JIS A 5308への適合を認定されたコンクリート)  ・ II類 (I類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート)  建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリート  適用箇所 ( )</p>																				
・	コンクリートの品質、調合	[8.1.4][8.2.5][8.9.2] <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 24</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※ 改修標準仕様書表 8.2.4 による  ・ 図示による ( )  ・ 軽重コンクリート  設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)   スラブ (cm)   気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)   種類   適用箇所  ・ ※ 21   ・   ・   ・ 1種 ・ 2種  ・   ・   ・   ・   ・</p>	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	適用箇所		・ 24	・	・			・	・	・			・	・	・		
設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	適用箇所																			
・ 24	・	・																				
・	・	・																				
・	・	・																				
・	セメント	[8.2.5] <p>種類  ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種  適用箇所 ( )  ・ 高炉セメントB種  適用箇所 ( )  ・ フライアッシュセメントB種  適用箇所 ( )</p>																				
・	骨材	[8.2.5] <p>フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材及び電気炉酸化骨材  ・ 使用する  普通エコセメントを使用するコンクリートの骨材  ・ 再生骨材Hを使用する  アルカリシリカ反応性による区分  ※ A ・ B</p>																				
・	混和材料	[8.2.5] <p>・ 混和剤  混和剤の種類  ※ 改修標準仕様書表 8.2.5(4)(ア)による  ・ 混和材  混和材の種類  ※ 改修標準仕様書表 8.2.5(4)(イ)による  改修標準仕様書表 8.2.5(5)(イ)(f)④⑤⑥以外の混和材料  ・ 混和剤 ( ) ・ 混和材 ( )  使用方法  使用量</p>																				
・	構造体用モルタル	[8.2.6] <p>構造体用モルタル  圧縮強度 ( )  フロー値 ( )</p>																				
・	薄中コンクリート	[8.10.2] <p>スラブ  ※ 21mm  構造体強度補正值  ※ 改修標準仕様書表 8.10.2 による</p>																				
・	無筋コンクリート	[8.11.1] <p>コンクリートの種類  ※ 普通コンクリート  設計基準強度  ※ 18N/mm<sup>2</sup>  スラブ  ※ 15cm又は18cm  適用箇所  ・ 図示による ( )  改修標準仕様書表 8.1.1 以外のコンクリートを用いる場合 ( )</p>																				
・	構造体コンクリートの仕上り	[8.1.4] <table border="1"> <tr> <th colspan="2">合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ  種類   適用箇所  ・ a種    ・ b種    ・ c種  </p>	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ		種別	適用箇所	・ A種		・ B種		・ C種											
合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ																						
種別	適用箇所																					
・ A種																						
・ B種																						
・ C種																						
・	型枠の材料	[8.2.7] <p>せき板の材料及び厚さ  ・ 合板 ( ※ 12mm )  ・ スリーブの材質・規格等  ・ 図示による ( )</p>																				
・	打増し厚さ (打直し仕上げ部)	[8.7.8] <p>打増し厚さ  ・ 打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)  ・ 20mm  打増し範囲  ・ 図示による ( )</p>																				
・	型枠の加工及び組立	[8.7.8] <p>シアコネクタをセパレーターとして使用  使用箇所  ・ 図示による ( )</p>																				
・	型枠の存置期間及び取外し	[8.7.8] <p>普通エコセメントの場合の最小存置期間  ・ 図示による ( )</p>																				

章	項目	特記事項																					
○	あと施工アンカー	[8.2.4] <p>材料等  ○ 金属系アンカー  ・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による ( )  ・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による ( )  アンカー本体の径及び埋込み長さ  ・ 図示による ( )  セット方式 ※ 本体打込み式改良型  接合部の種類、径、長さ  ・ 図示による ( )  ・ 性能確認試験  試験方法及び試験数  ・ 図示による ( )  ・ 接着系アンカー  ・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による ( )  ・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による ( )  アンカーの種類 ※カプル方式回転打撃式  接着剤の品質  ・ 有機系 ・ 無機系  アンカー径の径及び埋込み長さ  ・ 図示による ( ) ○ 150mm以上  アンカー径の種類  ・ 図示による ( )  アンカー径の新設壁内への定着の長さ  ・ 図示による ( ) ○ 400mm以上  ・ 性能確認試験  試験方法及び試験数  ・ 図示による ( )</p>																					
○	穿孔	[8.12.4] <p>埋込み配管等の調査方法  ○ 鉄筋探知器 (金属探知器) により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う  ・ はつり出しによる  ・ 図示による ( )</p>																					
○	施工確認試験	[8.12.7] <p>試験方法  ※ 引張試験機による引張試験  確認強度  ・ 図示による ( )  試験箇所数 ( )</p>																					
8-4	鉄骨製作工場	[8.1.5] <p>鉄骨製作工場の加工能力  ※ 建築基準法 第68条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ( ) グレード以上  ・ 監督職員の承諾する工場</p>																					
・	鉄骨製作工場における施工管理技術者	[8.1.6] <p>※ 配置する</p>																					
・	鋼材	[8.2.8] <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> </tr> </table>	種類等			種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格			・ JISによる			・ JISによる			・ JISによる			・ JISによる			・ JISによる
種類等																							
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格																					
		・ JISによる																					
		・ JISによる																					
		・ JISによる																					
		・ JISによる																					
		・ JISによる																					
・	材料試験等	[8.2.14] <p>板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験  ・ 行う (適用箇所) ・ 行わない ( )</p>																					
・	高力ボルト	[8.2.9][8.13.2][8.14.2][8.14.7] <p>高力ボルトの種類  ・ トルシヤ形高力ボルト  ・ JIS形高力ボルト  ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト  ・ 図示による ( )  ボルトの寸法  ねじの呼び ・ 図示による ( )  ボルトの継ぎ目、ボルト間隔、ゲージ等  ・ 図示による ( )  摩擦面の性能及び処理  ・ すべり試験の実施 (試験方法 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験)  JIS形高力ボルトの締付け (本締め)  ナット回転法の場合で、ボルトの長さねじの呼びの5倍を超える場合の回転量  ・ 図示による ( )</p>																					
・	溶融亜鉛めっき高力ボルト	[8.13.2][8.20.5] <p>ボルトの継ぎ目、ボルト間隔、ゲージ等  ・ 図示による ( )  摩擦面の処理方法  ・ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上)  ・ リン酸塩処理  ・ 図示による ( )</p>																					
・	溶接材料	[8.2.10] <p>溶接材料  ・ 改修標準仕様書表 8.2.10(1)(2)による</p>																					

章	項目	特記事項																				
8-1	鉄筋	[8.2.1] <table border="1"> <tr> <th colspan="3">鉄筋の種類等</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	鉄筋の種類等			種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・ SD295			・ SD345			・			・				
鉄筋の種類等																						
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																				
・ SD295																						
・ SD345																						
・																						
・																						
・	溶接金網	[8.2.2] <table border="1"> <tr> <th colspan="4">鉄線の形状等</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	鉄線の形状等				種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・ 溶接金網				・				・			
鉄線の形状等																						
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																			
・ 溶接金網																						
・																						
・																						
・	加工	[8.3.2] <p>・ 鉄筋の折曲げ角度が90°未満の内法直径(D) ( )以上</p>																				

章	項目	特記事項																				
8-1	鉄筋	[8.2.1] <table border="1"> <tr> <th colspan="3">鉄筋の種類等</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	鉄筋の種類等			種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・ SD295			・ SD345			・			・				
鉄筋の種類等																						
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																				
・ SD295																						
・ SD345																						
・																						
・																						
・	溶接金網	[8.2.2] <table border="1"> <tr> <th colspan="4">鉄線の形状等</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	鉄線の形状等				種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・ 溶接金網				・				・			
鉄線の形状等																						
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																			
・ 溶接金網																						
・																						
・																						
・	加工	[8.3.2] <p>・ 鉄筋の折曲げ角度が90°未満の内法直径(D) ( )以上</p>																				

章	項目	特記事項
・	溶接継手	[8.4.3] <p>適用箇所  ・ 図示による ( )  H12 報告第1463号に適合する性能  ・ A級  溶接継手の性能、工法  ・ 図示による ( )  鉄筋相互のあき  ・ 図示による ( )  施工完了後の継手部の試験  ・ 外観試験  試験対象  ※ 全数  試験項目  ・ 図示による ( )  試験方法  ・ 図示による ( )  不合格となった場合の措置  ・ 図示による ( )  ・ 超音波探傷試験  試験対象  不合格となった場合の措置  ・ 図示による ( )</p>
・	型枠の加工及び組立	[8.7.8] <p>シアコネクタをセパレーターとして使用  使用箇所  ・ 図示による ( )</p>
・	型枠の存置期間及び取外し	[8.7.8] <p>普通エコセメントの場合の最小存置期間  ・ 図示による ( )</p>

工事名称  
**福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事**

図面名称  
**建築改修工事特記仕様書 No-7**

 設計 <b>2026年 2月</b>	<b>株式会社 佐藤設計</b> 〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 22(1)第4533号 一級建築士 藤 浩 宏	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No <b>A-07</b>
--	--	--------------------------------------	---------------------

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																								
8-12 （特殊工事）	既存杭の撤去等	撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による ( ) 既存杭の杭頭部等の処理 ・ 図示による ( ) 既存杭の補強 ・ 図示による ( ) 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 図示による ( )	[ 8. 28. 2 ]	◎ 石綿含有建材の除去工事	◎ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・ 図示による ◎ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点	[ 9. 1. 1 ]	断熱・防露 改修工事	断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	[ 9. 3. 2 ]	埋戻し及び盛土	材料及び工法 ・ 材料 ( ) ・ 工法 ( ) ※ 改修標準仕様書表 8. 28. 1 による ・ A種 適用場所 ( ) ・ B種 適用場所 ( ) ・ C種 適用場所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・ D種 適用場所 ( )	[ 8. 28. 3 ]	◎ 石綿含有建材の処理 ・ 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) 除去対象範囲 ◎ 図示による 除去工法 ※ 改修標準仕様書 9. 1. 3 (2) (ア) による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ◎ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ◎ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設は無害化処理施設)	[ 9. 1. 3 ]	断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 ( ) 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 ( )	[ 9. 3. 3 ]	試験及び報告書	試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による ( ) ・ 杭の載荷試験 方法 ・ 図示による 試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ ( ) ・ 地盤の載荷試験 方法 ・ 図示による 試験及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ ( )	[ 8. 28. 4 ]	◎ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・ 図示による 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ◎ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ◎ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設は無害化処理施設)	[ 9. 1. 4 ]	材料 芝及び地被類の種類等 ※ 図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による かん水装置 ・ 設置する (種類 ) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新補した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引渡しの日から1年	[ 9. 4. 2 ]	杭地業	杭の材料 ・ 図示による 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による 杭の工法、種類、寸法、施工工法等 ・ 図示による 支持層の位置及び土質 (基礎寸の先端位置含む) ・ 図示による ( ) 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・ 図示による ( ) 溶接部の確認 ・ 図示による ( ) 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断ともなう補強方法含む) ・ 図示による ( ) 支持層への挿入長さ ・ ( ) 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・ 図示による ( )	[ 8. 2. 15 ]	◎ 石綿含有成形板等の除去 除去対象範囲 ◎ 図示による 隔離養生 (負圧不要) 方法 ◎ 図示による 足場 ◎ 図示による 除去した石綿含有成形板等の処分 ◎ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設は無害化処理施設)	[ 9. 1. 5 ]	透水性アスファルト舗装改修工事	既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示による 路床 路床の材料 種類 材料 厚さ(mm) ・ 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 図示による ・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ フィルター層 ・ 砂 ・ 図示による	[ 9. 5. 2 ]	砂利地業	材料 ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利厚さ ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ( )	[ 8. 2. 15 ] [ 8. 28. 4 ]	◎ 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 ・ 図示による 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設は無害化処理施設) ・ 汚泥としての処理	[ 9. 1. 6 ]	断熱材 断熱材の種類 断熱材の厚さ (mm)	[ 9. 2. 2 ]	砂地業	材料 (シルト、有機物等の混入しない締固めに適した砂) ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕石 砂厚さ ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ( )	[ 8. 2. 15 ] [ 8. 28. 4 ]	◎ 石綿含有外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	[ 9. 2. 3 ]	◎ 石綿含有外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	[ 9. 2. 4 ]	路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粗度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粗度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粗度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粗度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ・ 図示による 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	[ 9. 5. 4 ]	◎ 石綿含有外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	[ 9. 2. 3 ]	路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粗度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粗度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粗度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粗度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ・ 図示による 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	[ 9. 5. 5 ]	◎ 石綿含有外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	[ 9. 2. 4 ]	路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粗度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粗度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粗度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粗度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ・ 図示による 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	[ 9. 5. 5 ]	◎ 石綿含有外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	[ 9. 2. 4 ]	路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粗度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粗度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粗度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粗度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ・ 図示による 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	[ 9. 5. 5 ]	◎ 石綿含有外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	[ 9. 2. 4 ]	路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粗度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粗度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粗度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粗度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ・ 図示による 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	[ 9. 5. 5 ]	◎ 石綿含有外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	[ 9. 2. 4 ]	路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粗度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粗度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粗度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粗度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ・ 図示による 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	[ 9. 5. 5 ]

工事名称  
福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

図面名称  
建築改修工事特記仕様書 No-8

	福山市建設局建築部管轄課 設計 2026年 2月	 株式会社 佐藤設計 〒720-0823 福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 藤井 宏	縮尺率	図面No
	A1=100%		A-08	
	A2= 71% A3= 50%			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
③	○ 埋戻し及び盛土	材料及び工法 (3.2.3)(表3.2.1)	4	○ 現場打ちコンクリート杭地業	継手 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)	○ 地盤改良(浅層混合処理工法)	材料 (4.8.2)	○ コンクリートの種類	○ 工事後の継手部の試験 (5.5.5)		
		※ 標準仕様書 表3.2.1による			杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)					○ 地盤改良(浅層混合処理工法) (4.8.2)	○ 工事後の継手部の試験 (5.5.5)
④	・ 試験及び報告書等	直接基礎 (4.2.1)	・ 場所打ちコンクリート杭地業	材料 (4.5.4)	○ 鉄筋 (5.2.1)	○ 溶接金網 (5.2.2)	○ 加工 (5.3.2)	○ 継手及び定着 (5.3.4)	○ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5.3.5)		
		支持地盤の位置及び土質 (基礎底部の位置含む)		鉄筋の種類 (4.5.4)(5.2.1)						○ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5.3.5)	
⑤	・ 既製コンクリート杭地業	杭基礎 (4.2.2)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6)	○ 砂利地業	材料 (4.6.2)	○ 各部配筋 (5.3.7)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 機械式継手 (5.5.3)	○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)			
		支持層の位置及び土質 (杭先端の位置含む)		砂利地業の厚さ (4.6.3)					○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)		
⑥	・ 溶接継手	杭の載荷試験 (4.2.3)	・ 砂地業	材料 (4.6.2)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 機械式継手 (5.5.3)	○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)			
		適用する		砂地業の厚さ (4.6.3)					○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)		
⑦	・ 溶接継手	載荷試験の方法 (4.2.3)	○ 床下防湿層	材料 (4.6.2)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 機械式継手 (5.5.3)	○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)			
		鉛直載荷試験		防湿層 (4.6.5)					○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)		
⑧	○ コンクリートの種類	地盤の載荷試験 (4.2.4)	・ 鋼杭地業	材料 (4.6.2)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 機械式継手 (5.5.3)	○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)			
		適用する		材料 (4.6.2)					○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)		
⑨	○ コンクリートの種類	載荷試験の方法 (4.2.3)	・ 鋼杭地業	材料 (4.6.2)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 機械式継手 (5.5.3)	○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)			
		鉛直載荷試験		材料 (4.6.2)					○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)		
⑩	○ コンクリートの種類	地盤の載荷試験 (4.2.4)	・ 鋼杭地業	材料 (4.6.2)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)	○ 機械式継手 (5.5.3)	○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)			
		適用する		材料 (4.6.2)					○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)(5.4.11)		

工務名称  
福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

図面名称  
建築工事特記仕様書 No-1

縮尺率  
A1=100%  
A2= 71%  
A3= 50%

図面No  
A-09

設計  
2026年 2月

株式会社 佐藤設計  
〒720-0923 広島県福山市千代田町一丁目14番21号  
一級建築士事務所 広島県知事登録 22(1)第4533号  
電話 44907号 渡井 宏

Main specification table with columns for Item (項目), Particulars (特記事項), and various construction details. Includes sections for concrete, reinforcement, and masonry.

Project information including site name (福山市立樹徳小学校南校舎給食室改修工事), design date (2026年 2月), and company details (株式会社 佐藤設計).

章	項目	特記事項
19	内装工事	見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、形状等) ・ 図示による ・ 適用しない タイルカーベットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し 階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き
	合成樹脂塗床	合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (19.4.2)
	フローリング張り	フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19.5.2(2)による (19.5.2)
	単層フローリング	(19.5.2~19.5.5)
	複合フローリング	(19.5.2~19.5.5)
	接着工法の場合の不陸緩和材	※ 合成樹脂発泡シート (19.5.5)
	畳敷き	種類 ・ A種 (畳表: JS・J1) ・ B種 ・ C種 (畳床: PS-G20・PS-G25・PS-G30) ・ D種 (畳床: KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
	せつこうボード、その他ボード及び合板張り	材料 (19.7.2)(表19.7.1)

章	項目	特記事項
		パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ボード表面への化粧張りの有無 ・ 有り(種類: )
		天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックワール吸音板を除く) (19.7.3)
		せつこうボードの目地工法 (19.7.3)
		種類 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目通し工法 せつこうボードのエッジの種類 (突付け工法、目通し工法の場合) ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ
		材料 (19.7.2)
		種類 ・ 普通合板 品名 ( ) 厚さ ( ※ 5.5mm ) 板面の品質 ( ) 広葉樹 ( ※ 2等以上 ) 針葉樹 ( ※ C-0以上 ) 単板の樹種名 ( )
		防火性能 ・ 行う ・ 行わない
		・ 天然木化粧合板 厚さ ( mm ) 化粧板の単板の樹種名 ( )
		防火性能 ・ 行う ・ 行わない
		・ 特殊加工化粧合板 品名 ( ) 厚さ ( mm ) 接着の程度 ( ) 単板の樹種名 ( ) 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装
		防火性能 ・ 行う ・ 行わない
		合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19.7.2(2)(イ)のいずれかによる
		合板の張付け ・ A種 ・ B種 (19.7.3)(表19.7.3)
		ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2) 壁紙 ※ F☆☆☆☆ 接着剤 ※ F☆☆☆☆
		種類 (19.8.2)
		壁紙の種類 紙 繊維 プラスチック 無機質 塩化ビニル その他
		防火性能 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
		備考
		施工 モルタル面及びせつこうプラスター面の素地ごしらえ (表18.2.4) ※ B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらえ (表18.2.5) ※ B種 ・ A種 せつこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ (表18.2.7) ※ B種 ・ A種
		断熱材 (19.9.3)
		種類 断熱材名 種類(記号) 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキム層なし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材
		フェノールフォームを使用した断熱材及び開口部等補修のための張付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
		断熱材現場発泡工法 (19.9.4) 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ ・ mm 施工箇所 ・ 図示による
		② ユニマート及びその他の工事
		材料等 (20.2.2)
		施工箇所 構造 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備考
		・ 支柱調整式 ・ 置敷式
		帯電防止性能 ・ U値(クラス1) ・ U値(クラス2) 漏えい抵抗 ・ R <sub>レ</sub> ≥ 1 × 10 <sup>-9</sup> Ω
		耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法 ※ 標準仕様書20.2.2(2)(イ)による
		寸法精度 ※ 標準仕様書20.2.2(2)(オ)による
		材料等 (20.2.3)
		構造形式による種類 構造基礎の種類 スタッド パネル
		パネル表面仕上げ ・ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・ 壁紙張り
		遮音性能 (dB/500Hz) ・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36
		パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ パネル内に取付けける建具 ・ 有り(寸法及び形状: ※ 図示による) ・ 無し

章	項目	特記事項
		移動間仕切
		材料及び性能等 (20.2.4)
		操作方式による種類 ・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式
		圧接装置の操作方式 ・ プッシュ式 ・ ハンドル式
		パネル表面材 材質 ・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り
		仕上げ ・ 36未満 ・ 36以上
		遮音性能 (dB/500Hz) ・ 36未満 ・ 36以上
		ハンガーレールの取付け下地 ※ 標準仕様書20.2.3(3)(ウ)による ・ 図示による
		ハンガーレール ※ 標準仕様書20.2.4(3)(エ)による ・ 図示による
		ランナー ※ 標準仕様書20.2.4(3)(オ)による ・ 図示による
		パネルをランナーに取り付ける部品 ※ 標準仕様書20.2.4(3)(カ)による ・ 図示による
		あと施工アンカー ・ 使用する (種類: 材質: 寸法: ) ・ 使用しない
		材料等 (20.2.5)
		パネル表面材の材質 ・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板
		脚部の種類 ※ 幅木タイプ
		ドアエッジの材質 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材
		パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (20.2.6)
		材料の種類 ・ 鋼板
		仕上げ ・ 鋼板
		材料等 (20.2.7)
		材種 形状 寸法(mm) 取付け工法 ・ ステンレス製(SUS304) ・ ひも状 ・ ※ 接着工法 ・ 黄銅製押出型材 ・ タイヤ型 ・ 埋込み工法 ・ アルミニウム製押出型材
		黒板及びホワイトボード (20.2.9)
		黒板 区分 ※ 張付け 種類 ・ 鋼板黒板 ・ ほうろう黒板
		ホワイトボード (20.2.9) (約900×600、暗線なし、900×600)
		鏡 (20.2.10) 取付箇所 ( ) 寸法 ※ 図示による 厚さ ※ 5mm
		表示 (20.2.11) 衝突防止表示 形状、寸法 ( ・ 30φ ) 材質 ( ・ ステンレス製 )
		非常用進入口の表示等 ※ 消防法に適合する市販品 (20.2.11)
		匿名札、ビクトグラフィ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式 (20.2.11) ○ 図示による
		タラップ (20.2.12) 材料の種類 ※ ステンレス製 仕上げ ※ 研磨等の仕上げを行わない
		煙突ライニング (20.2.13) 煙突用成形ライニング材 適用全使用温度 ・ °C 工法 ( )
		ブラインド (20.2.14) 材料等 ・ 縦形ブラインド 種類 ※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式 幅、高さ ・ 図示による スラットの幅 ※ 25mm 材質 スラット ※ アルミニウム合金製 ヘッドボックス ※ 鋼製 ボトムレール ※ 鋼製 ・ 縦形ブラインド 幅、高さ ・ 図示による 開閉方式 ・ 片開き ・ 両開き 操作方式 ※ 2本操作コード方式 ・ 1本操作コード方式 スラットの材質 ・ 焼付け塗装仕上げのアルミスラット ・ 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット スラットの幅 ・ mm
		ロールスクリーン (20.2.15) 材料等 材質 品質 操作方式 幅、高さ 取付箇所 ・ ポリエステル ・ ・ 電動式 ・ 図示 ・ 図示 ・ ・ ・ スプリング式 ・ ・ ・ ・ ・ チェーン式
		カーテン (20.2.16)(表20.2.1) 材料等 形式 開閉操作方式 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考 ・ シングル ・ 片引き ・ 手引き ・ つまみだ(三つ山) ・ ・ 図示 ・ ダブル ・ 引分け ・ ひも引き ・ ひだ、二つ山ひだ ・ ・ ・ ・ ・ 電動 ・ 箱ひだ、片ひだ ・ ・ ・ ・ ・ ・ プレーンひだ ・ ・
		暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上

章	項目	特記事項
		カーテンレール (20.2.16) 材料等 レール及びブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 レールの材料による区分 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 レールの仕上げ ※ アルマイト レールの形状 ※ 角形 カーテン付属物 フック(ひるかん) ※ 鋼製 ・ 樹脂製
		プレキャストコンクリート (20.3.2) 補強鉄筋の径及び網目寸法 ・ 図示による
		製作 (20.3.3) コンクリートの設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) ※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m <sup>3</sup> を満足するように定める ・ 図示による
		配筋 ※ 監督職員の承諾による ・ 図示による
		取付け方法 (20.3.4) ・ 図示による
		材料等 (20.4.2)
		材料 材種 種類 質量区分 備考 ・ 間知石 ・ 花こう岩 - - ・ コンクリート間知ブロック - ・ A ・ B
		工法 (20.4.3) 積み方 ※ 谷積み ・ 布積み 目張り ・ 図示による 伸縮調整目地 材質 ・ 図示による 厚さ ・ 図示による
		ブラインドボックス (20.4.4) 溝幅×深さ(mm) ・ 90×150 ※ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示による 材質 ・ 集成材(仕上げ: ) ・ アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種類(標準仕様書表14.2.1) ・ BC-1種 ・ BC-2種 色合い ・ 標準色( ) ・ 特注色( ) ・ 鋼製(仕上げ: )
		天井点検口 (20.4.5) 材種 寸法 形式 外枠 内枠 ○ アルミニウム製 ○ 450×450 ○ 一般形 ・ 屋内外用 ○ 縦線タイプ ○ 縦線タイプ ・ 600×600 ○ 600×600 ○ 屋内外用 ○ 目地タイプ ○ 目地タイプ
		床点検口 (20.4.6) 材種 寸法 形式 備考 ・ アルミニウム製 ・ 450×450 ・ 一般形 ・ 屋内外用 ・ 鍵付き ・ ステンレス製 ・ 600×600 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 鋼製 ・ ・
		耐震スリット (20.4.7) 方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考 ・ 垂直方向 ・ 完全(全貫通型) ・ 耐火型 ・ 有り ・ 水平方向 ・ ・ 非耐火型 ・ 無し
		目地 (20.4.8) 目地 内壁 外壁 ・ 目地材 ・ シーリング材(見え掛り部のみ) ・ シーリング材(見え掛り部のみ) ・ シーリング材(内外とも) 目地寸法(mm) ・ 幅20×深さ10 ・ 幅20×深さ10
		目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による
		止水板 (20.4.9) 形式 ・ 差込式 ・ 振置式 ・ 壁張り式 施工箇所 ・ 図示による
		エキスパンジョイント金物 (20.4.10) 材種 クリアランス 耐火性能 備考 ・ アルミニウム製 ・ 50 ・ 100 ・ 有り( ) ・ ステンレス製 ・ ・ 無し
		(注) 外部は防水型とする
		くつふきマット (20.4.11) 材種 受け枠 備考 ・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ ステンレス鋼(SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ 硬質アルミニウム合金 ・ ステンレス鋼(SUS304)製
		巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様による
		材料等 (20.2.16)(表20.2.1) 形式 開閉操作方式 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考 ・ シングル ・ 片引き ・ 手引き ・ つまみだ(三つ山) ・ ・ 図示 ・ ダブル ・ 引分け ・ ひも引き ・ ひだ、二つ山ひだ ・ ・ ・ ・ ・ 電動 ・ 箱ひだ、片ひだ ・ ・ ・ ・ ・ ・ プレーンひだ ・ ・
		暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上
		工事名称 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事
		図面名称 建築工事特記仕様書 No-3
		福山市建設局建築部営繕課 設計 2026年 2月
		株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE 0840-953-3282 広島県福山市千代田一丁目14番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 二級建築士 第248907号 請 取 並
		縮尺率 図面No A1=100% A2=71% A3=50% A-11

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include items like ラス系下地, モルタル塗り, 仕上塗材仕上げ, and 床の目地.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include items like 厚付け仕上塗材, 複層仕上塗材, 複層仕上塗材, and 複合仕上塗材.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include items like 防火戸, 見本の製作等, 防犯建物部品, アルミニウム製建具, 網戸等, 樹脂製建具, 鋼製建具, 鋼製軽量建具.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include items like ステンレス製建具, 木製建具, 鋼製建具, 鋼製軽量建具, and specific construction details for the school project.

Project information block including: 工務名称 (Project Name), 設計 (Design), 概算No (Estimate No), 図面No (Drawing No), and company logo for 株式会社 佐藤設計.

Table with 2 columns: Item (項目) and Particulars (特記事項). Includes sections for drainage units, flagstones, flagstone pedestals, columns, fences, grilles, paving, and drainage pipes.

Table with 2 columns: Item (項目) and Particulars (特記事項). Includes sections for cast iron pipes, gratings, paving, bedding, roadbeds, and road curbs.

Table with 2 columns: Item (項目) and Particulars (特記事項). Includes sections for asphalt mixtures, concrete paving, colored paving, permeable asphalt, block paving, and sand filling.

Table with 2 columns: Item (項目) and Particulars (特記事項). Includes sections for tree planting confirmation, base preparation, drainage, soil improvement, tree planting, pillars, and ground greening.

# 鉄筋工事仕様書 No. 1

この仕様書は、国土交通大臣官庁官庁幹部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

## 鉄筋の折曲げ基準

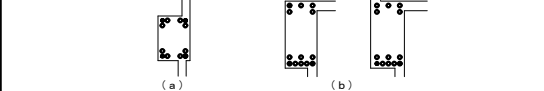
鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)		
		SD295、SD345	SD390	SD390
180°		D16以下		
		D19~D38		
		D19~D38		
135°		3d以上	4d以上	5d以上
90°				
135°及び90°				

- 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
- 90°未満の折曲げの内法直径は、特記による。

## 異形鉄筋のフック

- 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックを付ける。
- 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。  
(下図 (a) の●印で示す鉄筋)
  - 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。(基礎梁を除く)  
(下図 (b) の●印で示す鉄筋)
  - 煙突の鉄筋 (壁の一部となる場合を含む。)
  - 杭基礎のベース筋
  - 帯筋、あばら筋及び幅止め筋



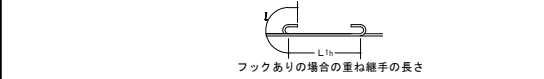
## 鉄筋の継手及び定着

### 1. 鉄筋の継手

鉄筋の重ね継手は、次による。  
なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。  
1) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d (軽量コンクリートの場合は50d) 又は下表の重ね継手長さのうち大きい値とする。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm <sup>2</sup> )	鉄筋の重ね継手の長さ	
		L <sub>1</sub> (フックなし)	L <sub>1h</sub> (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	45d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	18	50d	35d
	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

- L<sub>1</sub>、L<sub>1h</sub>：重ね継手の長さ。フックありの重ね継手の長さ
- L<sub>1h</sub>は、下図に示すようにフック部分①を含む。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



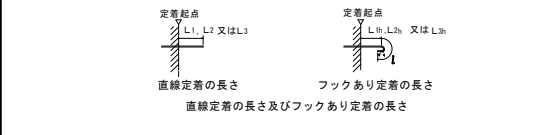
### 2. 鉄筋の定着

1) 鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、下表による。

鉄筋の定着の長さ

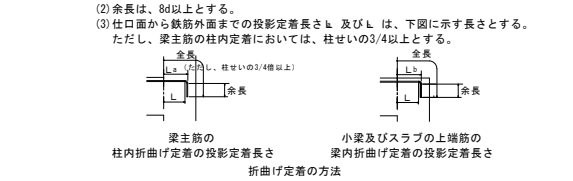
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm <sup>2</sup> )	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ			
		L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	L <sub>4</sub>	L <sub>1h</sub>	L <sub>2h</sub>	L <sub>3h</sub>	L <sub>4h</sub>
SD295	18	45d	40d	10d	35d	30d	25d	20d	15d
	21	40d	35d	10d	30d	25d	20d	15d	10d
	24, 27	35d	30d	150mm	25d	20d	15d	10d	5d
	30, 33, 36	35d	30d	150mm	25d	20d	15d	10d	5d
SD345	18	50d	40d	10d	35d	30d	25d	20d	15d
	21	45d	35d	10d	30d	25d	20d	15d	10d
	24, 27	40d	35d	10d	30d	25d	20d	15d	10d
	30, 33, 36	35d	30d	150mm	25d	20d	15d	10d	5d
SD390	18	50d	40d	10d	35d	30d	25d	20d	15d
	21	50d	40d	10d	35d	30d	25d	20d	15d
	24, 27	45d	40d	10d	35d	30d	25d	20d	15d
	30, 33, 36	40d	35d	150mm	30d	25d	20d	15d	10d

- L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>、L<sub>3</sub>、L<sub>4</sub>：(注) 2. から 4. まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ
- L<sub>1h</sub>、L<sub>2h</sub>：割製破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
- L<sub>3</sub>：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを支える小梁は除く。
- L<sub>4</sub>：小梁の下端筋のフックありの定着の長さ。
- フックありの定着の場合は、下図に示すようにフック部分①を含む。また、中間部での折曲げは行わない。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



### 3) 定着の方法

柱口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さsが、フックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、特記による。特記がなければ、下記の(1)から(3)までを全て満足するものとする。  
(1) 全長は、2) 1) の直線定着の長さ以上とする。  
(2) 余長は、8d以上とする。  
(3) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さs<sub>h</sub>及びL<sub>h</sub>は、下図に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4以上とする。



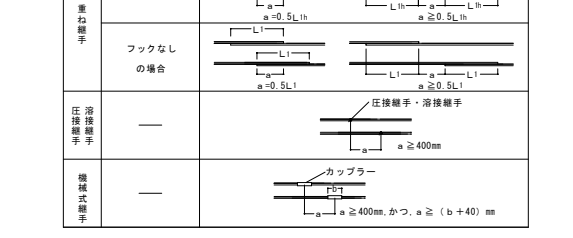
### 3. 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm <sup>2</sup> )	投影定着長さ	
		L <sub>s</sub>	L <sub>h</sub>
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD390	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

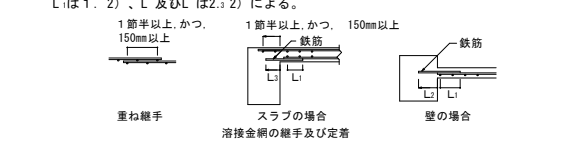
- L<sub>s</sub>：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ (基礎梁、片持梁及び片持ちスラブを含む。)
- L<sub>h</sub>：小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ (片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

### 4. 隣り合う継手の位置

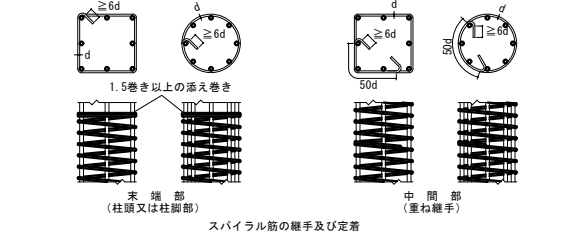
隣り合う継手の位置は、下図による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合は及び壁筋の場合は除く。なお、先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に設ける場合は、特記による。



### 5. 溶接金網の継手及び定着



### 6. スパイラル筋の継手及び定着



## 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

1. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ (mm)  
柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

構造部分の種類	最小かぶり厚さ (mm)	
	鉄筋	溶接金網
スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり 20	仕上げなし 30
柱、梁、耐力壁	仕上げあり 30	仕上げなし 30
基礎、埋壁、耐圧スラブ	仕上げあり 30	仕上げなし 40
埋壁、耐圧スラブ	40	40
柱、梁、スラブ、壁	40	60
基礎、埋壁、耐圧スラブ	60	60
煙突等熱を受ける部分	60	60

- この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久上不利な箇所には適用しない。
- 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗料、塗装等）のものを除く。
- スラブ、梁、基礎及び埋壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含めない。
- 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。

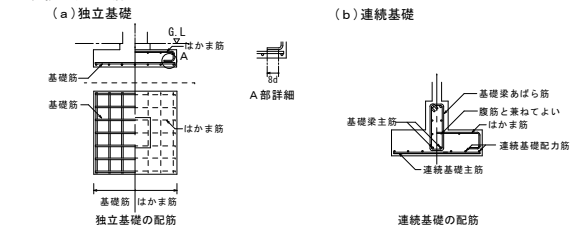
### 2. 鉄筋相互のあき

- 次のうちの最大のもの以上とする。
  - 粗骨材の最大寸法の1.25倍
  - 25mm
  - 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍
- 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。
- 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

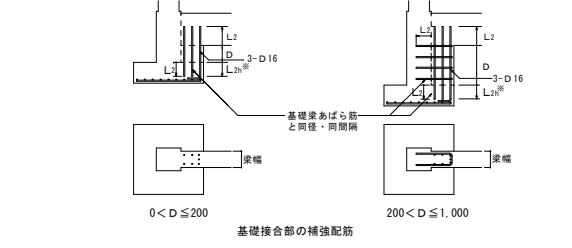
記号	丸鋼	異形鉄筋	記号	丸鋼	異形鉄筋
○	9φ	D10	●	13φ	D13
○	13φ	D13	○	16φ	D16
○	16φ	D16	○	19φ	D19
○	19φ	D19	○	22φ	D22
○	22φ	D22	○	25φ	D25
○	25φ	D25	○	28φ	D28
○	28φ	D28	○	32φ	D32

## 基礎の配筋

### 1. 直接基礎の配筋



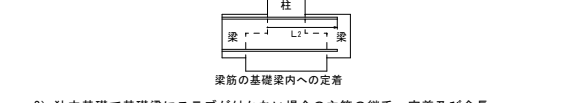
### 2. 基礎接合部の補強配筋



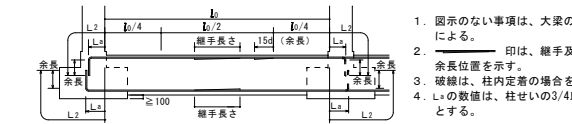
## 基礎梁の配筋

### 1. 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

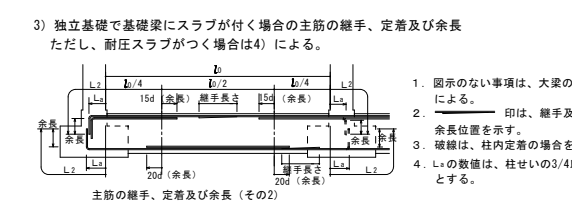
- 一般事項
  - 梁筋は、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
  - 梁筋を柱内に定着する場合は、梁の配筋 1. 1) (2) による。



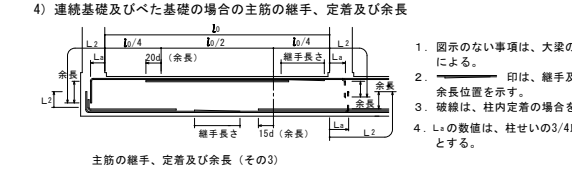
### 2. 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



### 3. 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長



### 4. 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



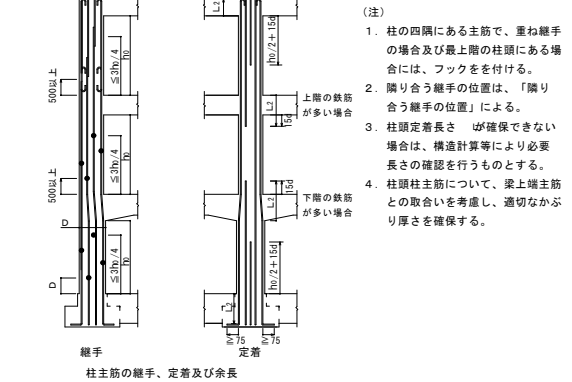
### 2. 基礎梁のあばら筋

あばら筋組立の形及び割付けは、梁の配筋 2. 1) による。ただし、梁の上下にスラブがつく場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、下図によることである。

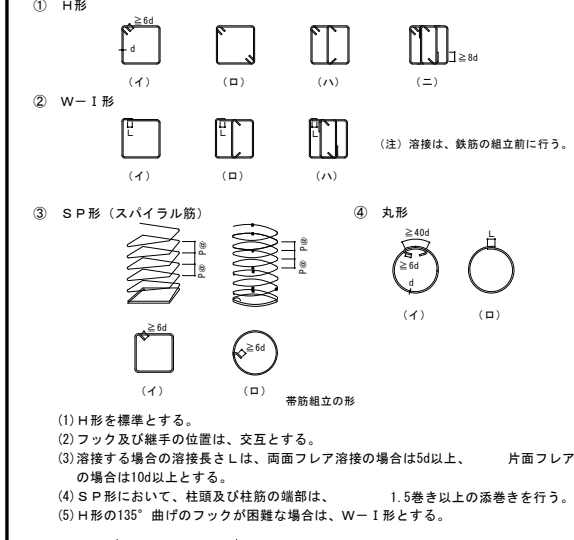


## 柱の配筋

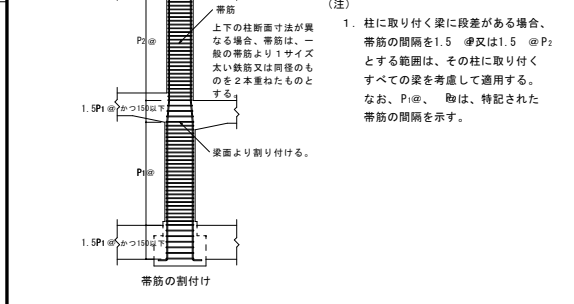
### 1. 柱主筋の継手、定着及び余長



### 2. 帯筋組立の形及び割付け



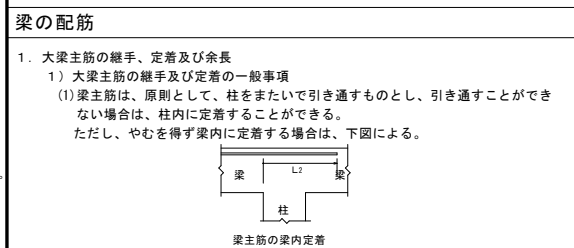
### 4. 柱の打ち増し補強



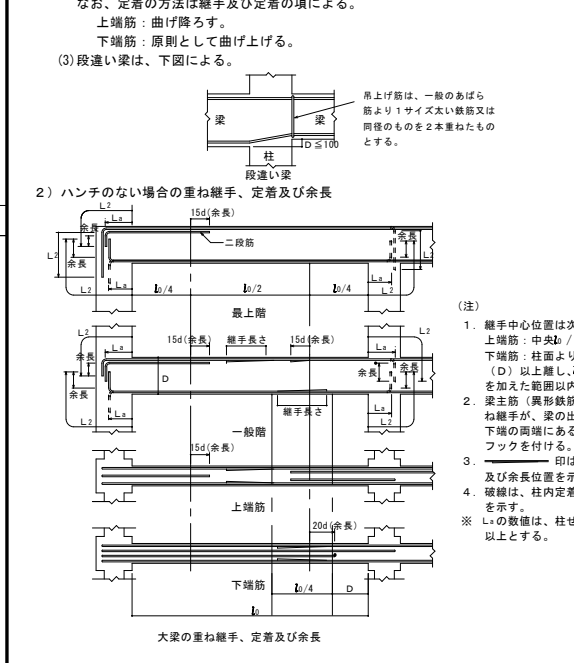
## 梁の配筋

### 1. 大梁主筋の継手、定着及び余長

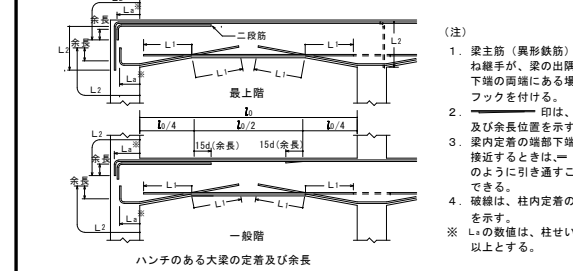
1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項  
(1) 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。



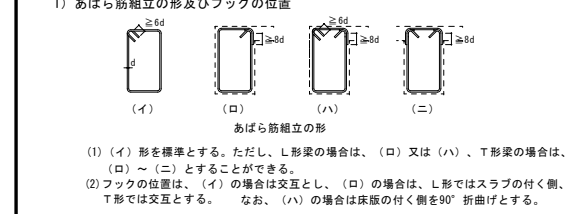
### 2. ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



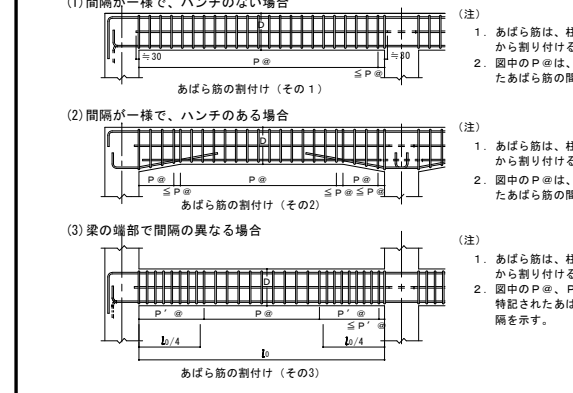
### 3) ハンチのある場合の定着及び余長



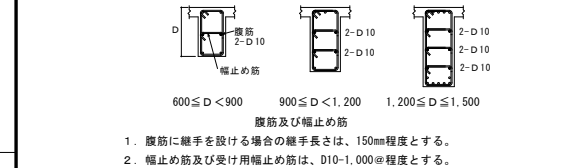
### 2. あばら筋 (小梁、片持ち梁、基礎梁含む) の組立の形及び割付け等



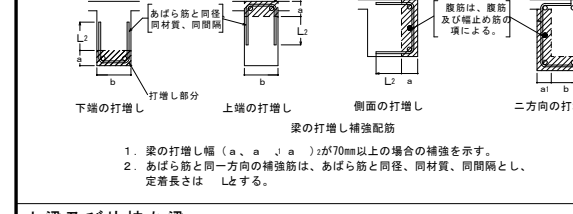
### 2) あばら筋の割付け



### 3) 腹筋及び幅止め筋

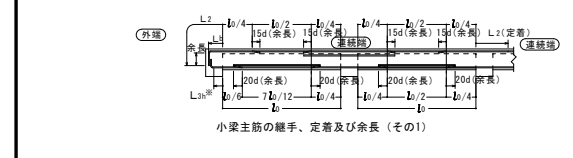


### 2. 打ち増し補強



## 小梁及び片持ち梁

### 1. 小梁主筋の継手、定着及び余長



### 2) 単小梁の場合



## 工事名称

福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

## 株式会社佐藤設計

鉄筋工事仕様書 No. 2

2. 片持梁主筋の継手、定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合

(注)

- 印は、余長位置を示す。
- 先端の折曲げ長さは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
- 図示のない事項は、大梁の項による。
- $L_1$  の数値は、原則として、柱せい の3/4倍以上とする。

2) 先端に小梁がある場合

(注)

- 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
- 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@ シングル	120
W15A	D10-150@ シングル	150
W15B	D10-100@ シングル	150
W18A	D10-200@ ダブル	180
W18B	D10-150@ ダブル	180
W20A	D10-200@ ダブル	200
W20B	D10-150@ ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

2) 片持ちスラブ階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

片持ちスラブ階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ ダブル 横筋 D10-200@ ダブル	180	KA1 KA3
KW2	縦筋 D13-150@ ダブル 横筋 D10-200@ ダブル	200	KA2 KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着

(注)

- 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
- 壁配筋の重ね継手は、 $L_1$  定着長さは  $L_2$  とする。
- 幅止り筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
- 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはいけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

(注)

- 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
- 壁配筋の重ね継手は、 $L_1$  定着長さは  $L_2$  とする。
- 幅止り筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
- 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはいけない。

4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)		壁開口部補強筋 (B形)	
壁の種類	補強筋	壁の種類	補強筋
W12, W15	縦横 1-D13	W12, W15	縦横 2-D13
W18, W20	縦横 2-D13	W18, W20	縦横 4-D13

2) 壁開口部補強の定着長さは、下図による。

3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す。

6. パラベットの配筋

スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S1	D13-100@	D13-100@	S8	D10, D13-150@	D10-150@
S2	同上	D13-150@	S9	同上	D10-200@
S3	同上	D10, D13-150@	S10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S4	D13-150@	D13-150@	S11	同上	D10-200@
S5	同上	D10, D13-150@	S12	同上	D10-250@
S6	同上	D10-150@	S13	D10-200@	D10-200@
S7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

2. スラブ筋の定着及び受け筋

1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。

2. 鉄筋の重ね継手長さは、 $L_1$  とする。

3. 片持ちスラブの基準配筋

1) 片持ちスラブの基準配筋

配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100@ 下 D13-200@	CS5	上 D10-200@ 下 D10-400@
CS2	上 D13-150@ 下 D13-300@	CS6	上 D10, D13-200@ 下 —
CS3	上 D10, D13-150@ 下 D10, D13-300@	CS7	上 D10-200@ 下 —
CS4	上 D10, D13-200@ 下 D10-200@		

(注) 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

2) スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

3. 片持ちスラブの基準配筋

1) 片持ちスラブの基準配筋

(注)

- 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

2) 片持ちスラブの基準配筋

配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100@ 下 D13-200@	CS5	上 D10-200@ 下 D10-400@
CS2	上 D13-150@ 下 D13-300@	CS6	上 D10, D13-200@ 下 —
CS3	上 D10, D13-150@ 下 D10, D13-300@	CS7	上 D10-200@ 下 —
CS4	上 D10, D13-200@ 下 D10-200@		

(注)

- 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。

5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。)

- スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 ( $L=2L_1$ ) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

6. 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅部及び入隅部

7. スラブの打増し補強等

1) 土間スラブの打増し補強

2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

8. 段差のあるスラブの補強

(注) 1. 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。

2. aが300mm以下の場合に限る。

9. 階段の配筋

1. 片持ちスラブ階段

片持ちスラブ階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

(注)

- 壁配筋は、片持ちスラブ階段を受ける壁の基準配筋による。
- 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
- スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、【鉄筋の定着長さ】の  $L_1$  とする。

2. 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB1	D13-200@	KB5	D16-150@
KB2	D13-150@	KB6	D16-125@
KB3	D13-100@	KB7	D16-100@
KB4	D13, D16-150@		

(注) 二辺固定スラブ階段配筋 (その1)

(注) 二辺固定スラブ階段配筋 (その2)

10. 梁貫通孔の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。

- 孔の径は、梁せい の1/3以下とする。
- 孔の径は、梁せい の位置は梁せい の中心付近とし、梁中央部においては梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下横筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出は10mm以上とする。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋は貫通孔の中心とする。

2) 梁貫通孔及びその他の配筋

1) 梁貫通孔の配筋

2) 縦筋が土間コンクリート上に設置される場合の補強

3) 壁付土間コンクリートの補強配筋

11. 梁貫通孔及びその他の配筋

1) 梁貫通孔の配筋

2) 縦筋が土間コンクリート上に設置される場合の補強

3) 壁付土間コンクリートの補強配筋

12. 壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@ シングル	120
W15A	D10-150@ シングル	150
W15B	D10-100@ シングル	150
W18A	D10-200@ ダブル	180
W18B	D10-150@ ダブル	180
W20A	D10-200@ ダブル	200
W20B	D10-150@ ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

2. 梁貫通孔の補強形式

H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H3	4-2-D13	なし	なし	なし	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	なし	なし	なし	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	なし	なし	なし	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13	なし	
M3	4-2-D13	なし	
M4	6-2-D13	2-6φ-100@	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	なし	なし	なし	
MH2	2-2-D13	なし	なし	
MH3	2-2-D13	なし	なし	
MH4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH5	4-2-D16	なし	なし	
MH6	4-2-D16	なし	なし	
MH7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100@	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

(注)

- 大臣認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

3. コンクリートブロック構壁との取合い

1) 控壁の配筋

2) 縦筋が土間コンクリート上に設置される場合の補強

3) 壁付土間コンクリートの補強配筋

4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)		壁開口部補強筋 (B形)	
壁の種類	補強筋	壁の種類	補強筋
W12, W15	縦横 1-D13	W12, W15	縦横 2-D13
W18, W20	縦横 2-D13	W18, W20	縦横 4-D13

工事名称 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 2

株式会社佐藤設計

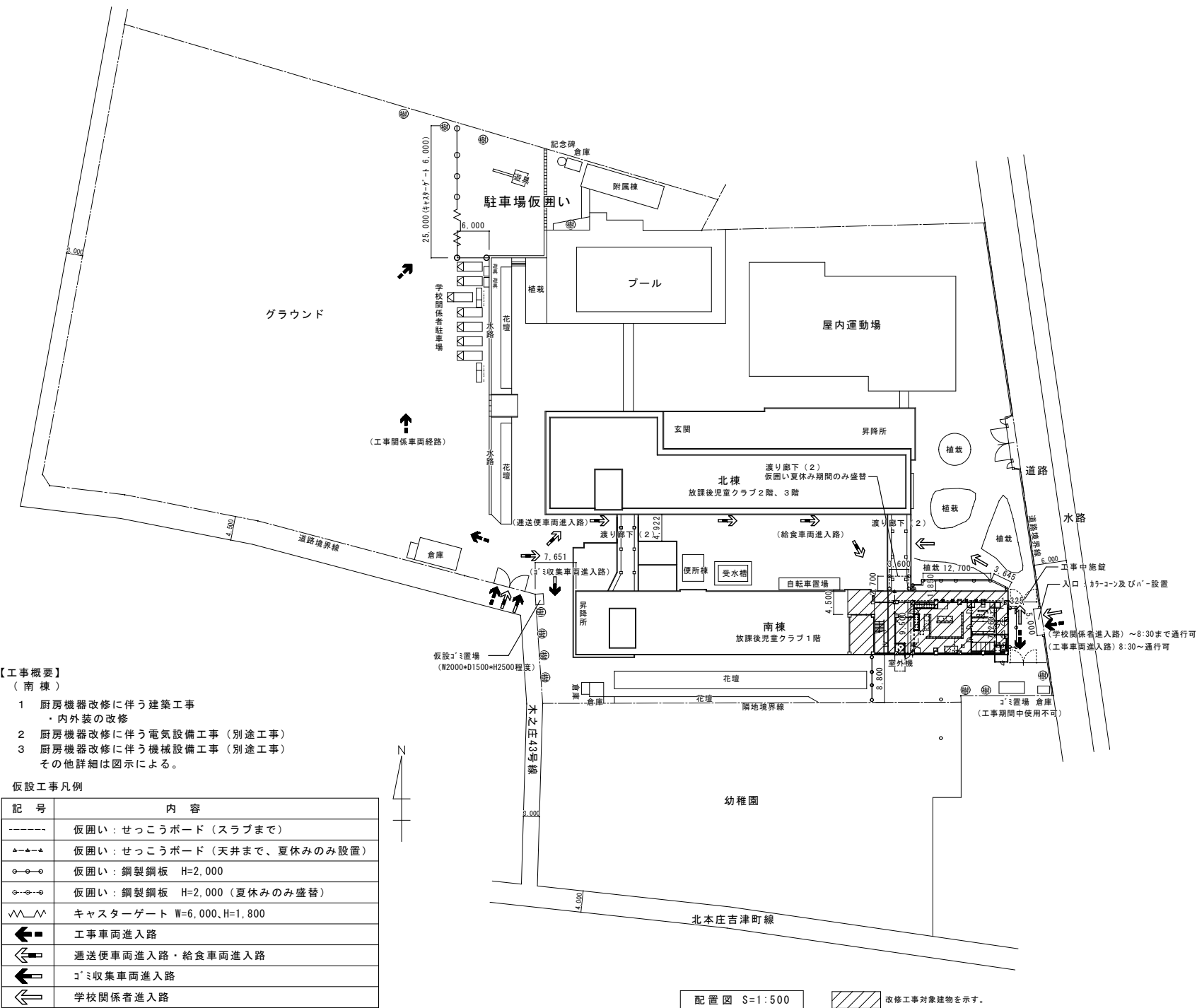
福山市

2026年2月

図面NO

A-15



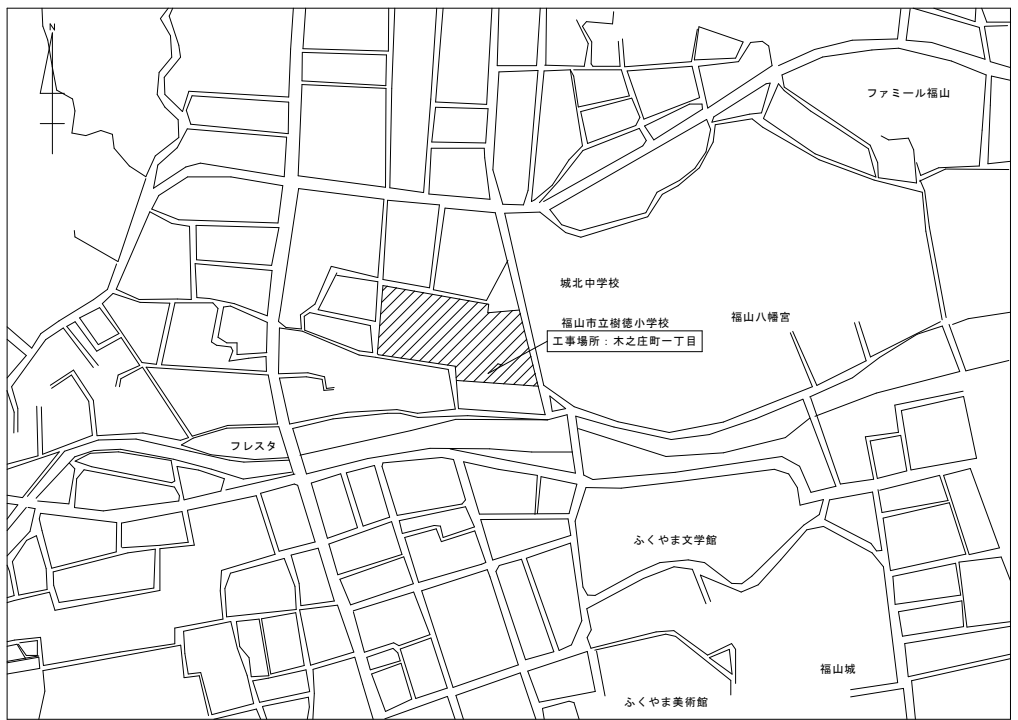


- 【工事概要】  
(南棟)
- 1 厨房機器改修に伴う建築工事  
・内外装の改修
  - 2 厨房機器改修に伴う電気設備工事 (別途工事)
  - 3 厨房機器改修に伴う機械設備工事 (別途工事)  
その他詳細は図示による。

仮設工事凡例

記号	内容
-----	仮囲い：せっこうボード (スラブまで)
▲▲▲▲	仮囲い：せっこうボード (天井まで、夏休みのみ設置)
○-○-○	仮囲い：鋼製鋼板 H=2,000
○-○-○	仮囲い：鋼製鋼板 H=2,000 (夏休みのみ設置)
∩∩∩	キャスターゲート W=6,000, H=1,800
←	工事車両進入路
←	運送便車両進入路・給食車両進入路
←	ゴミ収集車両進入路
←	学校関係者進入路

- 仮設工事特記事項
- ① 工事車両出入り口は原則として校門とする。また、職員・児童の安全に十分留意すること。
  - ② 工事車両出入口：カラーコーン及びバナー程度とし、通行時のみ開放する。
  - ③ 施工者が必要と判断した場合には出入口前に鉄板を敷いて養生する。
  - ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。  
(既存施設を傷めた場合には復旧する)
  - ⑤ 児童の移動が集中する時間帯 (登下校時、休憩時間等) は重機、資材の搬入を避ける。
  - ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
  - ⑦ 配置図に記載された仮設等については、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
  - ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
  - ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
  - ⑩ 工事車両等の通行により、周辺道路を汚さないように注意し、汚した場合は速やかに清掃を行うこと。
  - ⑪ 内部搬出入経路は養生する。
  - ⑫ 木之庄43号線、北本庄吉津町線は午前7:30~8:30の間、進入禁止。  
(土・日・祝日を除く、自動車・オートバイ進入禁止)

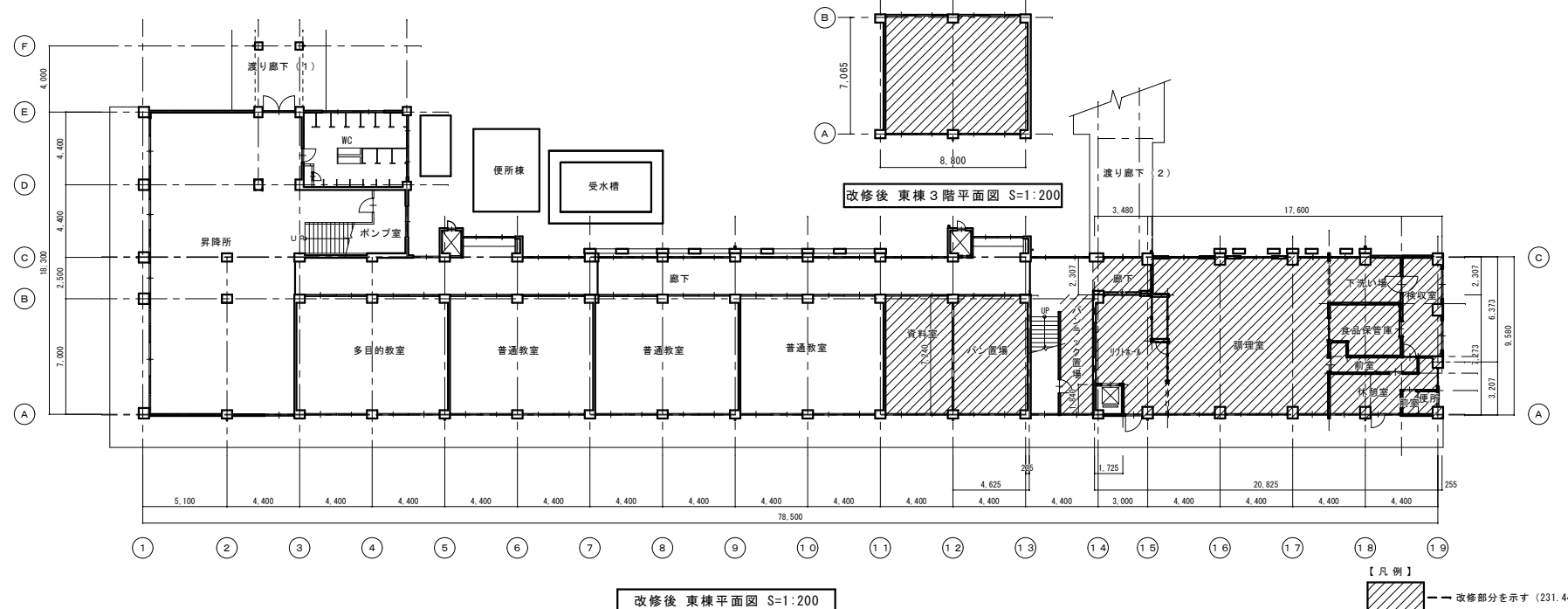


敷地案内図

配置図 S=1:500

【外部仕上】										
大走り床	改修前	モルタル金コテ押え 一部モルタル金コテ押え 撤去 (コンクリート t=100共)	プロバン庫	改修前	コンクリートブロック t=120	乗入れ	改修前	コンクリート t=100	その他	P Eフェンス-A-1500 新設 (朝日スチール工業 同等品)
	改修後	既存のまま 一部モルタル金コテ押え 新設 (コンクリート t=100共)	壁	改修後	コンクリートブロック t=120 (撤去)	床	改修後	コンクリート t=120 モルタル金コテ押え 段鼻タイル張り	その他	—
巾木	改修前	モルタル金コテ押え (北面・東面一部コンクリート撤去)	プロバン庫	改修前	小波スレート葺き	乗入れ	改修前	—	その他	アスファルト舗装一部撤去の上、新設
	改修後	既存のまま 北面・東面一部コンクリート打放し 新設	屋根	改修後	小波スレート葺き (撤去)	庇	改修後	スマートトップ 新設 (四国化成 同等品)	その他	—
外壁	改修前	モルタル金コテ押え 複層塗材 E吹付け (北面・東面一部コンクリート撤去)	プロバン庫	改修前	スチール製	乗入れ	改修前	アスファルト舗装一部撤去	その他	雨水排水撤去の上、新設 (配管共)
	改修後	既存のまま 北面・東面一部新設 (コンクリート t=120 複層塗材 E) 南面一部改修 (下地処理の上 複層塗材 E)	扉	改修後	スチール製 (撤去)	その他	改修後	アスファルト舗装新設	その他	—

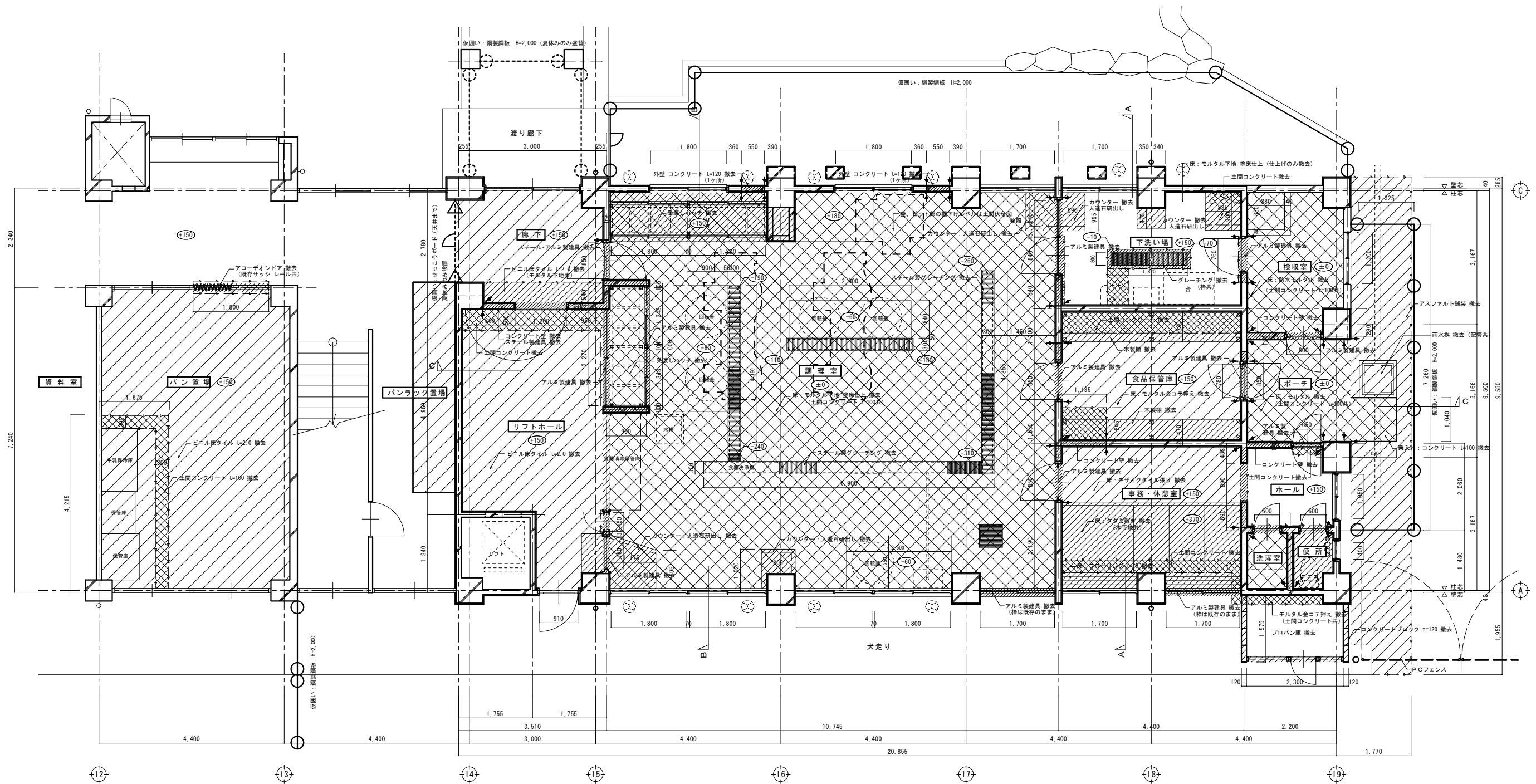
【内部仕上】																
階	室名	床			巾木			壁			天井		廻り縁	天井高	備考	室名
		下地	仕上	高さ	下地	仕上	高さ	下地	仕上	高さ	下地	仕上				
1	調理室	C	モルタル下地 エポキシ樹脂系塗床仕上げ 撤去 (土間コンクリート t=100共)	-150	モルタル下地 エポキシ樹脂系塗床仕上げ H=100	陶器質100角タイル張り 一部撤去 (一部コンクリート壁 撤去)	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 撤去 (LGS下地共) 床型:モルタル金コテ押え EP塗り	塩ビ製	3.200	スラブ裏:ミクライト t=9 撤去 (アスベスト含む)	改修前	調理室			
		C	モルタル金コテ押え 無溶剤型エポキシ樹脂系ベース 防滑塗装仕上げ 土間コンクリート t=120 (コンクリート下 ポリエチレンフィルム t=0.15)	±0	モルタル金コテ押え エポキシ樹脂系ベース 塗装仕上げ H=150	既存 陶器質100角タイル張り 水洗い 陶器質100角タイル張り (防水せっこうボード t=12.5+無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 下地) 陶器質100角タイル張り (コンクリート t=120 モルタル下地)	LGS	無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 結露防止塗材塗り 新設 (LGS下地共) 床型:化粧せっこうボード t=9.5 新設 (LGS下地共) 床型:下地処理の上 結露防止塗材塗り	塩ビ製	2.965 2.265	手洗台面:3ヶ所、エプロン掛 5人用:1ヶ所、3人用:1ヶ所、ステンレス見切 回転蓋下部ビッド「グレイフ」754(下部ビッド「グレイフ」、返却カチン) 缶取出し口付食品カチン 天井点検口:6ヶ所、壁点検口:2ヶ所、スリット地流し、スリットコーナ「ド」:6ヶ所、物干し「スリット」4	改修後	調理室			
	リフトホール	M	ビニル床タイル t=2.0 撤去 (仕上げのみ) (一部 土間コンクリート t=100共撤去)	±0	モルタル金コテ VP塗り H=100	モルタル金コテ押え EP塗り (一部コンクリート壁 撤去)	W	せっこうボード t=9.0 EP塗り 撤去 (木下地共) 床型:モルタル金コテ押え EP塗り	—	2.525	—	改修前	リフトホール			
		M	下地処理の上 ビニル床タイル t=2.5張り (一部 土間コンクリート t=120 新設)	±0	下地処理の上 ビニル床タイル H=100 (一部 ボード、モルタル下地)	下地処理の上 EP-G塗り (一部 防水せっこうボード t=12.5+無石練けい酸カルシウム板 t=6.0、モルタル金コテ押え EP-G塗り)	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 新設 (LGS下地共) 床型:下地処理の上 EP-G塗り	塩ビ製	2.540	手洗台面:1ヶ所、エプロン掛 (2人用):1ヶ所、スリットコーナ「ド」:4ヶ所 ステンレス見切り、天井点検口:1ヶ所	改修後	リフトホール			
	下洗い場	C	モルタル下地 エポキシ樹脂系塗床仕上げ 撤去 (仕上げのみ) (一部 土間コンクリート t=100共撤去)	±0	モルタル下地 エポキシ樹脂系塗床仕上げ H=100 撤去 仕上げのみ	モルタル金コテ押え EP塗り (一部コンクリート壁 撤去)	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 撤去 (LGS下地共) 床型:モルタル金コテ押え EP塗り	塩ビ製	2.960	—	改修前	下洗い場			
		M	下地処理の上 無溶剤型エポキシ樹脂系ベース 防滑塗装仕上げ (一部 土間コンクリート t=120 新設)	±0	下地処理の上 (一部モルタル金コテ押え) エポキシ樹脂系ベース 塗装仕上げ H=100	下地処理の上 陶器質100角タイル張り H=1,600 壁:下地処理の上 結露防止塗材塗り	LGS	無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 結露防止塗材塗り 新設 (LGS下地共) 床型:下地処理の上 EP-G塗り	塩ビ製	2.960	手洗台面:1ヶ所、排水ビッド「グレイフ」、スリットコーナ「ド」:2ヶ所 ステンレス見切り、天井点検口:2ヶ所	改修後	下洗い場			
	食品保管庫	C	モルタル金コテ押え (撤去) (一部 土間コンクリート t=100共撤去)	±0	モルタル金コテ押え H=100	モルタル金コテ押え (一部コンクリート壁 撤去)	W	けい酸カルシウム板 t=4.0 EP塗り 撤去 (木下地、石練含有) 床型:モルタル金コテ押え EP塗り	—	3.000	—	改修前	食品保管庫			
		C	厨房用防滑ビニル床シート t=2.0 張り	±0	下地処理の上 ビニル床 H=100 けい酸カルシウム板 t=6.0 ビニル床 H=100	下地処理の上 EP-G塗り (一部モルタル補修) 防水せっこうボード t=12.5 + 無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り	LGS	無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り 新設 (LGS下地共) 床型:下地処理の上 EP-G塗り	塩ビ製	3.000	缶取出し口付食品カウンター、天井点検口:2ヶ所、スチール製ラック	改修後	食品保管庫			
	事務・休憩室	C	モザイクタイル張り 撤去 (一部 土間コンクリート t=100共撤去) タタミ敷き フローリング t=15張り 撤去 (木下地共)	±220	モルタル下地 EP塗り H=1,000 撤去 (モルタル下地共) モルタル金コテ押え EP塗り (一部コンクリート壁 撤去)	W	吸音テックス張り 撤去 (木下地共) モルタル金コテ押え EP塗り	木製 OP塗り	3.000	—	—	改修前	事務・休憩室			
		C	モルタル金コテ押え (一部下地処理の上) 厨房用防滑ビニル床シート t=2.0 張り	±0	下地処理の上 ビニル床 H=100 せっこうボード t=12.5 ビニル床 H=100	下地処理の上 (一部モルタル金コテ押え) ビニルクロス貼り せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り	LGS	無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り 新設 (LGS下地共) 床型:下地処理の上 EP-G塗り	塩ビ製	3.000	手洗台面:1ヶ所、エプロン掛 (5人用):2ヶ所 シューズBOX 1,002x330x1,590:1ヶ所、天井点検口:2ヶ所	改修後	事務・休憩室			
	ホール	C	モルタル下地 エポキシ樹脂系塗床仕上げ 撤去 (仕上げのみ) (一部 土間コンクリート t=100 撤去)	±0	ビニル床 H=100 撤去	モルタル金コテ押え EP塗り (一部コンクリート壁 撤去)	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 撤去 (LGS下地共) 床型:モルタル金コテ押え EP塗り	塩ビ製	2.515	—	改修前	ホール			
		C	モルタル金コテ押え (一部下地処理の上) 厨房用防滑ビニル床シート t=2.0 張り ラワン合板 t=12下地 スタイルロ敷き、フローリング t=15張り (一部 コンクリート t=120 新設)	±300	下地処理の上 ビニル床 H=100 せっこうボード t=12.5 ビニル床 H=100	下地処理の上 (一部モルタル金コテ押え) ビニルクロス貼り せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 新設 (LGS下地共) 床型:下地処理の上 EP-G塗り	塩ビ製	3.000 2.700	物干し「スリット」4、カーテン、木製カーテンBOX、天井点検口:2ヶ所、 シューズBOX 1,002x348x890:1ヶ所(屋外)、4人用ロッカー:2個、2人用ロッカー:1個 集成材棚、ホワイトボード 900x600:1個	改修後	ホール			
	検収室	C	防水モルタル金コテ押え 撤去 (土間コンクリート t=100共)	-150	モルタル金コテ H=150	検収室:モルタル金コテ EP塗り ホール:モルタル金コテ 複層塗材 E吹付け (一部コンクリート壁 撤去)	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 撤去 (LGS下地共) モルタル金コテ 外装薄塗材 E吹付け (既存のまま)	塩ビ製	2.650	—	改修前	検収室			
		C	モルタル金コテ押え 無溶剤型エポキシ樹脂系ベース 防滑塗装仕上げ 土間コンクリート t=120 (土間コンクリート下 ポリエチレンフィルム t=0.15)	±0	下地処理の上 エポキシ樹脂系ベース 塗装仕上げ H=100	陶器質100角タイル張り H=1,600 (下地処理の上) 陶器質100角タイル張り H=1,600 (防水せっこうボード t=12.5+無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 下地) 結露防止塗材塗り (下地処理、防水せっこうボード t=12.5+無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 下地)	LGS	無石練けい酸カルシウム板 t=6.0 結露防止塗材塗り 新設 (LGS下地共) 床型:下地処理の上 EP-G塗り	塩ビ製	2.500	手洗台面:1ヶ所、エプロン掛 5人用:1ヶ所、ステンレスグレーチング L=1,620 天井点検口:1ヶ所、物干し「スリット」4、スリットコーナ「ド」:3ヶ所	改修後	検収室			
	洗濯室	C	モザイクタイル張り 撤去 (モルタル下地共) 洗濯室 土間コンクリート t=100 撤去	±0	洗濯室:陶器質100角タイル張り 撤去 (モルタル下地共) (一部コンクリート壁 撤去) 便 所:モルタル金コテ押え EP塗り (一部コンクリート壁 撤去)	LGS	洗濯室:けい酸カルシウム板 t=6 砂骨材仕上げ 撤去 (LGS下地共) 便 所:化粧せっこうボード t=9.5 撤去 (LGS下地共)	塩ビ製	2.280 2.420	—	—	改修前	洗濯室			
		C	土間コンクリート t=120 モルタル金コテ押え 厨房用防滑ビニル床シート t=2.0 張り 下地処理の上 厨房用防滑ビニル床シート t=2.0 張り	±0	ビニル床 H=100 新設	モルタル金コテ押え (一部下地処理の上) ビニルクロス貼り せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 新設 (LGS下地共)	塩ビ製	2.500	手洗台面:1ヶ所、ステンレスフック:2ヶ所 XL-COUJ70T (スガツネ工業 同等品) 棚:集成材	改修後	洗濯室			
	廊下	C	ビニル床タイル t=2.0 一部撤去 (モルタル下地共)	±0	モルタル金コテ VP塗り H=100	モルタル下地 EP塗り (一部コンクリート壁 撤去)	W	せっこうボード t=9.0 EP塗り 一部撤去 (木下地共)	—	2.530	—	改修前	廊下			
		C	既存のまま	±0	新設 ボード面:ビニル床 H=100 新設	強化せっこうボード t=21.0+21.0 (一部 せっこうボード t=12.5) EP-G塗り 下地処理の上 EP-G塗り	LGS	せっこうボード t=9.5 EP-G塗り 新設 (LGS下地共)	—	2.530	天井点検口:2ヶ所	改修後	廊下			
	パン置場	M	ビニル床タイル t=2.0 一部撤去 (モルタル下地共) (一部 土間コンクリート t=100共撤去)	±0	モルタル金コテ VP塗り H=100	モルタル下地 EP塗り撤去 (仕上げのみ) せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り撤去 (仕上げのみ)	W	吸音テックス張り	—	3.000	—	改修前	パン置場			
		M	ビニル床タイル t=2.0 一部新設 (一部 土間コンクリート t=120 新設)	±0	ビニル床 H=100 新設	EP塗り新設 ビニルクロス貼り新設	W	既存吸音テックスビス打ち (1枚につき4ヶ所)	—	3.000	—	改修後	パン置場			
	資料室	M	ビニル床タイル t=2.0 一部撤去 (モルタル下地共)	±0	ビニル床 H=100	モルタル下地 EP塗り せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り	W	吸音テックス張り	—	3.000	—	改修前	資料室			
		M	ビニル床タイル t=2.0 一部新設	±0	—	—	W	—	—	—	—	改修後	資料室			
	3階多目的教室	M	ビニル床タイル t=2.0 一部撤去 (モルタル下地共)	±0	ビニル床 H=100	モルタル下地 EP塗り せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り	W	吸音テックス張り	—	3.000	—	改修前	3階多目的教室			
		M	ビニル床タイル t=2.0 一部新設	±0	—	—	W	—	—	—	—	改修後	3階多目的教室			



面積表 (m²)	
床面積	計算式
20.825 x 9.580	= 199.504
255 x 6.373	= 1.625
3.480 x 2.307	= 8.028
1.725 x 1.840	= 3.174
計	= 189.927

※ パン置場・廊下・パンラック置場・資料室・3階多目的教室を除く

室名	面積 (m²)
リフトホール	26.39
調理室	96.03
下洗い場	12.50
食品保管庫	13.10
前室	6.43
休憩室	14.65
検収室	14.83
前室・便所	3.26
パン置場	33.48
パンラック置場	14.29
資料室	28.42
3階多目的教室	60.17
合計	323.55



改修前 平面詳細図 S=1:50

※以下は石積含有材撤去のため、建築工事に見込む。  
 ※事務・休憩室を除く居内の天井材、配管類撤去（保温材）は、建築工事に見込む。  
 （水栓を含む器具類の撤去等は別途設備工事とする。）  
 ※天井内の電灯設備撤去（電灯、コンセント）、動力設備撤去、FAC 共同受信設備撤去、火災報知設備撤去及び構内配電線路撤去は、建築工事に見込む。  
 （結束処理は別途電気工事とする。）

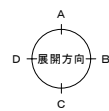
仮設工事凡例

記号	内容
▲▲▲	仮囲い：せっこうボード（天井まで、夏休みのみ設置）
●●●	仮囲い：鋼製鋼板 H=2,000
○●○	仮囲い：鋼製鋼板 H=2,000（夏休みのみ設置）

【凡例】

- カッター切り部分を示す
- 土間コンクリート t=100 撤去部分を示す
- 仕上げ 撤去部分を示す

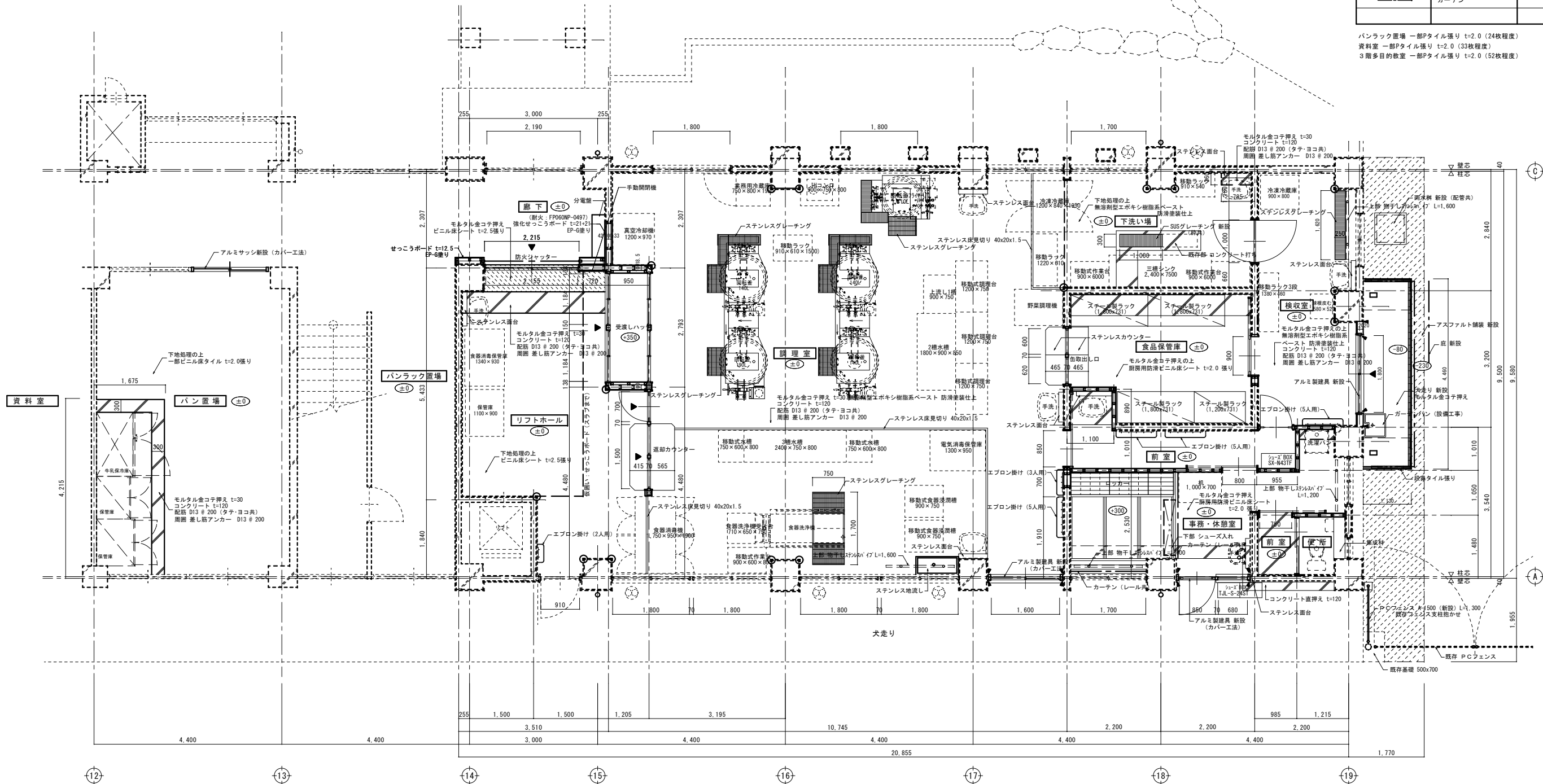
パンラック置場 一部Pタイル撤去 t=2.0 (24枚程度)  
 資料室 一部Pタイル撤去 t=2.0 (33枚程度)  
 3階多目的教室 一部Pタイル撤去 t=2.0 (52枚程度)



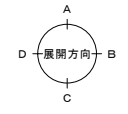
品名	寸法	数量	備考
スチール製ラック	1,800x731x2,400 (連立)	1	1-349-5217 + 1-349-5218 (内田洋行同等品)
スチール製ラック	1,800x731x2,400 (連立)	1	1-349-5217 + 1-349-5214 (内田洋行同等品)
4人用ロッカー	900x515x1,790	2	LK-4F1 (コクヨ同等品)
2人用ロッカー	600x515x1,790	1	LK-2F1 (コクヨ同等品)
シューズBOX	520x355x1030	2	TJL-S-24ST (アイトイ同等品)
シューズBOX	1,002x330x1590	1	SX-N43TF (コクヨ同等品)

凡例	品名	数量	備考
▶	室名札	5	アクリル製(平付け) 300×60×5ヶ所
⊕	コーナーガード	15	ステンレス t=1.0 H=1,000 (端部面取り)
---	カーテン		

パンラック置場 一部Pタイル張り t=2.0 (24枚程度)  
 資料室 一部Pタイル張り t=2.0 (33枚程度)  
 3階多目的教室 一部Pタイル張り t=2.0 (52枚程度)



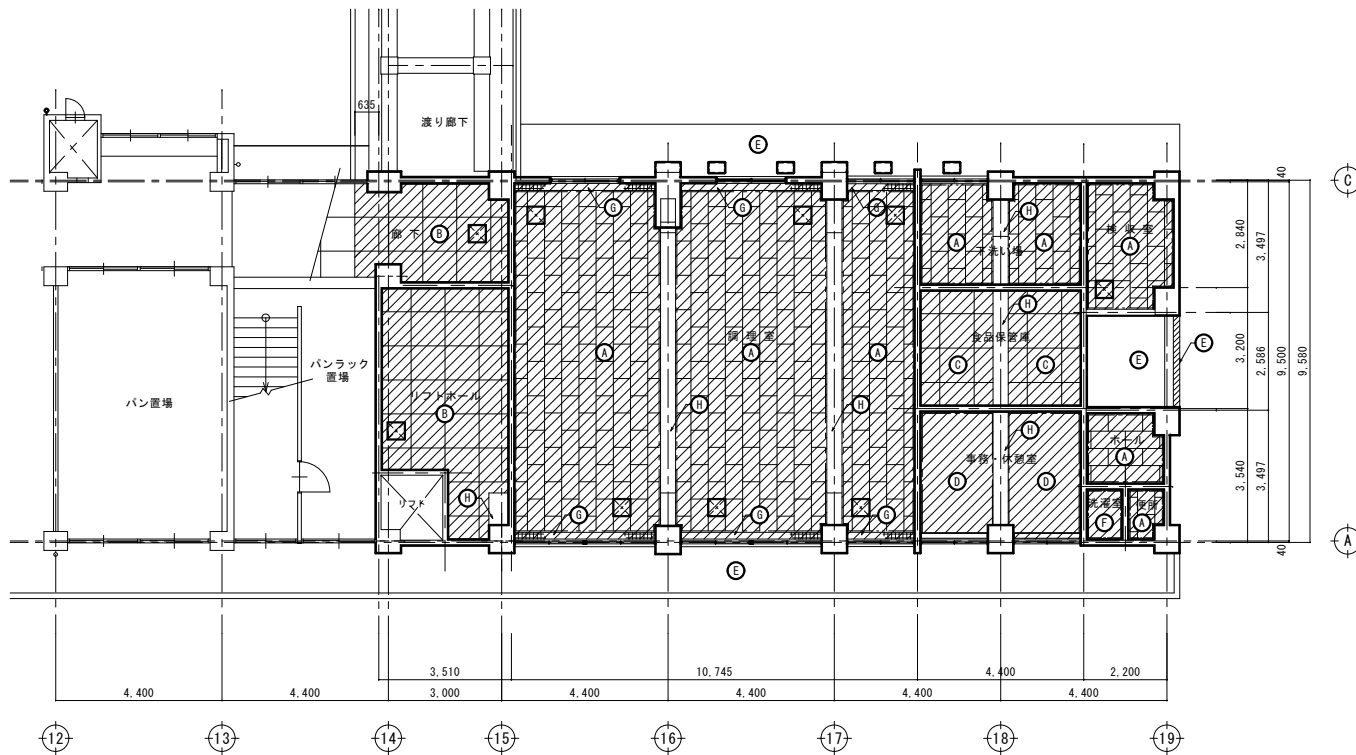
改修後 平面詳細図 S=1:50



仮設工事凡例

記号	内容
---	仮囲い：せっこうボード(スラブまで)

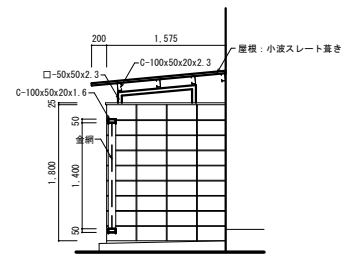
【凡例】  
 ▲---シーリングを示す 15x10 (PU-2) 打継ぎ目地 (MS-2) サッシ廻り



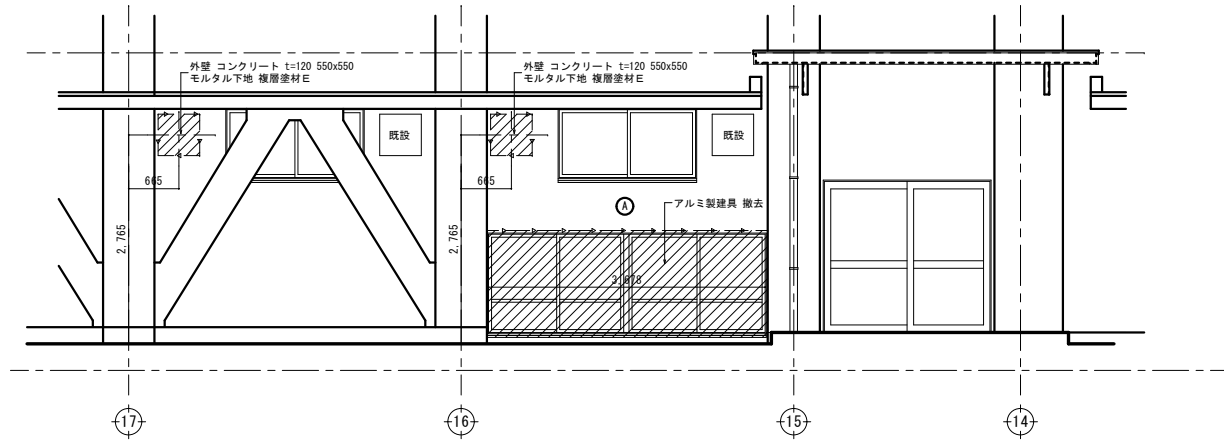
符号	仕上
(A)	化粧せっこうボード t=9.5 (LGS下地)
(B)	せっこうボード t=9.0 EP塗り (木下地)
(C)	けい酸カルシウム板 t=4.0 EP塗り (木下地)
(D)	吸音テックス t=9.0 (木下地)
(E)	モルタル下地 外装薄塗材E 吹付け
(F)	けい酸カルシウム板 t=6 砂骨材仕上
(G)	梁型：陶器質100角タイル張り
(H)	梁型：モルタル金コテ押え EP塗り
(I)	木製カーテンボックス OP塗り
(J)	アルミ製天井点検口 (455x455)
(K)	塩ビ製 張り線
(斜線)	撤去部分を示す

※ 撤去部分は全て下地共撤去とする

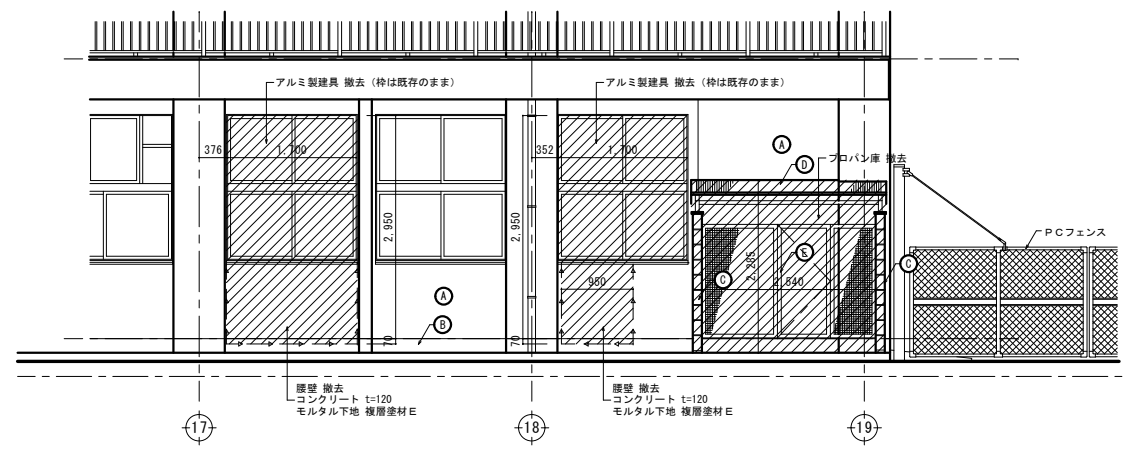
改修前 天井伏図 S=1:100



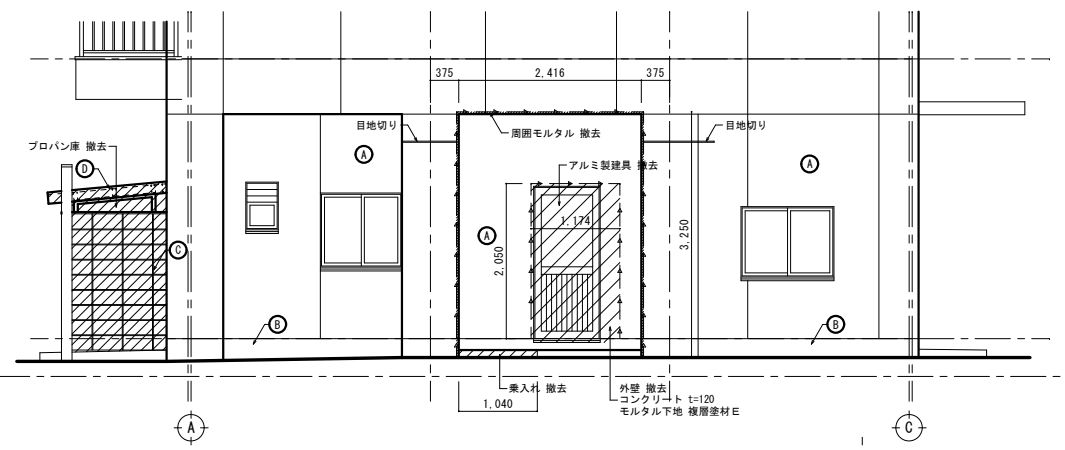
プロパン庫断面図 S=1:50



改修前 北側立面図 S=1:50



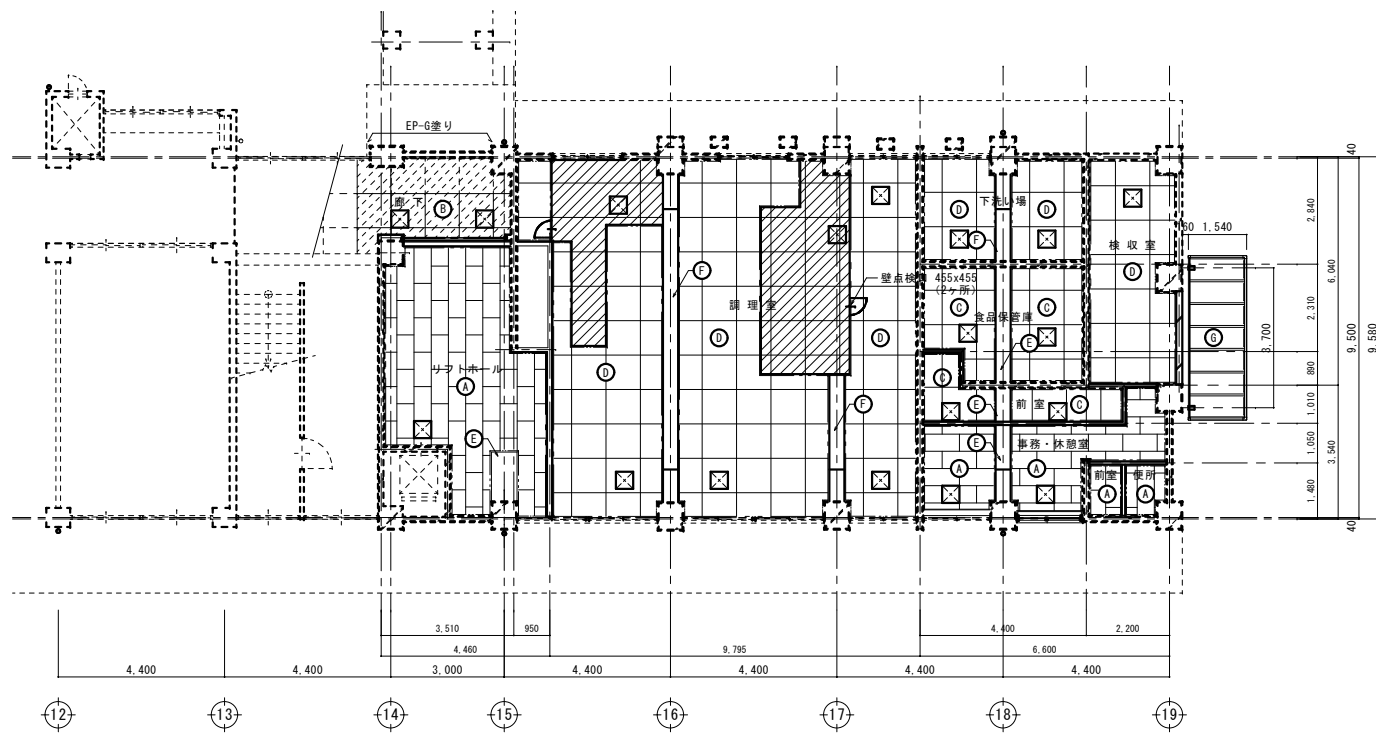
改修前 南側立面図 S=1:50



改修前 東側立面図 S=1:50

符号	仕上
(A)	外壁：モルタル刷毛引き 複層塗材E
(B)	巾木：モルタル金コテ押え
(C)	外壁：コンクリートブロック t=120 化粧積み
(D)	屋根：小波スレート葺き
(E)	扉：スチール製 OP塗り
(F)	
(G)	

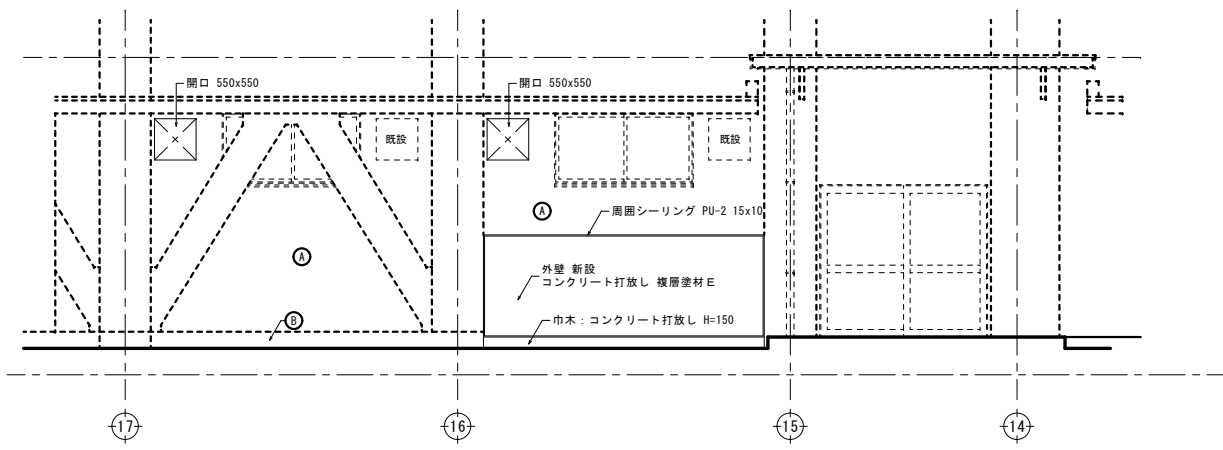
【凡例】  
 → → → → → カッター切り部分を示す  
 (斜線) 撤去部分を示す



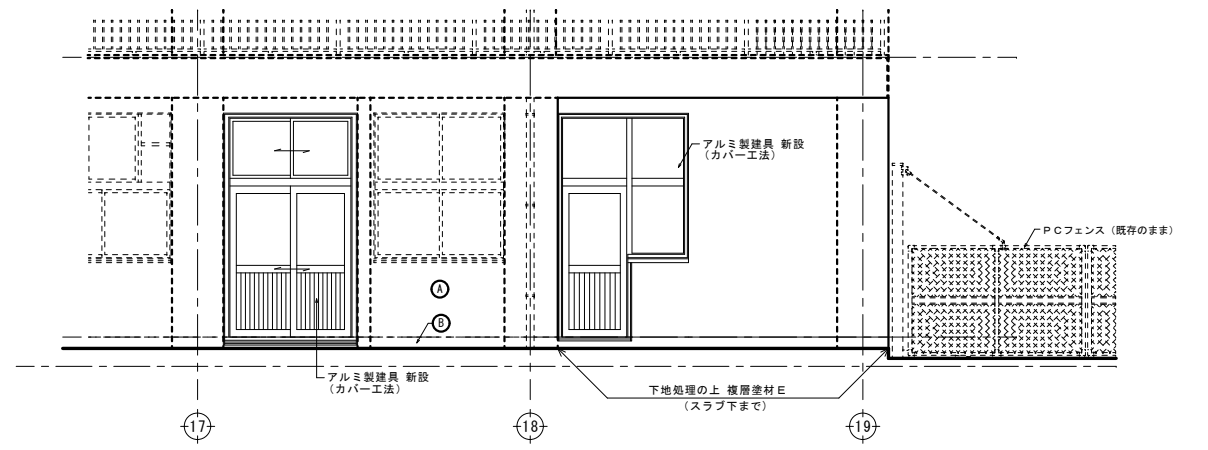
改修後 天井伏図 S=1:100

符号	仕上
Ⓐ	化粧せつこうボード t=9.5
Ⓑ	せつこうボード t=9.5 EP-G塗り
Ⓒ	無石綿付い離カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り
Ⓓ	無石綿付い離カルシウム板 t=6.0 結露防止塗材塗り
Ⓔ	梁型：下地処理の上 EP-G塗り
Ⓕ	梁型：下地処理の上 結露防止塗材塗り
Ⓖ	底：スマートトップ（四国化成 同等品）
□	木製カーテンボックス S0P塗り
⊗	アルミ製天井点検口 (455x455) 18ヶ所
---	塩ビ製 廻り縁

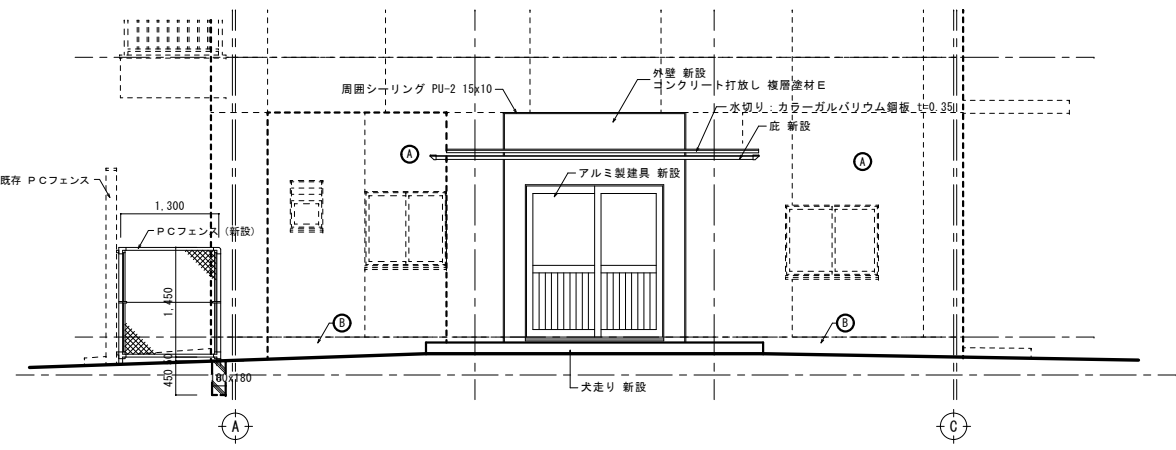
--- 下り天井部分を示す  
 ※ 天井点検口の位置は監督員と協議のうえ決定とする



改修後 北側立面図 S=1:50



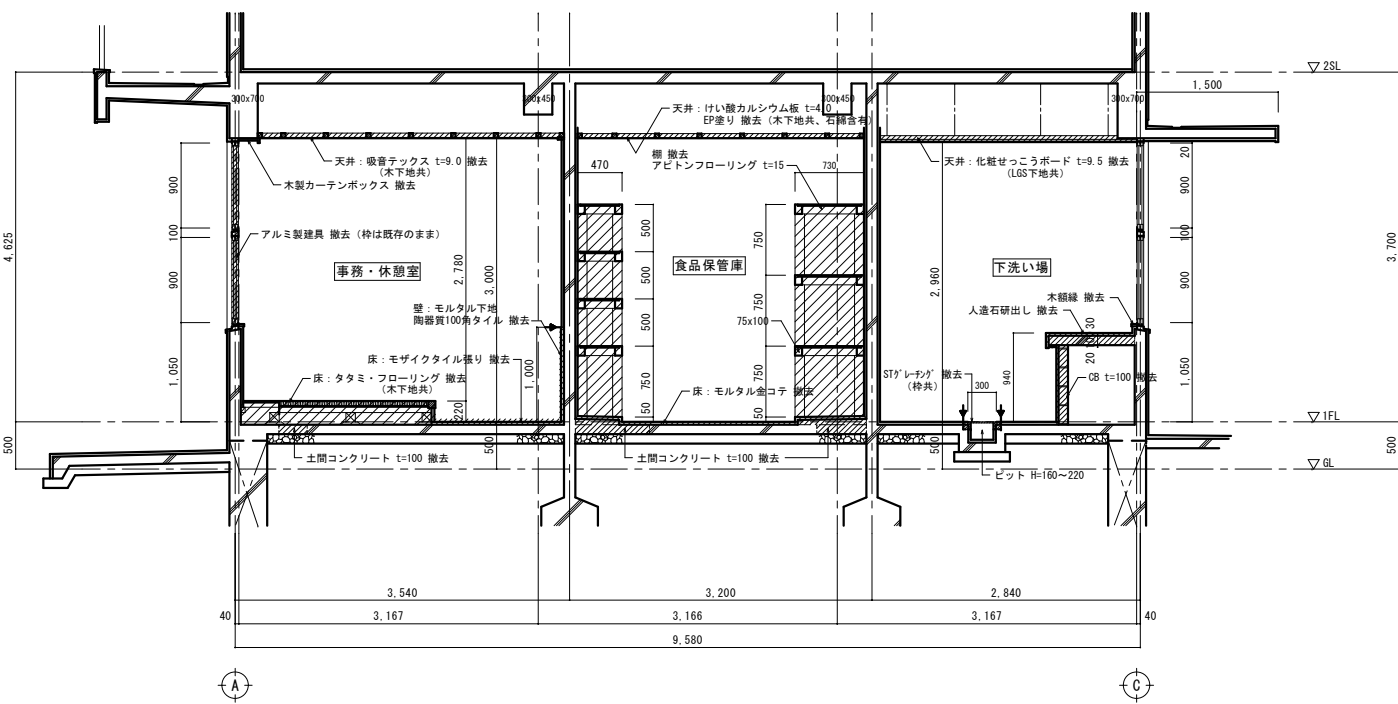
改修後 南側立面図 S=1:50



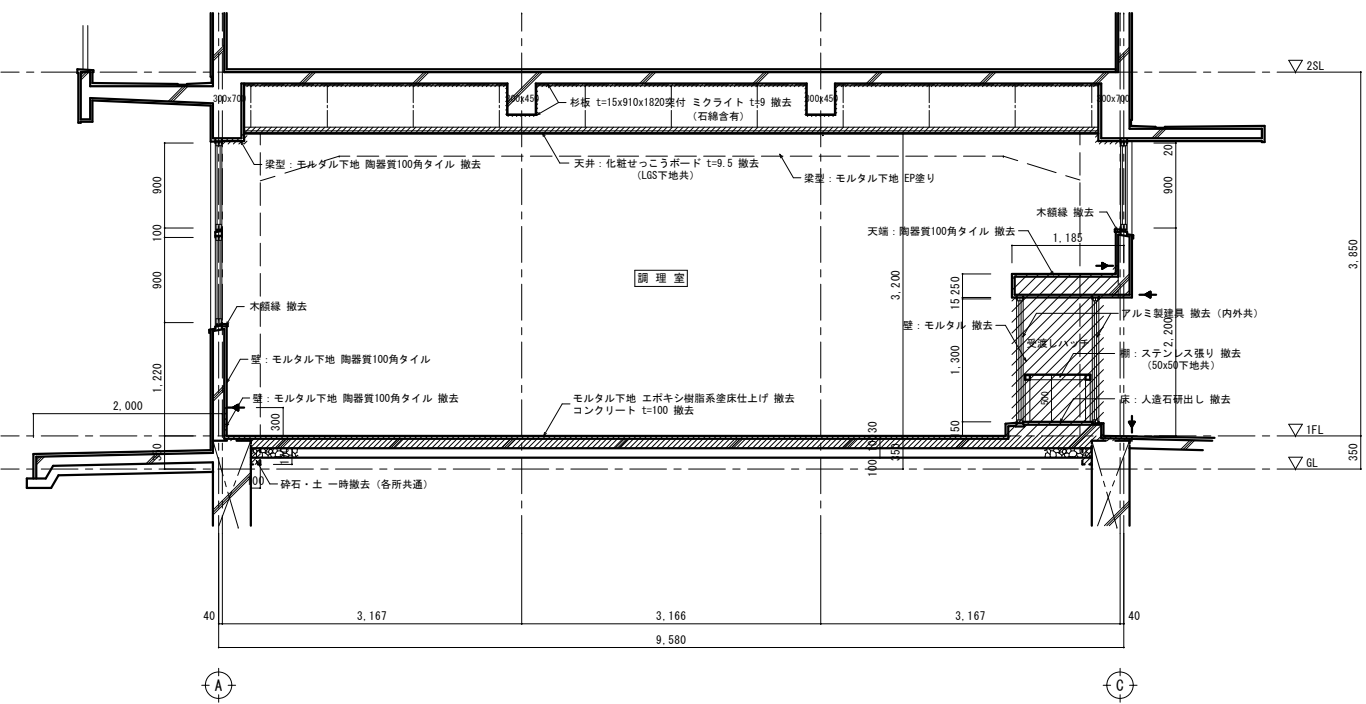
改修後 東側立面図 S=1:50

符号	仕上
Ⓐ	外壁：モルタル刷毛引き 複層塗材 E
Ⓑ	巾木：モルタル金コテ押え

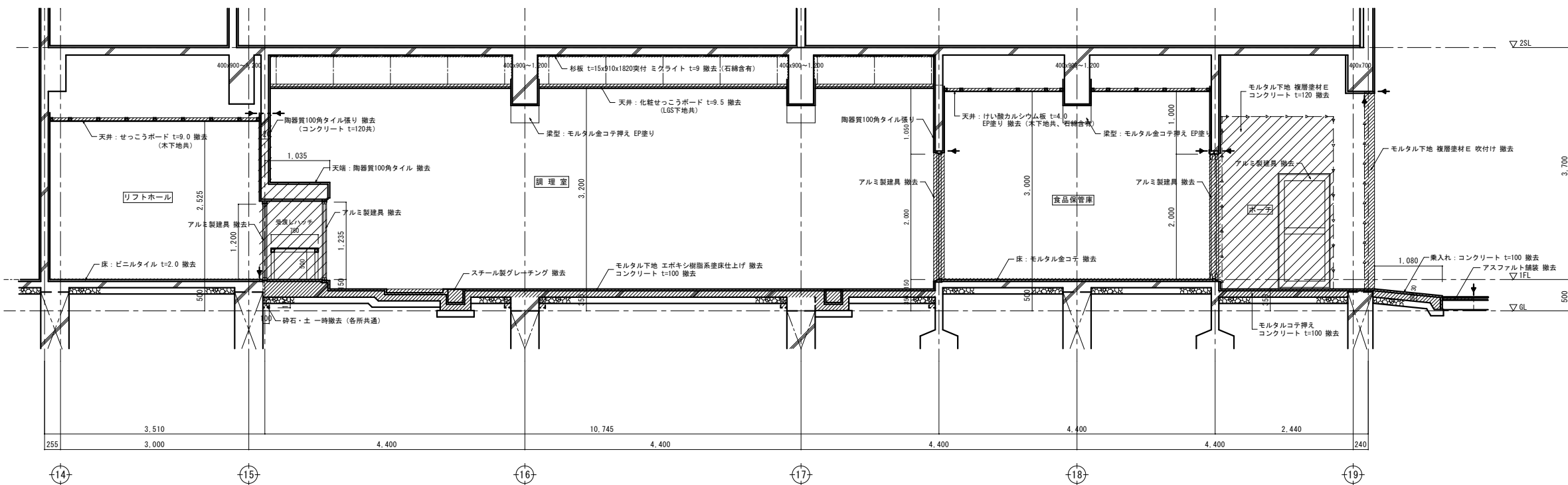
※ 改修部のみ複層塗材 E その他既存のまま



改修前 A-A断面詳細図 S=1:40

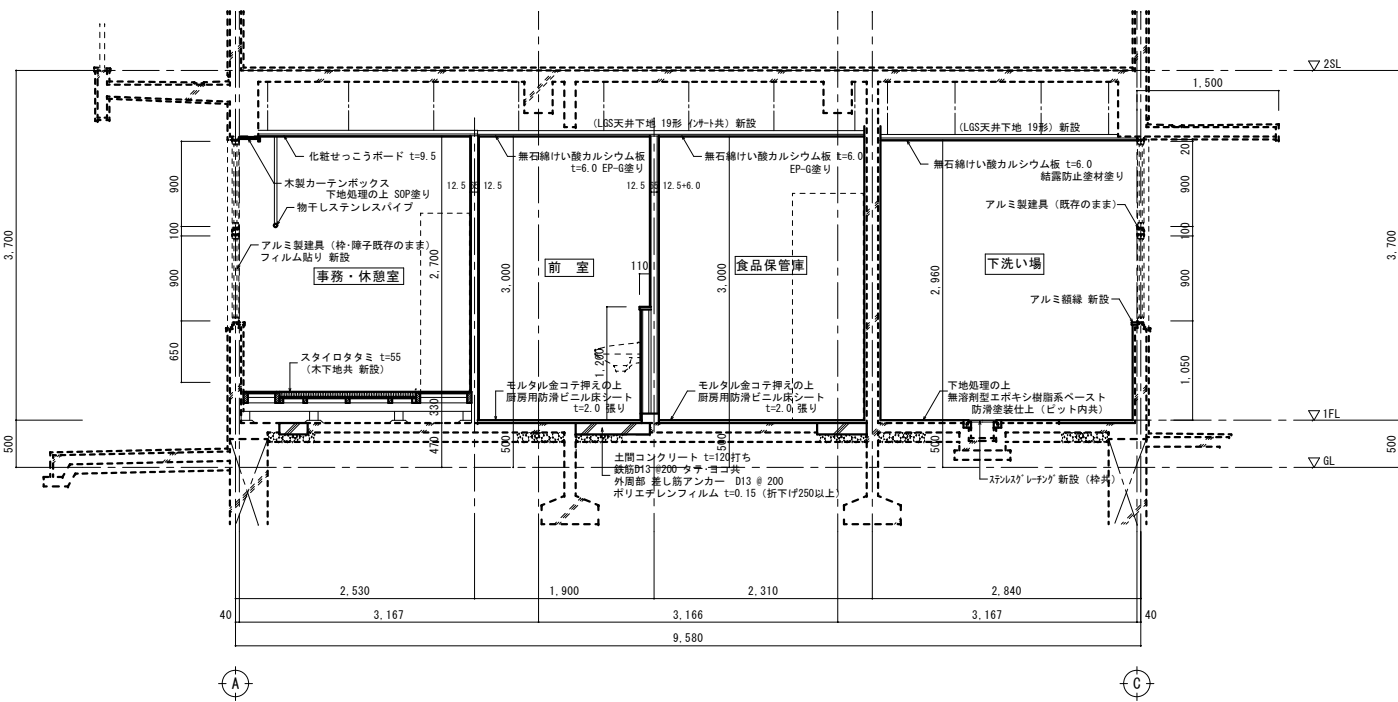


改修前 B-B断面詳細図 S=1:40

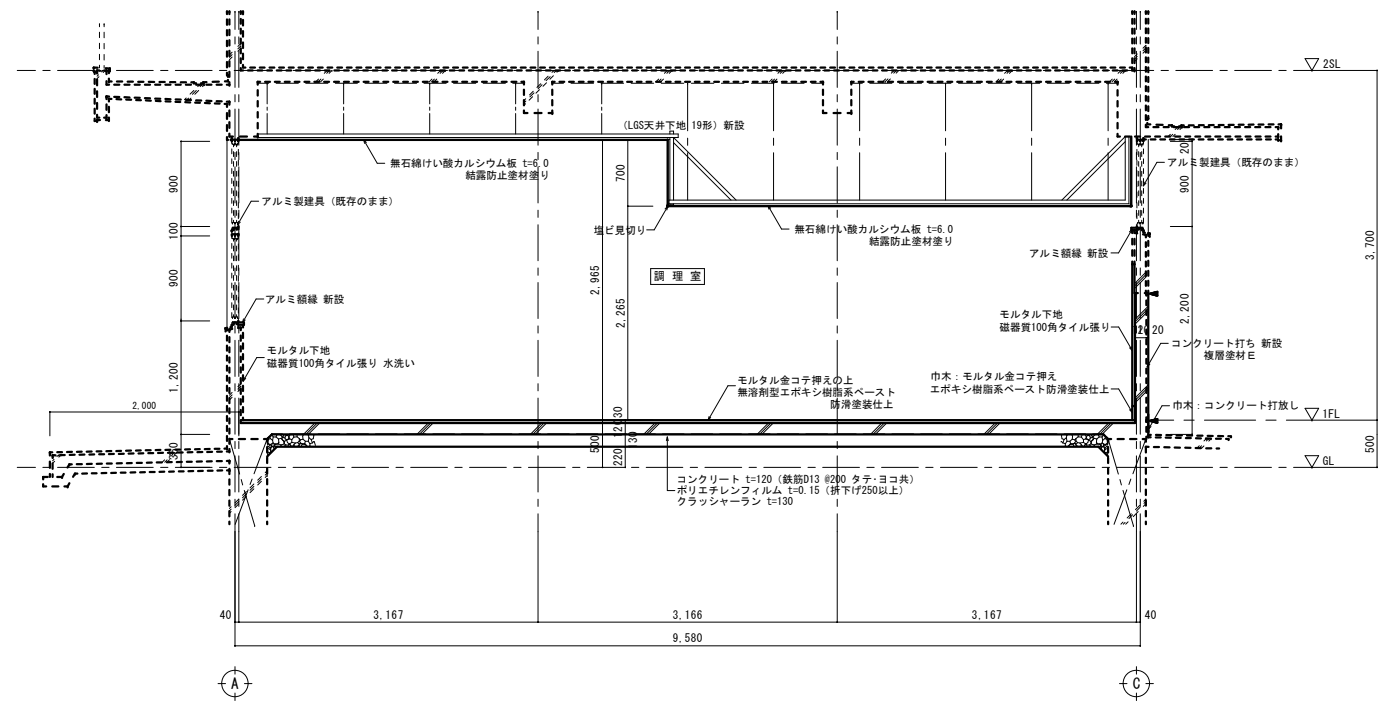


改修前 C-C断面詳細図 S=1:40

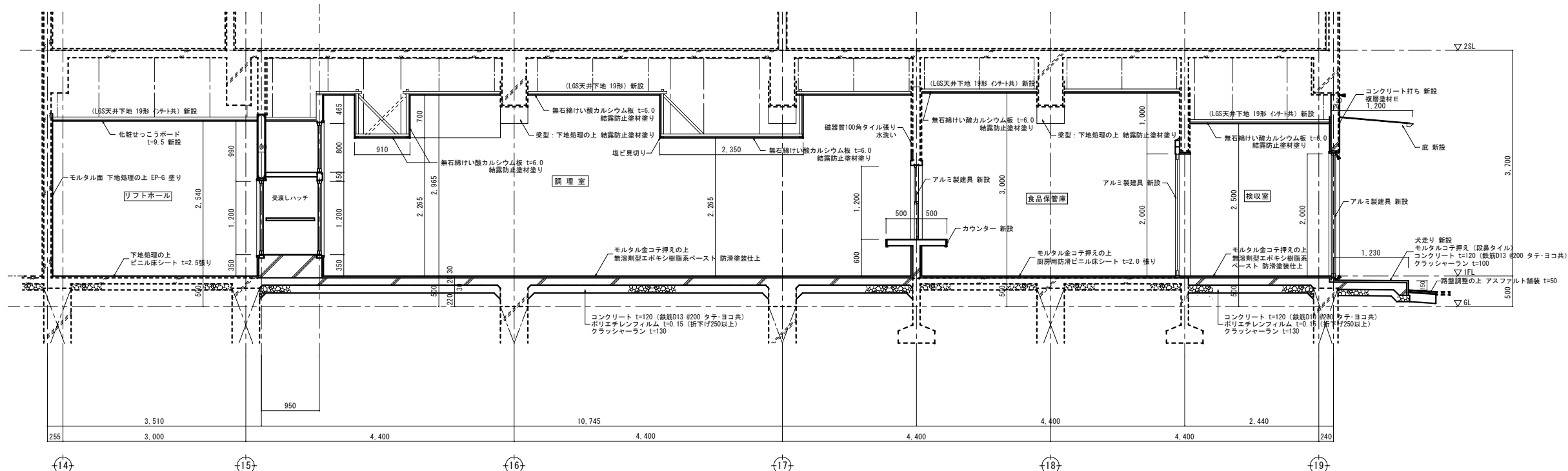
【凡例】  
 → カッター切り部分を示す  
 --- 撤去部分を示す



改修後 A-A断面詳細図 S=1:40

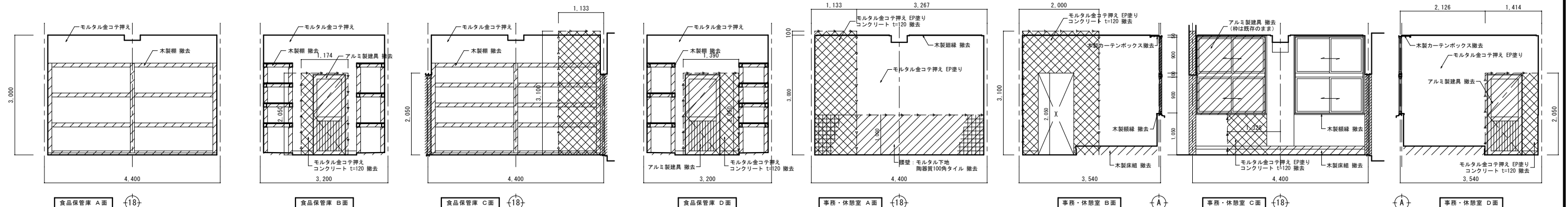
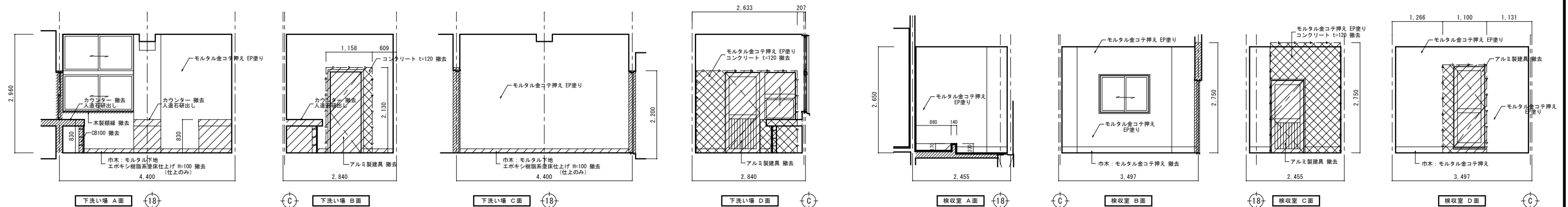
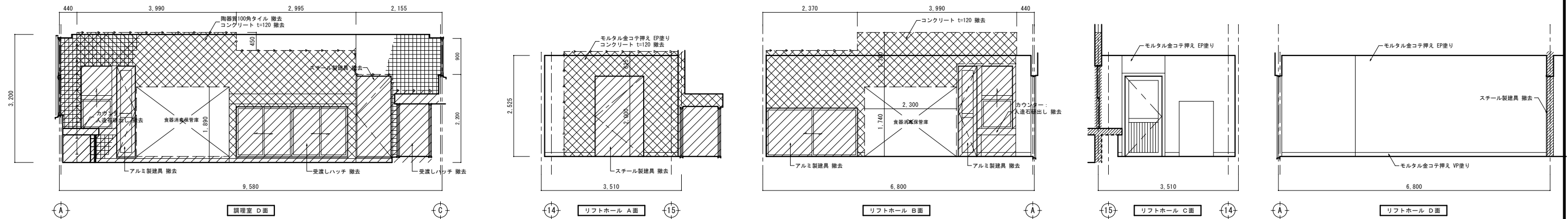
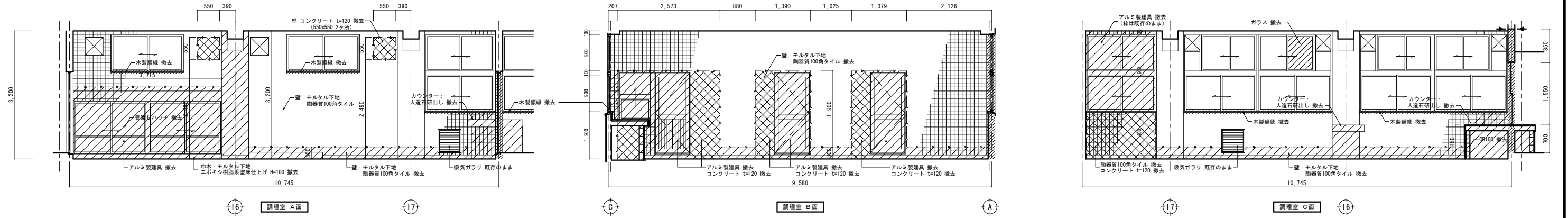


改修後 B-B断面詳細図 S=1:40

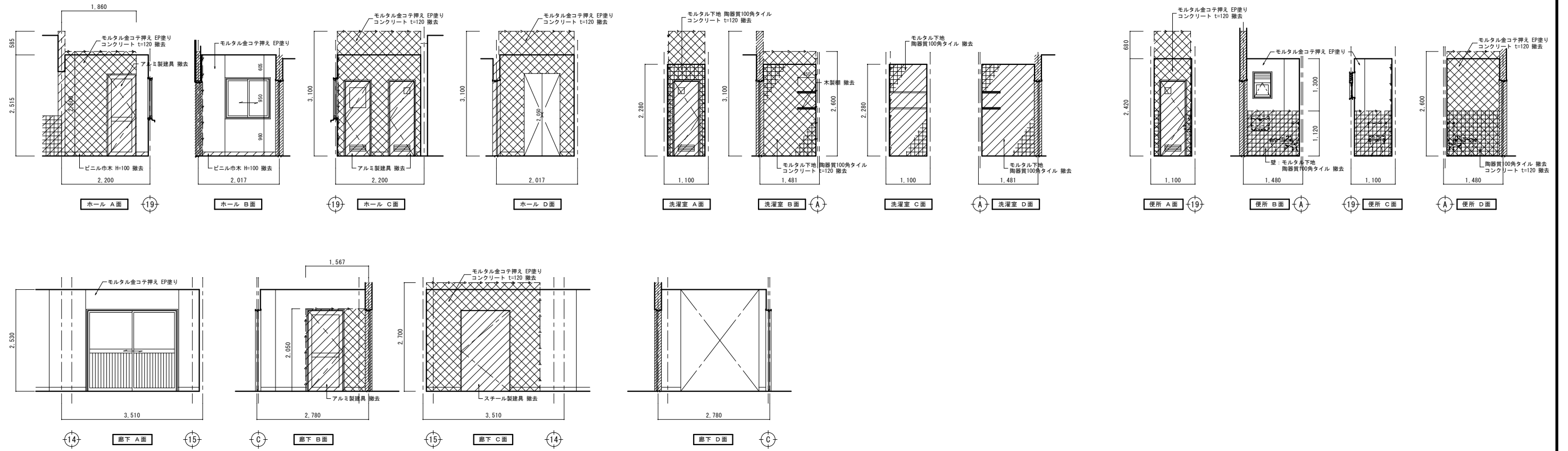


改修後 C-C断面詳細図 S=1:40

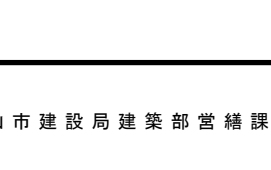
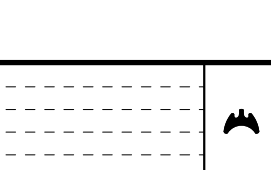
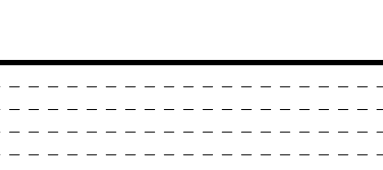
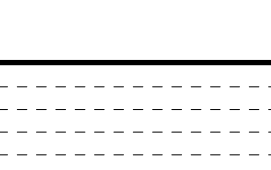
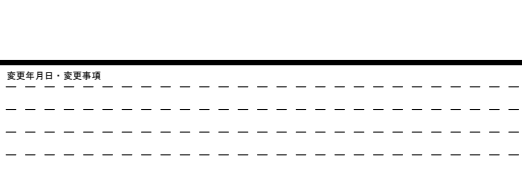
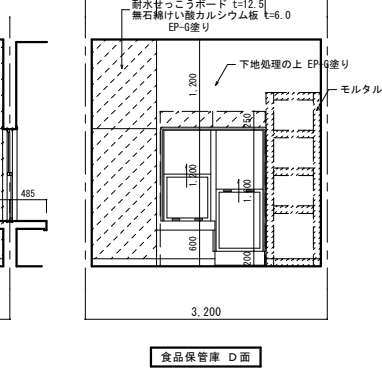
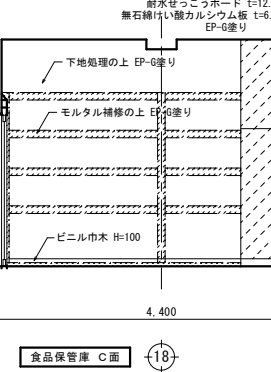
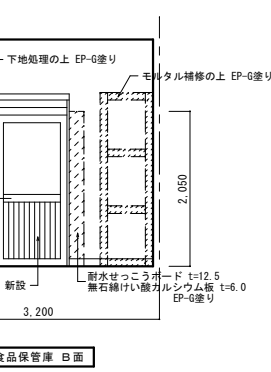
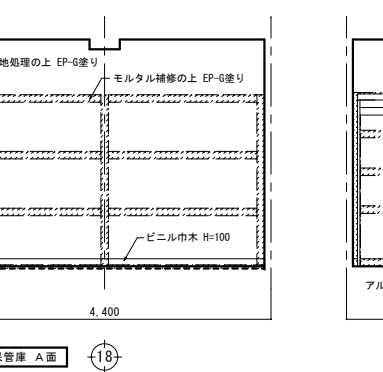
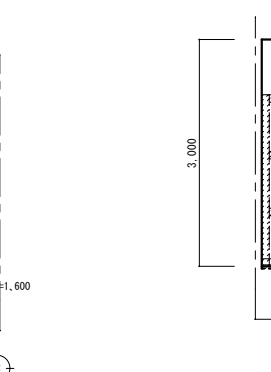
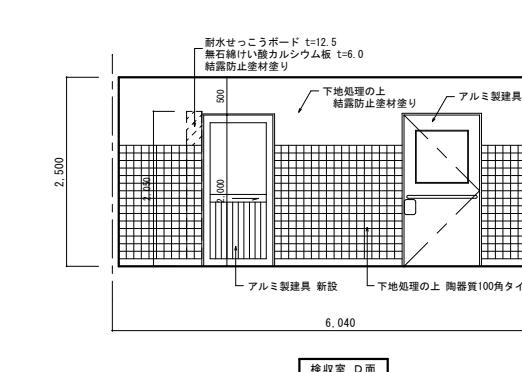
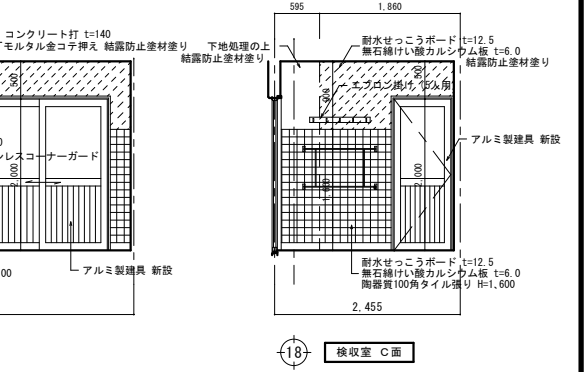
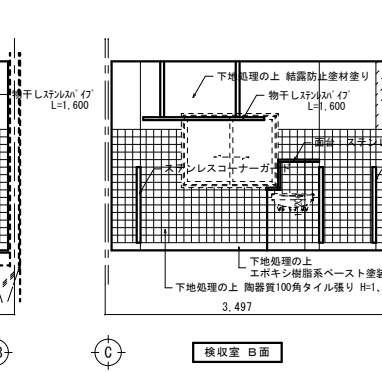
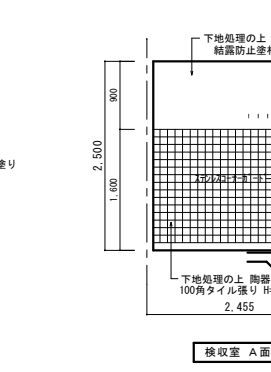
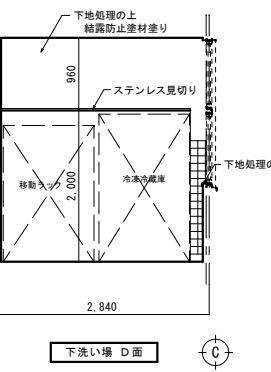
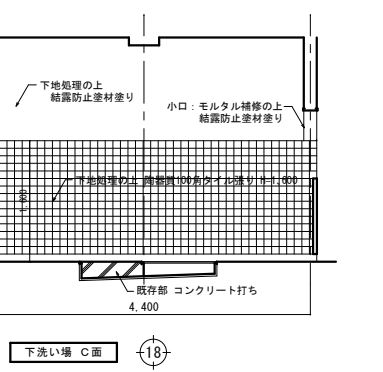
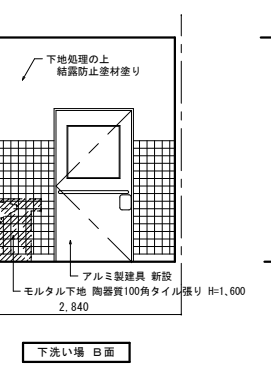
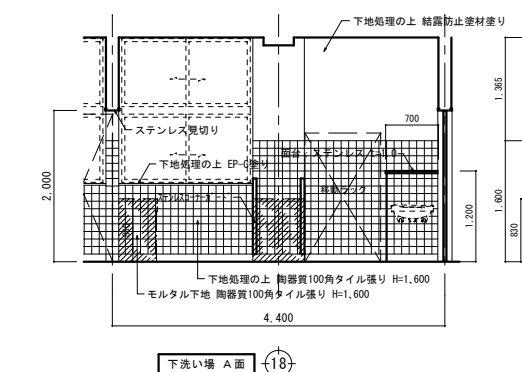
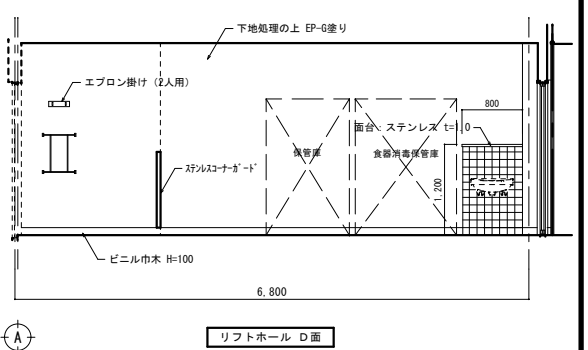
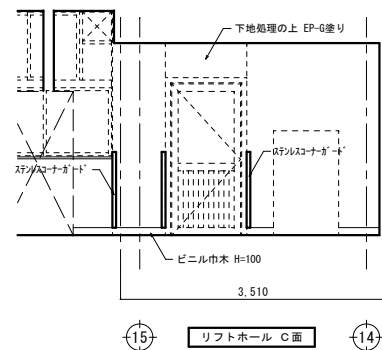
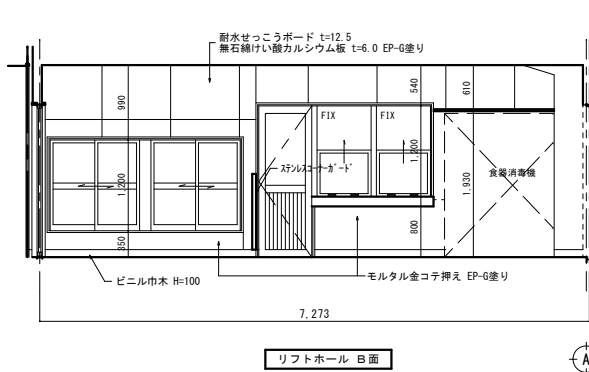
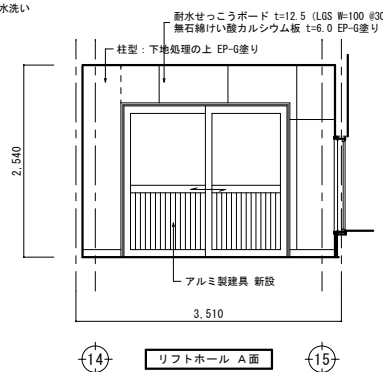
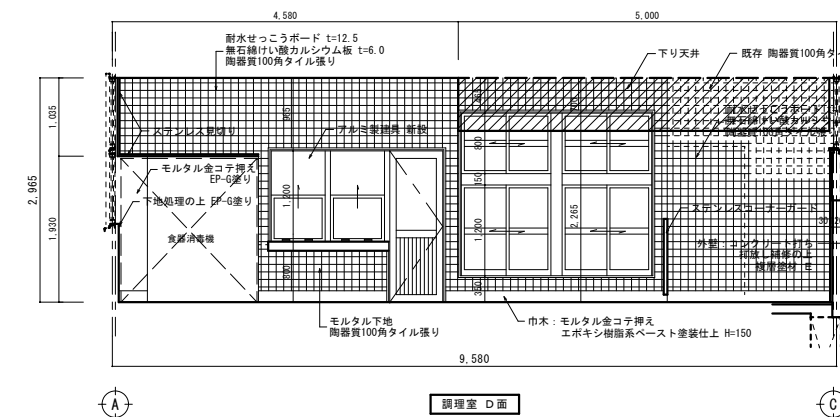
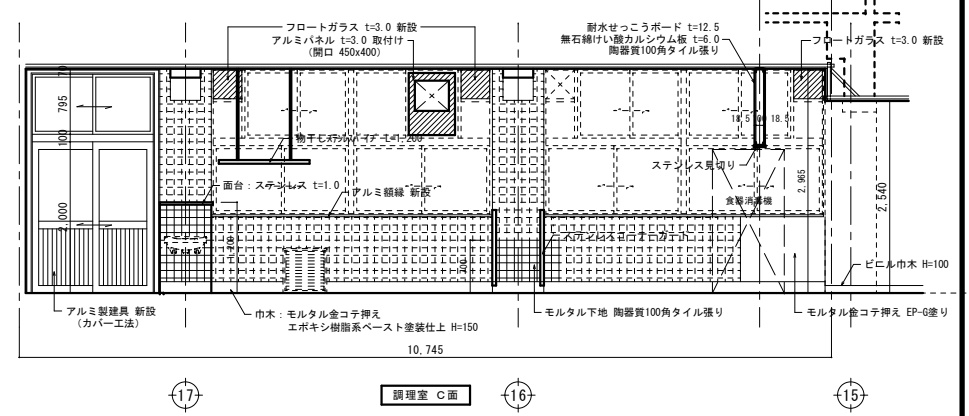
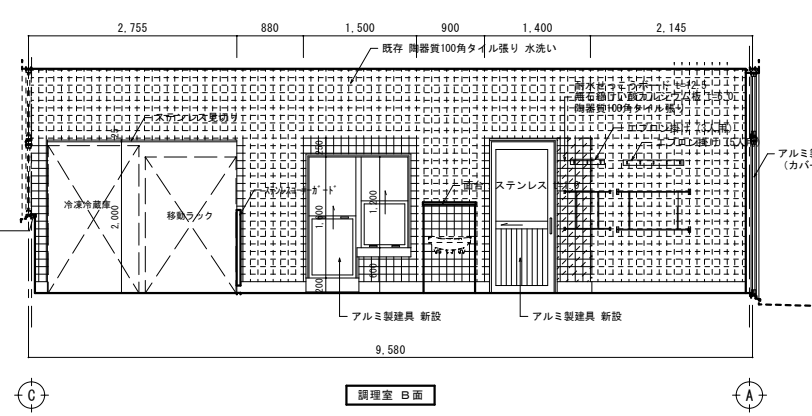
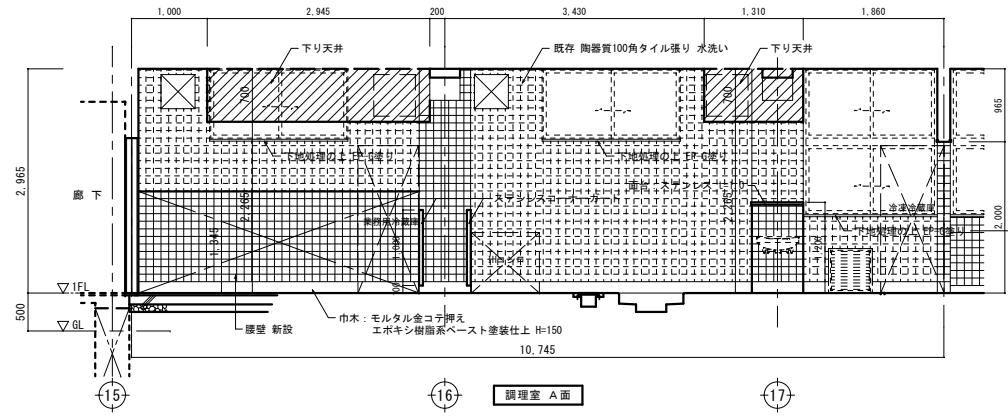
【凡例】  
 ▲ シーリングを示す 15x10 (PU-2) 打継ぎ目地 (MS-2) サッシ廻り

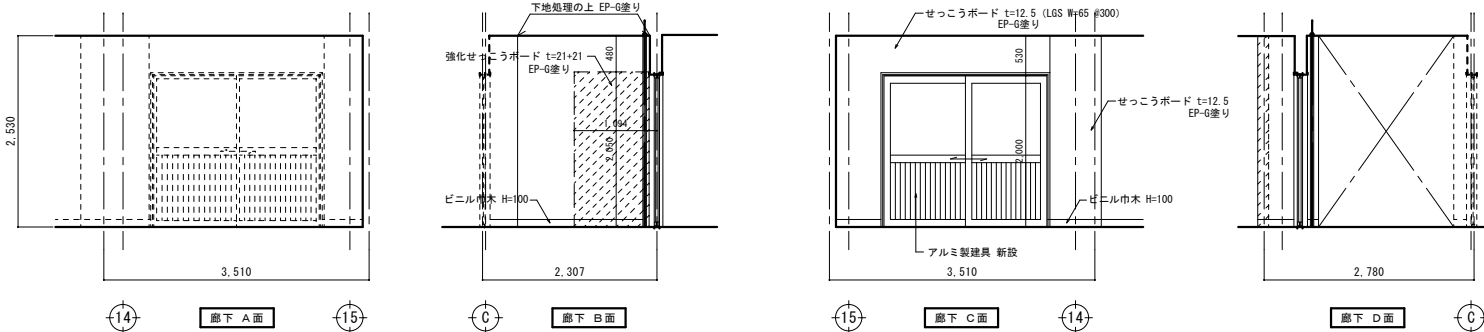
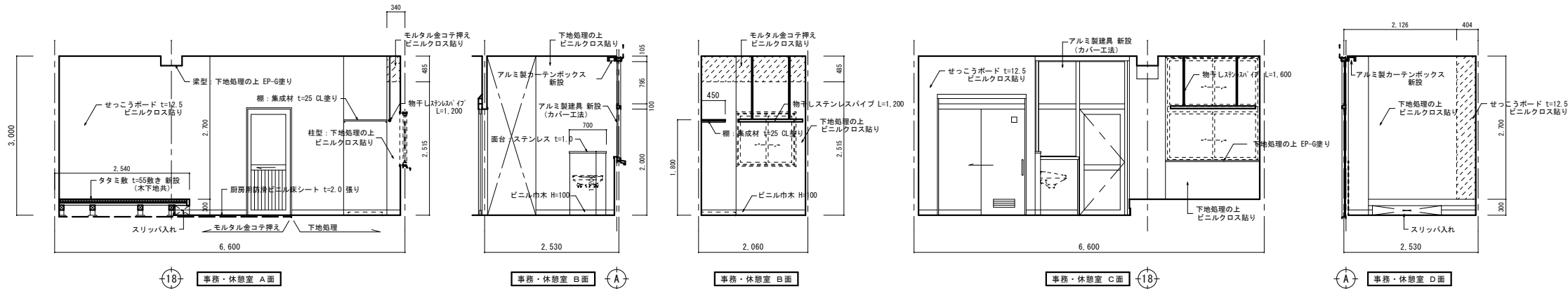
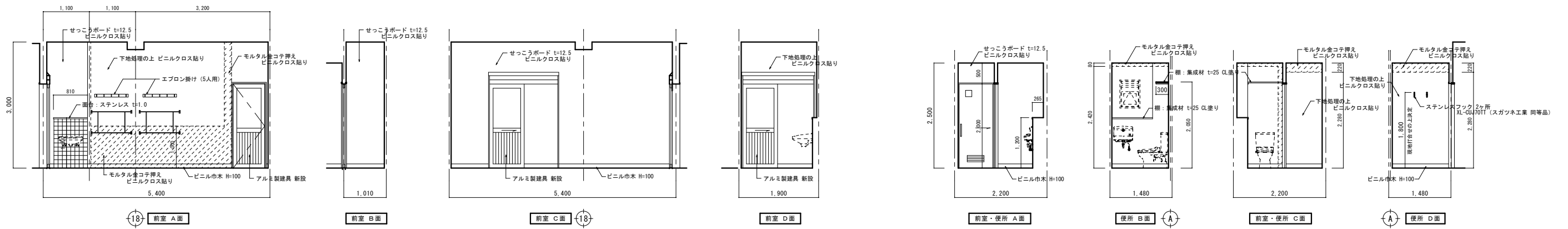


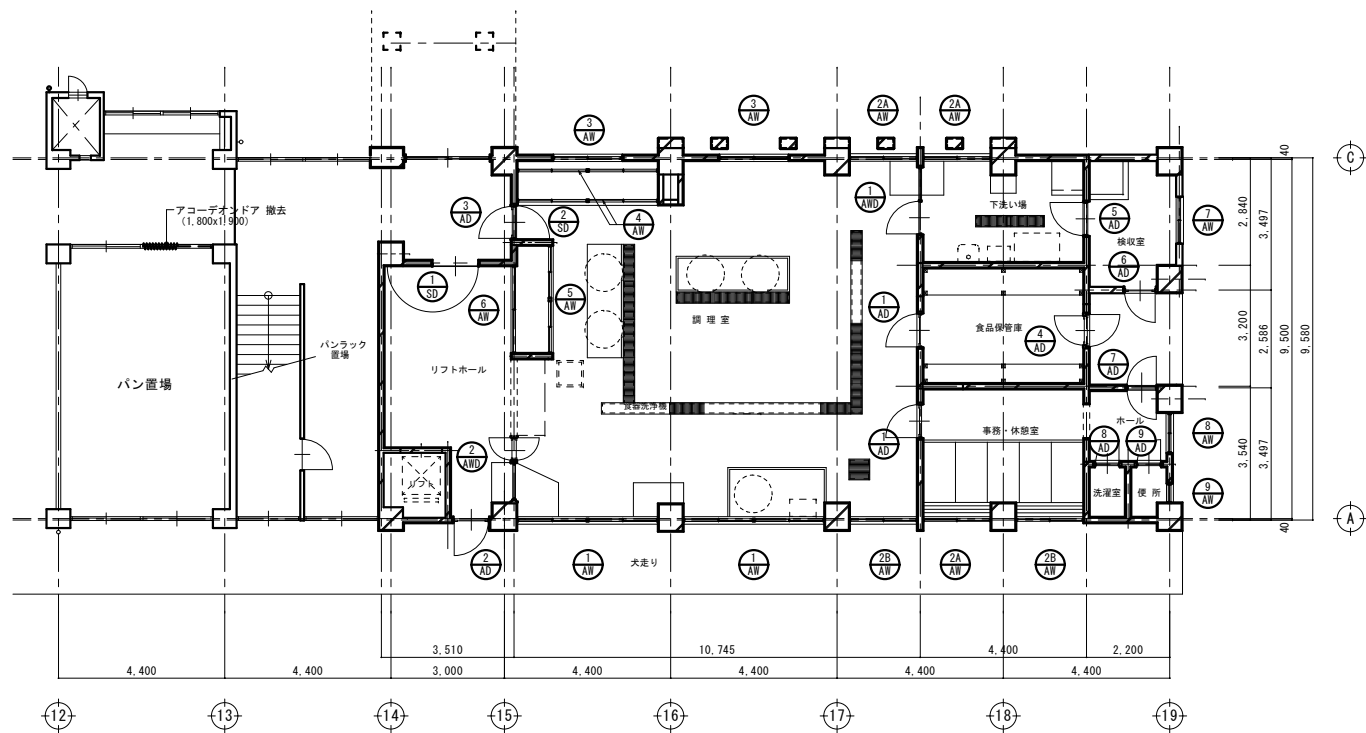
【凡例】  
 --- コンクリート t=100 撤去部分を示す



【凡例】  
 --- コンクリート t=100 撤去部分を示す





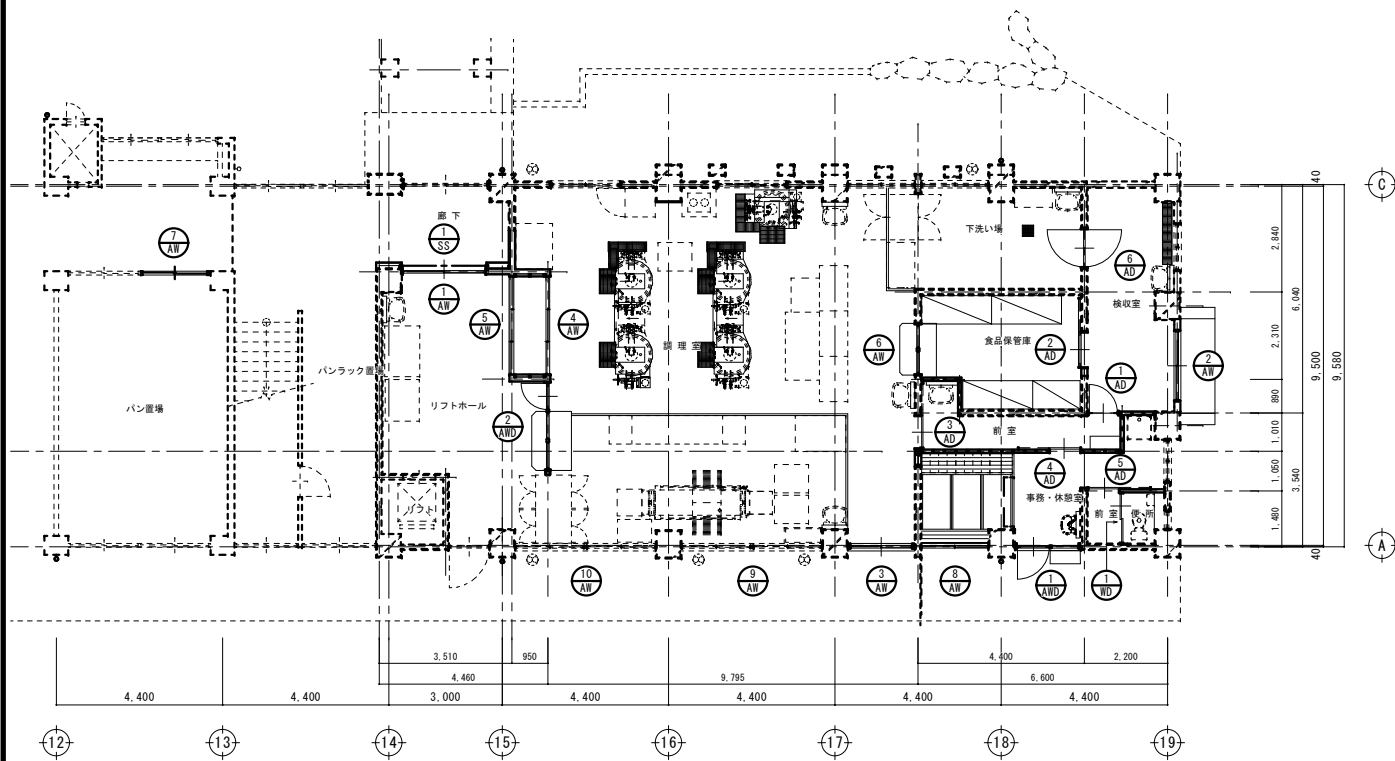


改修前 建具位置図 S=1:100

改修前 建具表 S=1:50

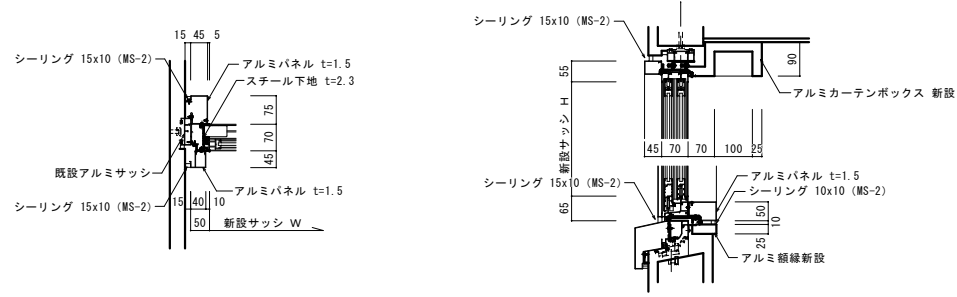
符号 数量	① AW × 2 引違い2連窓 2段 (既存のまま)	②A AW × 3 ②B AW × 2 引違い窓 2段 (2A: 既存のまま) (2B: 撤去・枠は既存のまま)	③ AW × 2 引違い窓 (既存のまま)
窓 図			
室 名	調理室	調理室・下洗い場・事務・休憩室	調理室
見 込	70	70	70
仕 上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー
塗 装	フロロガラス t=3.0	フロロガラス t=3.0	フロロガラス t=3.0
金 物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備 考			
符号 数量	④ AW × 2 引違い2連窓 (撤去)	⑤ AW × 1 引違い窓 (撤去)	⑥ AW × 1 引違い窓 (撤去)
窓 図			
室 名	調理室	調理室	リフトホール
見 込	70	70	70
仕 上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー
塗 装	フロロガラス t=3.0	フロロガラス t=3.0	網入り磨きガラス t=6.8
金 物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備 考			

符号 数量	⑦ AW × 1 引違い窓 (既存のまま)	⑧ AW × 1 引違い窓 (既存のまま)	⑨ AW × 1 ガラリ付き外開し窓 (既存のまま)	⑩ AW × 1 上げ下げ窓付き片開きドア (撤去)	⑪ AW × 1 上げ下げ窓付き片開きドア・網戸付き (撤去)	⑫ AW × 2 片開きドア (撤去)	⑬ AW × 1 片開きドア (既存のまま)	⑭ AW × 1 片開き網戸 (撤去)
窓 図								
室 名	株収室	ホール	便所	下洗い場	リフトホール	食品保管庫・事務・休憩室	リフトホール	廊下
見 込	70	70	70	70	70	70	70	70
仕 上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー
塗 装	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0, フロロガラス t=3.0	フロロガラス t=3.0	フロロガラス t=3.0, 網入り強化ガラス t=6.8	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0
金 物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	丁番、握り玉錠、DC 附属金物一式	丁番、握り玉錠、DC 附属金物一式	丁番、握り玉錠、DC 附属金物一式	丁番、握り玉錠、DC 附属金物一式	丁番、ケースハンドル 附属金物一式
備 考								
符号 数量	⑮ AW × 1 片開きドア・網戸付き (撤去)	⑯ AW × 1 片開き網戸 (撤去)	⑰ AW × 1 片開きドア (撤去)	⑱ AW × 1 片開きドア・網戸付き (撤去)	⑲ AW × 1 片開きフラッシュドア (撤去)	⑳ AW × 1 片開きフラッシュドア (撤去)	㉑ AW × 1 片開きフラッシュドア (撤去)	㉒ AW × 1 片開きフラッシュドア (撤去)
窓 図								
室 名	食品保管庫	下洗い場	株収室	ホール	洗濯室	便 所	リフトホール	調理室
見 込	160	70	70	70	200	70	86	86
仕 上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー
塗 装	フロロガラス t=3.0	丁番、ケースハンドル 附属金物一式	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0
金 物	丁番、握り玉錠 附属金物一式	丁番、握り玉錠、ガラリ 附属金物一式	丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、DC 附属金物一式	丁番、握り玉錠、DC 附属金物一式	丁番、握り玉錠、ガラリ 附属金物一式	丁番、握り玉錠、ガラリ 附属金物一式	丁番、握り玉錠 附属金物一式	丁番、レバーハンドル 附属金物一式
備 考								



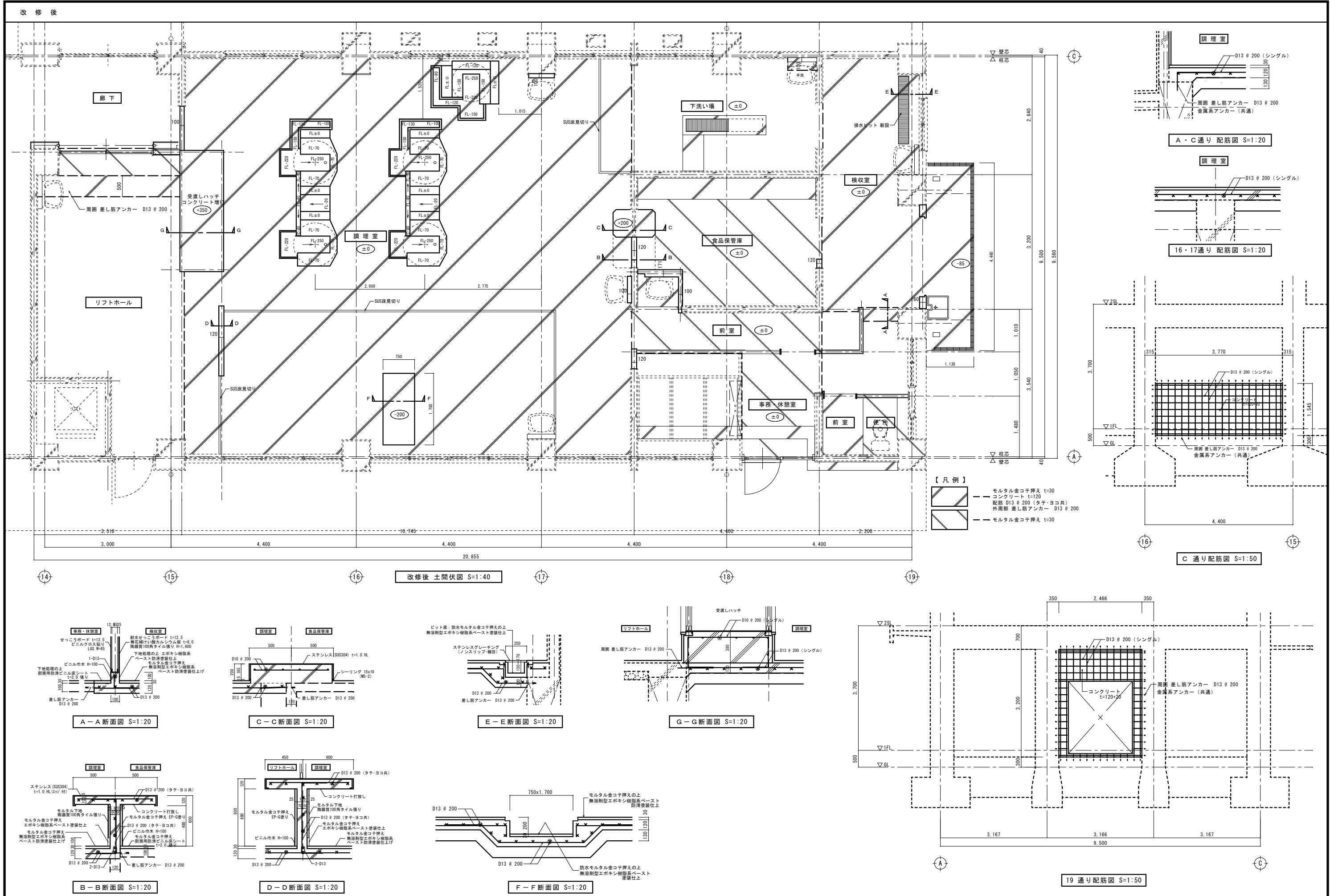
改修後 建具位置図 S=1:100

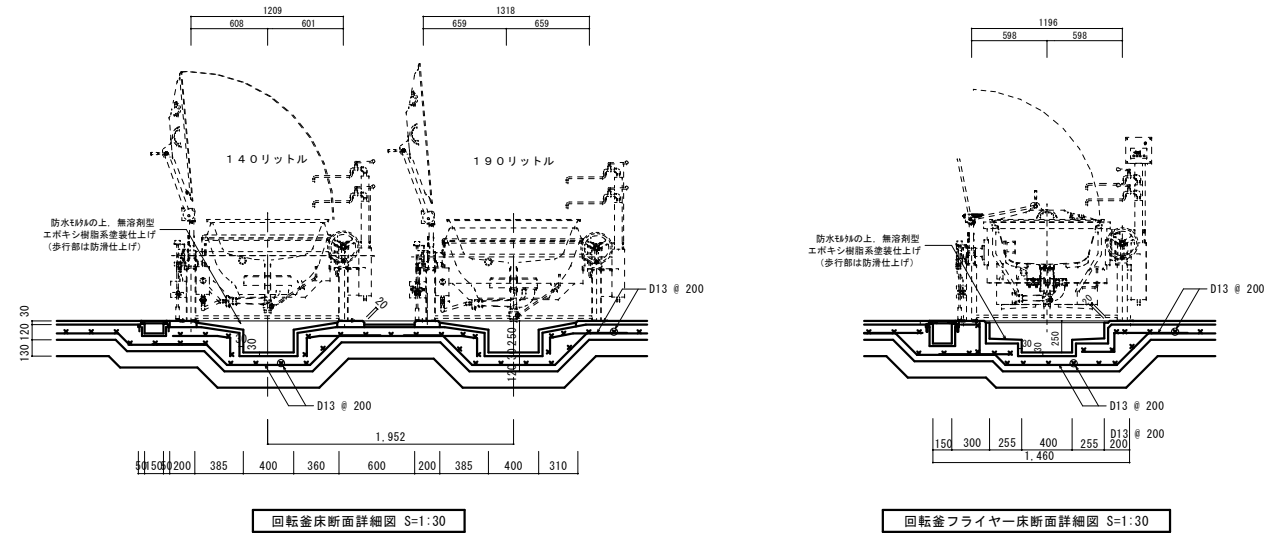
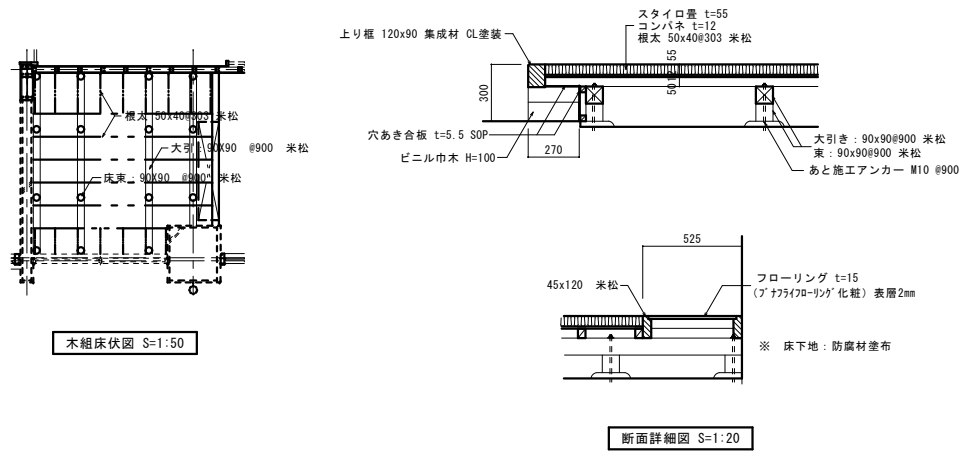
AWD-1 詳細図



符号	数量	⑨ A/W × 1 引違い2連窓 2段 (ガラス及びパネル新設)	⑩ A/W × 1 引違い2連窓 2段 (ガラス新設)	⑪ S/S × 1 特定防火シャッター (新設)	⑬ A/W × 1 袖 固定パネル付き 片引きフラッシュ戸
図					
室名	調理室	調理室	調理室	廊下	前室・便所
見込	70	70	70	70	70
仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	スラット PL-1.6	メラミン化粧板
塗装				溶融亜鉛メッキ鋼板	木枠 SOP塗り
硝子	フロートガラス t=3.0	フロートガラス t=3.0	フロートガラス t=3.0	手動式開閉機、ステンレスガイドレール	型板ガラス t=4.0 (100x100)
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	障害物検知装置 (圧板スイッチ)	ステンレスレール、戸車、舟底引手
備考				検知通知機	附属金物一式

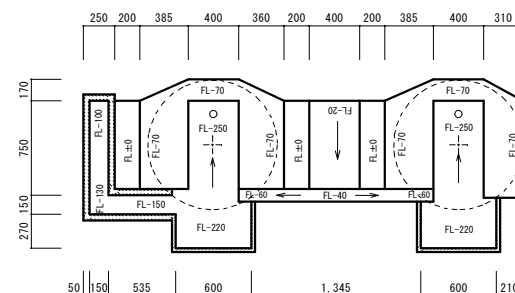
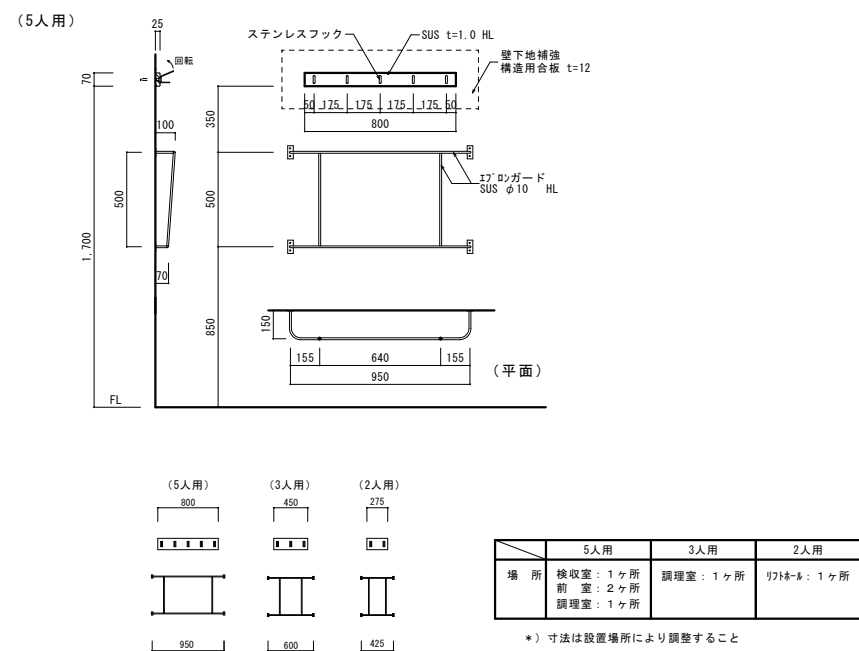
符号	数量	① A/D × 1 片開きドア (新設)	② A/D × 1 片引きハンガードア (新設)	③ A/D × 1 片引きハンガードア (新設)	④ A/D × 1 片引きハンガードア (新設)	⑤ A/D × 1 片引きハンガードア (新設)	⑥ A/D × 1 スイングドア (新設)	⑦ A/W × 1 FIX窓付き片開きドア カバー工法 (新設)	⑧ A/W × 1 上げ下げ窓、FIX窓付き片開きドア (新設)
図									
室名	検収室	食品保管庫	前室	前室	前室・便所	検収室	検収室	事務・体務室	調理室
見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70
仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー (フラッシュ戸)	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー
塗装									
硝子	透明強化ガラス t=5.0	透明強化ガラス t=5.0	透明強化ガラス t=5.0	透明強化ガラス t=5.0	型板ガラス t=4.0 (100x100)	アクリル板 t=5.0 (クリアー)、腰: ステンレス	アクリル板 t=5.0 (クリアー)、腰: ステンレス	強化型板ガラス t=4.0	透明強化ガラス t=5.0
金物	丁番、レバーハンドル、ステンレス下枠、戸当り、D.C、アルミ縦線 (両面) 附属金物一式	ステンレス下枠、アルミガラリ (SUS網付き) 引き棒 L=300 アルミ縦線、附属金物一式	ステンレス下枠、引き棒 L=300、アルミ縦線 附属金物一式	ステンレス下枠、引き棒 L=300、アルミ縦線 附属金物一式	ステンレス下枠、引き棒 L=300、アルミガラリ、表示錠 附属金物一式	アルミ枠、押板、SUS引棒 附属金物一式	アルミ枠、押板、SUS引棒 附属金物一式	丁番、レバーハンドル、シリンドー錠、ステンレス下枠、戸当り、D.C、アルミ縦線 (両面)、クレセント 附属金物一式	透明強化ガラス t=5.0
備考						SCP-5 (同等品)	SCP-5 (同等品)	外部: 2x1.5網戸 (アルミ格子付)、内部: 上げ下げ窓	
符号	数量	① A/W × 1 引違い窓 (新設)	② A/W × 1 引違い窓 (新設)	③ A/W × 1 ランマ引違い窓付き 引違い窓 カバー工法 (新設)	④ A/W × 1 引違い窓 2段 (新設)	⑤ A/W × 1 引違い窓 (新設)	⑥ A/W × 1 上げ下げ窓 2連窓 (新設)	⑦ A/W × 1 引違い窓 カバー工法 (新設)	⑧ A/W × 1 既存引違い窓にフィルム貼り
図									
室名	リフトホール	検収室	調理室	調理室	リフトホール	調理室	調理室	パン置場	事務・体務室
見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70
仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー
塗装									
硝子	透明強化ガラス t=5.0	透明強化ガラス t=5.0	透明強化ガラス t=5.0	アクリルライト t=5.0	アクリルライト t=5.0	アクリルライト t=5.0	アクリルライト t=5.0	透明強化ガラス t=5.0	透明強化ガラス t=5.0
金物	ステンレス下枠、ステンレス戸車、舟底引手、シリンドー錠 アルミ縦線 (両面)、クレセント 附属金物一式	シリンドー錠、ステンレス下枠、ステンレス戸車、舟底引手 アルミ縦線、クレセント 附属金物一式	シリンドー錠、ステンレス下枠、ステンレス戸車、舟底引手 アルミ縦線、クレセント 附属金物一式	ステンレス下枠 (フラットレール)、ステンレス引手 アルミ縦線、クレセント 附属金物一式	ステンレス下枠 (フラットレール)、ステンレス引手 アルミ縦線、クレセント 附属金物一式	ステンレス下枠 (フラットレール)、ステンレス引手 アルミ縦線、クレセント 附属金物一式	ステンレス下枠 (フラットレール)、ステンレス引手 アルミ縦線、クレセント 附属金物一式	ステンレス下枠、ステンレス戸車、舟底引手、クレセント アルミ縦線 (両面) 附属金物一式	透明強化ガラス t=5.0
備考		2x1.5可動網戸	2x1.5可動網戸					既存スチールサッシ	マットクリスタル アイ (スリーエム ジャパン同等品)



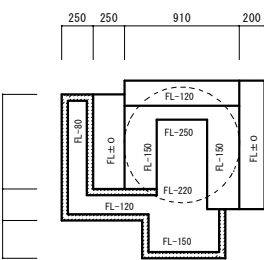


回転釜断面詳細図 S=1:30

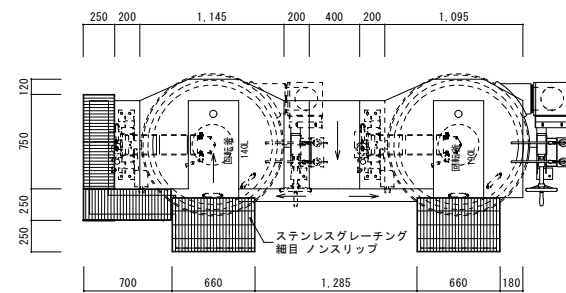
回転釜フライヤー床断面詳細図 S=1:30



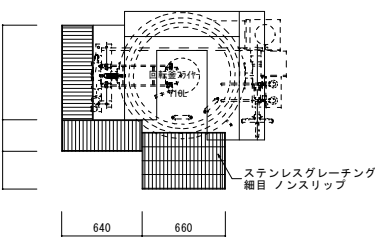
回転釜ビット躯体図 S=1:30



回転釜フライヤービット躯体図 S=1:30

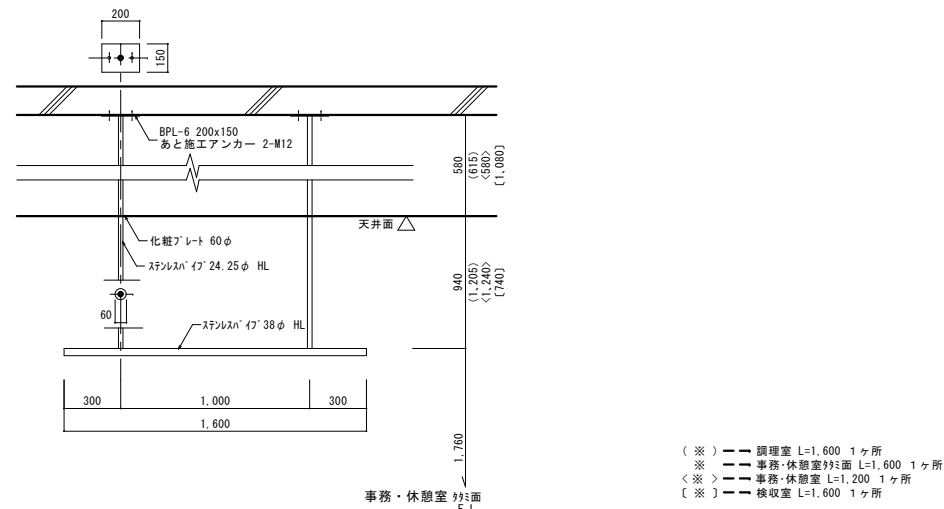


回転釜ビット平面詳細図 S=1:30

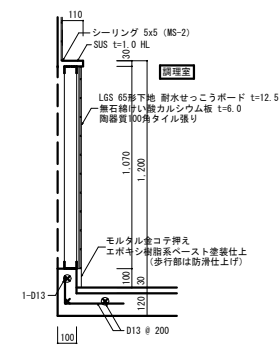
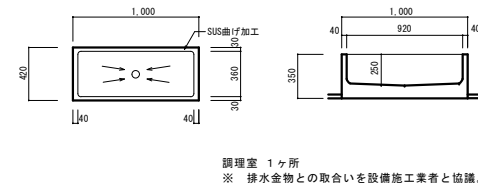


回転釜フライヤービット平面詳細図 S=1:30

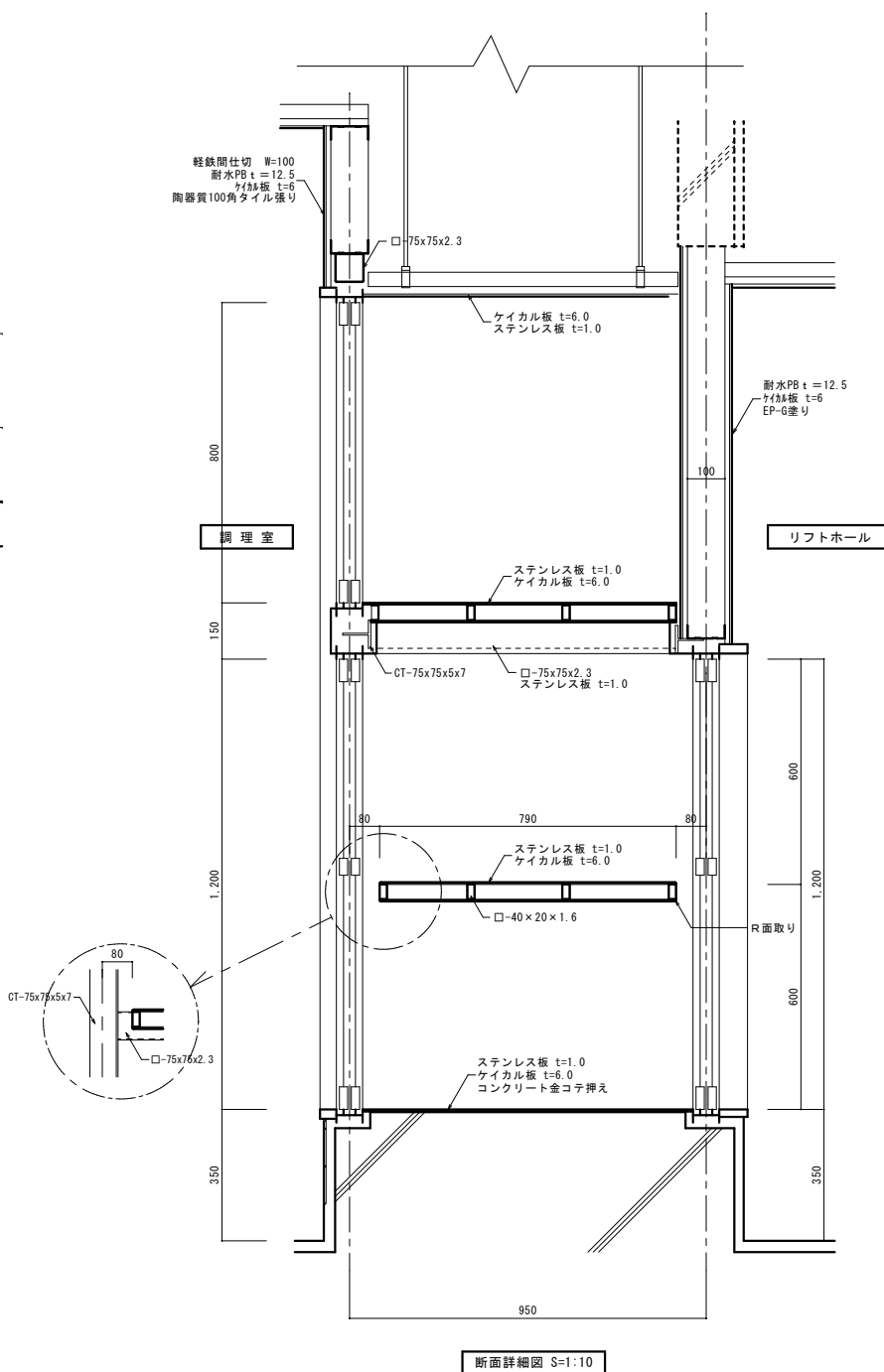
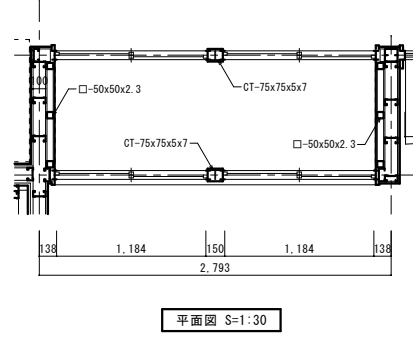
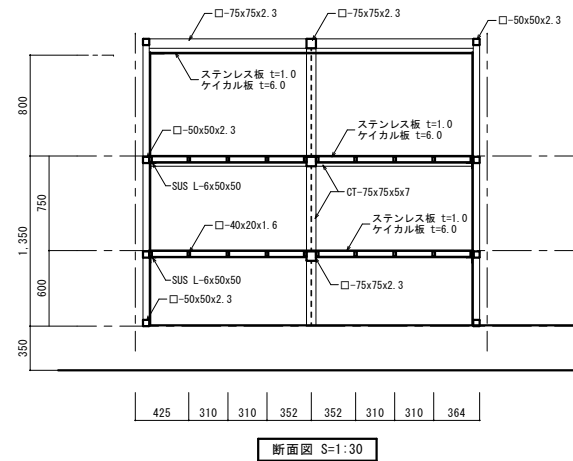
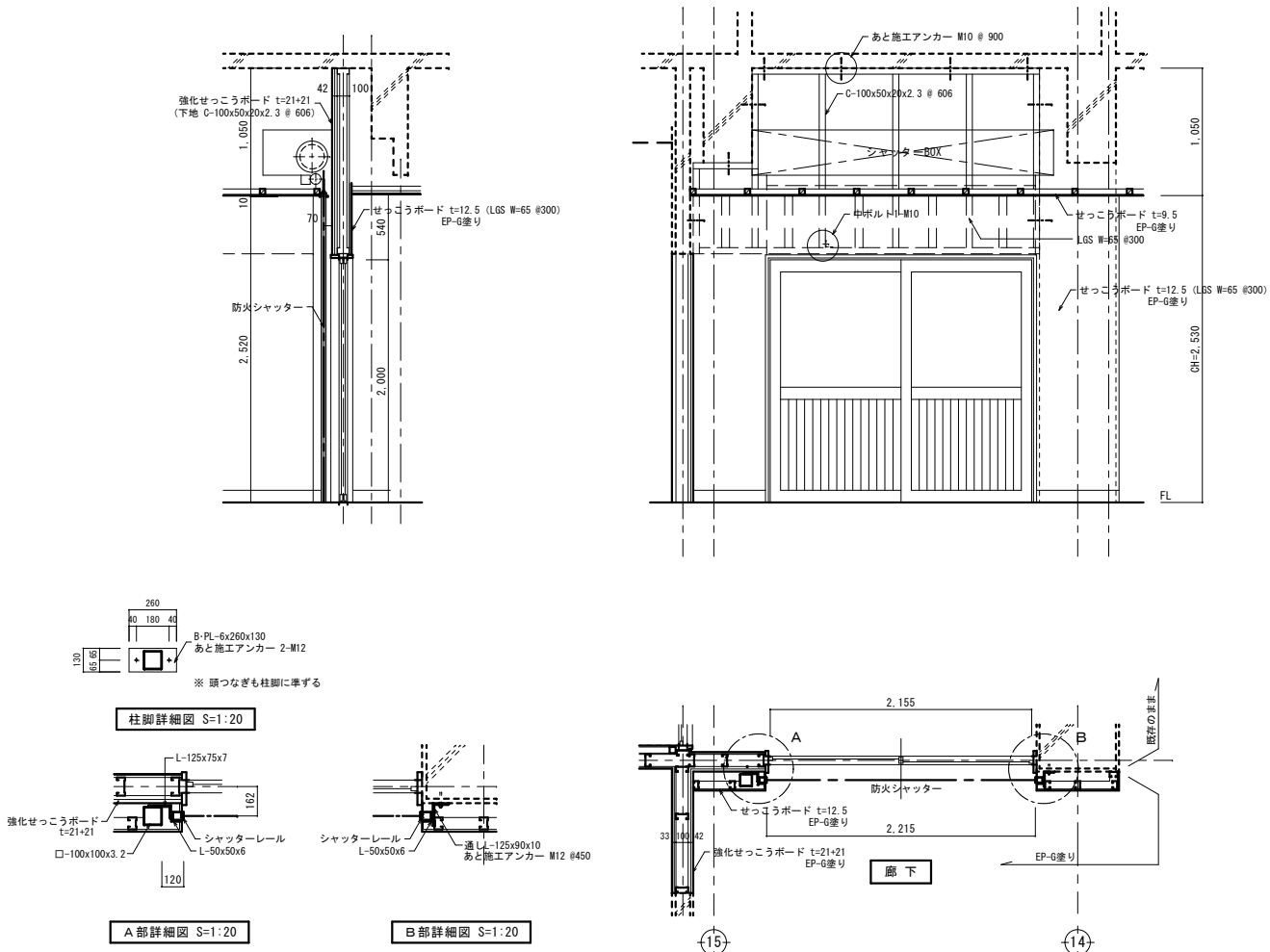
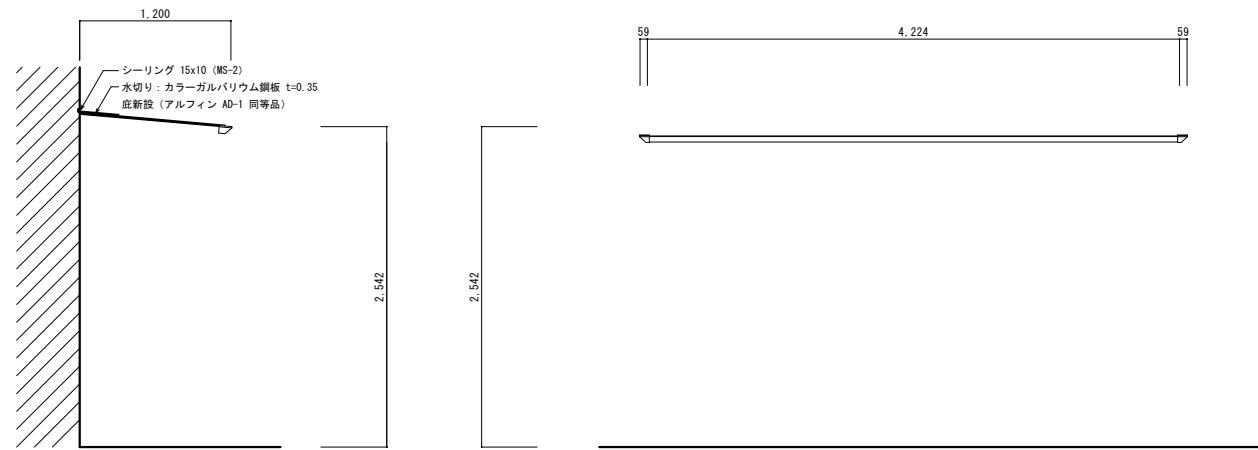
※回転釜の大きさを確認すること



(※) 調理室 L=1,600 1ヶ所  
 ※ 事務・休憩室933面 L=1,600 1ヶ所  
 <※> 事務・休憩室 L=1,200 1ヶ所  
 [※] 検収室 L=1,600 1ヶ所



※ AD-1 (アルフィン 同等品)



# 参考数量書

§ 工事名称 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

§ 工事場所 福山市木之庄町一丁目1番63号

## 特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

# 設 計 書

工事名称 福山市立樹徳小学校南棟校舎給食室改修工事

工事場所 福山市木之庄町一丁目1番63号

## 【工事概要】

- ・給食室改修工事 一式
- ・対象建物 南棟校舎給食室  
鉄筋コンクリート造 4階建  
延べ面積 2,489㎡ (改修面積 323㎡)

## 【別途工事】

- ・電気設備工事
- ・機械設備工事
- ・都市ガス設備工事
- ・敷地東側他整備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		







名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
改修	1	式		
計				

改修						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
防水改修		1		式		
建具改修		1		式		
内装改修		1		式		
塗装改修		1		式		
環境配慮改修		1		式		
躯体改修		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					





改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
躯体改修	撤去	1	式		
躯体改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処理	1	式		
計					









改修		建具改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建具周囲はつり	RC 15cm 集積共	30	m			
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共 集積共	15.7	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	22.4	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	両開き戸 扉のみ 集積共	6.5	m <sup>2</sup>			
ガラス撤去	集積共	32.9	m <sup>2</sup>			
計						

改修		建具改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【アルミ建具】						
AD-1	片開きドア	1	か所			
AD-2	片引きハンガードア	1	か所			
AD-3	片引きハンガードア	1	か所			
AD-4	片引きハンガードア	1	か所			
AD-5	片引きハンガーフレッシュ戸	1	か所			
AD-6	片開きスイングドア	1	か所			
AWD-1	FIX窓付片開きドア カバー工法	1	か所			
AWD-2	上げ下げ窓、FIX窓付片開きドア	1	か所			
AW-1	引違い戸	1	か所			
AW-2	引違い窓	1	か所			
AW-3	引違い窓 カバー工法	1	か所			
AW-4	引違い窓	1	か所			
AW-5	引違い窓	1	か所			
AW-6	上げ下げ窓	1	か所			
AW-7	引違い戸	1	か所			
AW-9	アルミバネ t=3.0新設	1	か所			
運搬費		1	式			
取付費		1	式			
【ガラス】						

改修		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型板ガラス 4.0mm	100x100	2	枚			
フロント 透明1 3.0mm		0.5	m <sup>2</sup>			
パネル施工費		11.9	m <sup>2</sup>			
強化ガラス 5mm		20.8	m <sup>2</sup>			
アクリル板 5mm		9.4	m <sup>2</sup>			
フィルム小口施工費		1	式			
マットクリスタル		3.1	m <sup>2</sup>			
撤去	集積共	1.1	m <sup>2</sup>			
シーリング 10x8		104	m			
シーリング 6x8		210	m			
シーリング 6x8 樹脂用		129	m			
<b>【木製建具】</b>						
固定パネル付片引き フラッシュ戸	運搬、取付共	1	か所			
表示錠		1	個			
木建シール		0.4	m			
<b>【シャッター】</b>						
SS-1	重量シャッター 防火仕様 手動開閉装置	1	か所			
SS-1取付費		1	式			
搬入費		1	式			
ステンレス養生費		1	式			



改修		内装改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【床】						
カッター入れ	モルタル面 厚さ20~30mm	22.9	m			
床モルタル・床人研ぎ 撤去	集積共	15.1	m <sup>2</sup>			
ビニル床タイル撤去	一般 集積共	21.3	m <sup>2</sup>			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	8.5	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 フローリング撤去	集積共	1.5	m <sup>2</sup>			
畳撤去	一畳 集積共	5	枚			
床組撤去	つか立て 集積共	8.8	m <sup>2</sup>			
発生材積込み	ボート・木材類 人力	8.3	m <sup>3</sup>			
【壁】						
壁モルタル・プ ラスター 撤去	集積共	4.6	m <sup>2</sup>			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	87.3	m <sup>2</sup>			
コンクリート撤去	無筋 コンクリートブ レーカ 集積共	1.6	m <sup>3</sup>			
壁クロス撤去	集積共	25.5	m <sup>2</sup>			
【天井】						
天井合板・ボ ート 撤去	一重張り 一般 集積共	70	m <sup>2</sup>			
天井下地撤去	集積共	70	m <sup>2</sup>			
計						

改修		内装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
構造材	米松 一等	0.1	m <sup>3</sup>			
造作材	米松 一等	0.1	m <sup>3</sup>			
造作材	集成材	0.1	m <sup>3</sup>			
造作材	フッ合板 t=12	9	枚			
つか立床組	施工手間	6.1	m <sup>2</sup>			
床下地張り	フッ合板 I類 t=12	3.6	m <sup>2</sup>			
上り框	タモ集成材 90x150	2	m			
フローリングボード張り	1等 なら 厚さ15	2.2	m <sup>2</sup>			
壁合板	施工手間	0.7	m <sup>2</sup>			
出入り口枠	スプルス 110x25	5.3	m			
カーテンボックス	フッ	1.7	m			
木材保護塗料塗	木部 B種	7.8	m <sup>2</sup>			
素地ごしらえ	木部 工程B種	7.8	m <sup>2</sup>			
【床】						
床モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	134	m <sup>2</sup>			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	2.3	m <sup>2</sup>			
床防水モルタル塗り	モルタル仕上げ 厚30	16.6	m <sup>2</sup>			
エポキシ樹脂系塗床 防滑仕様	膜厚1.2mm	127	m <sup>2</sup>			
下地処理	ケレン・清掃	30.4	m <sup>2</sup>			
ビニル床シート	無地 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	25	m <sup>2</sup>			

改修		内装改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	無 地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 防滑仕様	28.6	m <sup>2</sup>			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT-III 一畳 施工規模30枚以下程度	3	枚			
ビニル幅木	高さ100	78.6	m			
【壁】						
幅木モルタル塗り	金ごて 出幅木 高さ100	37.1	m			
幅木 エポキシ樹脂系塗床	膜厚1.2mm	7.7	m <sup>2</sup>			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	18.4	m <sup>2</sup>			
壁モルタル塗り	金ごて 内装タイル接着張り下地 -	13.7	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	50.3	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りなし @300	21.5	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	1	か所			
アルミ壁点検口	450x450	2	か所			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	60.7	m <sup>2</sup>			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	39.5	m <sup>2</sup>			
壁 強化せっこう ボード張り(GB-F)	厚21.0 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-F 厚21.0共	8.1	m <sup>2</sup>			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	39.5	m <sup>2</sup>			
壁紙張り手間	壁 織物、紙程度 ボード面 素地B種 接着剤 2種1号	131	m <sup>2</sup>			
内装壁タイル張り	エニツタイル 有機系接着張り(タイプ I) III類 施ゆう 100mm角 モルタル面	60.4	m <sup>2</sup>			
【天井】						

改修		内装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
天井インサート	一般用	194	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途	40.9	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート別途	153	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	1	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	18	か所			
天井化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラハートン 突付け	40.9	m <sup>2</sup>			
天井 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 継目処理	8.3	m <sup>2</sup>			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 6 下地張り	145	m <sup>2</sup>			
天井廻縁	塩化ビニール製	228	m			
天井ビス打		1	式			
【ユニット及びその他】						
ステンレス床見切り	40x20x1.5	15.6	m			
ステンレス枠	70x25	5.4	m			
ステンレスコーナーガード	H=1,000 L=50x50x1.0	15	か所			
ステンレス面台	700x110x25	5	か所			
ステンレス面台	800x110x25	1	か所			
ステンレス面台	850x110x25	1	か所			
ステンレス面台	155+340+545x110x25	1	か所			
ステンレスグレーチング (細目・ノンスリップ ・枠付)	60x450	5	か所			
ステンレスグレーチング (細目・ノンスリップ ・枠付)	750x250	3	か所			

名 称	摘 要	内装改修			改修		備 考
		数 量	単 位	単 価	金 額	金 額	
ステンレス <sup>®</sup> レーチング <sup>®</sup> (細目・ノンスリップ <sup>®</sup> ・枠付)	700x250	2	か所				
ステンレス <sup>®</sup> レーチング <sup>®</sup> (細目・ノンスリップ <sup>®</sup> ・枠付)	630x250	1	か所				
ステンレス <sup>®</sup> レーチング <sup>®</sup> (細目・ノンスリップ <sup>®</sup> ・枠付)	1,620x250	1	か所				
ステンレス <sup>®</sup> レーチング <sup>®</sup> (細目・ノンスリップ <sup>®</sup> ・枠付)	1,000x300	1	か所				
ステンレス <sup>®</sup> レーチング <sup>®</sup> (細目・ノンスリップ <sup>®</sup> ・枠付)	750x500	2	か所				
エプ <sup>®</sup> ロン掛け	5人用	4	か所				
エプ <sup>®</sup> ロン掛け	3人用	1	か所				
エプ <sup>®</sup> ロン掛け	2人用	1	か所				
物干しハンガー L=1,200	事務・休養室	1	か所				
物干しハンガー L=1,600	検収質	1	か所				
物干しハンガー L=1,600	調理室	1	か所				
ステンレス地流し		1	か所				
ステンレスフック	XL-CUJ70TT	2	か所				
返却カウンター		1	か所				
缶取り出しカウンター		1	か所				
受渡しハッチ		1	か所				
【備品】							
スチール製ラック	1-349-5217+1-349-5218	1	か所				
スチール製ラック	1-349-5217+1-349-5214	1	か所				
4人用ロッカー	LK-4F1	2	か所				

改修		内装改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2人用ロッカー	LK-2F1	1	か所			
シューズボックス	SX-D44F1	1	か所			
シューズボックス	SX-N43TF	1	か所			
室名札	7クリル製 平付け型 300x60	5	か所			
ホワイトボード	900x600	1	か所			
カーテンレール	ステンレス製 手引き 引分け 軽量用 (10-60)	3.8	m			
カーテン	薄地 プレーン	11.4	m <sup>2</sup>			
計						

改修		塗装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	17.7	m			
CL塗り (基準単価)	木部・素地B種共 工程B種	1.7	m <sup>2</sup>			
下地調整 改修仕様	モルタル面 RB種(塗替え面)	175	m <sup>2</sup>			
素地ごしらえ	モルタル面 工程A種	71	m <sup>2</sup>			
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面 工程A種	50	m <sup>2</sup>			
EP-G塗り	ボード面 工程A種(一般) 素地別途	146	m <sup>2</sup>			
結露防止特種塗料	塗厚 0.9mm (カラー)	175	m <sup>2</sup>			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	21.5	m <sup>2</sup>			
計						

改修		環境配慮改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【石綿】						
床養生	シート二重0.15mm以上 撤去共	223	m <sup>2</sup>			
壁養生	シート一重0.08mm以上 撤去共	201	m <sup>2</sup>			
整理清掃 後片付け	一 般 RC・SRC造 地上階	223	m <sup>2</sup>			
セキュリティルーム設置		1	か所			
負圧除塵機損料		1	台			
負圧掃除機		1	台			
エアレス吹付機		1	式			
粉じん飛散抑制剤 吹付		120	m <sup>2</sup>			
吹付アスベスト除去	レベル1	120	m <sup>2</sup>			
成形版除去	屋内天井（化粧せっこうボード） 下地共	111	m <sup>2</sup>			
成形版除去	屋内天井（杉板）	120	m <sup>2</sup>			
粉じん飛散防止剤 吹付	養生面共	120	m <sup>2</sup>			
除去石綿処理	密封処理（二重梱包） 小運搬含む	2	m <sup>3</sup>			
環境測定	粉塵濃度測定 10か所 作業中、作業後 基本料、報告書作成含む	10	か所			
安全対策費		1	式			
電灯設備撤去	電灯分岐	1	式			別紙 00-0004
電灯設備撤去	コンセント分岐	1	式			別紙 00-0005
動力設備撤去	動力分岐	1	式			別紙 00-0006
テレビ共同受信設 備撤去		1	式			別紙 00-0007

改修		環境配慮改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
火災放置設備撤去	自動火災報知	1	式			別紙 00-0008
構内配電線路撤去		1	式			別紙 00-0009
給水管 樹脂管類撤去	屋内一般 20A 再使用しない	93	m			
給水管 樹脂管類撤去	地中配管 20A 再使用しない	9	m			
給水管 樹脂管類撤去	屋内一般 25A 再使用しない	29	m			
給水管 樹脂管類撤去	屋内一般 40A 再使用しない	37	m			
給水管 樹脂管類撤去	地中配管 40A 再使用しない	3	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 20A 再使用しない	38	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内, ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 20A 再使用しない	28	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 25A 再使用しない	8	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内, ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 25A 再使用しない	15	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内, ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 40A 再使用しない	16	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 40A 再使用しない	6	m			
給湯管 鋼管類撤去	屋内一般 20A 再使用しない	101	m			
給湯管 鋼管類撤去	屋内一般 25A 再使用しない	31	m			
給湯管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 20A 再使用しない	38	m			
給湯管 保温撤去	グラスウール 天井内, ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 20A 再使用しない	36	m			
給湯管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 25A 再使用しない	5	m			
給湯管 保温撤去	グラスウール 天井内, ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 25A 再使用しない	26	m			
ガス管 鋼管類撤去	屋内一般 20A 再使用しない	1	m			

改修		環境配慮改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガス管 鋼管類 撤去	屋内一般 25A 再使用しない	44	m			
ガス管 鋼管類 撤去	屋内一般 40A 再使用しない	5	m			
スパイラルダクト(低圧、 高圧1、2ダクト) 撤去	100mm 再使用しない	4	m			
計						

改修		躯体改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【床】						
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20~30mm	56.4	m			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	18.9	m <sup>3</sup>			
【壁】						
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20~30mm	196	m			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	13.1	m <sup>3</sup>			
発生材積込み	コンクリート類 人力	32	m <sup>3</sup>			
計						

改修		躯体改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>【地業】</b>						
砂利地業	再生クランパン	15.5	m <sup>3</sup>			
床下防湿層敷き	ポリエレンフィルム 厚0.15	114	m <sup>2</sup>			
<b>【鉄筋】</b>						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10 少量	0.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13 少量	1.9	t			
鉄筋加工組立 (基準単価)	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	1.9	t			
差筋アンカー	D13 横向打 金属系アンカー	584	本			
差筋アンカー	D13 下向打 金属系アンカー	33	本			
差筋アンカー	D13 上向打 金属系アンカー	33	本			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	1.9	t			
<b>【コンクリート】</b>						
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	20.5	m <sup>3</sup>			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ 打設 50m <sup>3</sup> /回未満 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	20.5	m <sup>3</sup>			
構造体温度補正	補正值6N/mm <sup>2</sup>	20.5	m <sup>3</sup>			
コンクリートポンプ 圧送	30m <sup>3</sup> 以上 50m <sup>3</sup> /回未満 基本料金別途加算	20.5	m <sup>3</sup>			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	30m <sup>3</sup> 以上 50m <sup>3</sup> /回未満	2	回			
型枠 (基準単価)	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	27.9	m <sup>2</sup>			
型枠 (基準単価)	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	11.2	m <sup>2</sup>			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	39.1	m <sup>2</sup>			

改修		躯体改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【鉄骨】						
カラーリップ 溝形鋼	SSC400 C-100x50x20x2.3	0.1	t			
中ボルト	M12	13	個			
ナット	M12	13	個			
丸座金	M12	13	個			
工場加工組立て費		0.1	t			
あと施工アンカー 金属拡張アンカー	M10 横向き	4	本			
あと施工アンカー 金属拡張アンカー	M10 上向き	5	本			
鉄骨運搬		0.1	t			
計						















改修		環境配慮改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電灯設備撤去	電灯分岐	1	式			別紙 00-0004
600V絶縁電線 撤去	IV1.6×1 (管内)	419	m			
600V絶縁電線 撤去	IV2.0×1 (管内)	213	m			
計						
電灯設備撤去	コンセント分岐	1	式			別紙 00-0005
600V絶縁ケーブル 撤去	VVF2.0-3C (管内)	111	m			
600V絶縁ケーブル 撤去	VVF2.0-3C (コロガシ)	28	m			
計						
動力設備撤去	動力分岐	1	式			別紙 00-0006
600V絶縁電線 撤去	IV1.6×1 (管内)	50	m			
600V絶縁電線 撤去	IV2.0×1 (管内)	28	m			
600V絶縁電線 撤去	IV5.5×1 (管内)	60	m			
CVケーブル 撤去	5.5mm2- 3C 管内	24	m			
コンセント 撤去	2P15A×2 (抜止め 接地極×2 接地端子付) 125V	3	個			
計						

改修		環境配慮改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
テレビ共同受信設備撤去		1	式			別紙 00-0007
5C-FB撤去	管内	19	m			
計						
火災放置設備撤去	自動火災報知	1	式			別紙 00-0008
AE1. 2-4C撤去	管内	50	m			
計						
構内配電線路撤去		1	式			別紙 00-0009
CVTケーブル撤去	38mm2 管内	6	m			
計						



改修		舗装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
構内舗装		1	式			別紙 00-0003
アスファルト舗装	A-5-15 密粒 クラッシュラン 特に狭い場所 人力	11.9	m <sup>2</sup>			
計						

